ユーザーズ ガイド

invent



hp color LaserJet 9500mfp

HP Color LaserJet 9500mfp

ユーザーズ ガイド

著作権およびライセンス

© 2004 Copyright Hewlett-Packard Development Company, LP

著作権法で許可されている場合を除き、事前の許可なしに複製、翻案、または翻訳を行うことは禁止されています。

発行番号：C8549-90951

Edition 1, 10/2004

本書に記載されている情報は、断りなく変更される場合があります。

HP 製品およびサービスの唯一の保証は、当該製品およびサービスに付属の保証書に規定されています。本書に記載されている内容は一切追加保証とはなりません。HP は、本書に記載されている内容の誤りや記載漏れについて一切責任を負いません。

商標に関して

Acrobat®、Adobe®、および PostScriptÆ は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

HP-UXÆ 10.20 以降および HP-UX 11.00 以降 (32 ビットおよび 64 ビット構成のいずれも該当します) のすべての HP 9000 コンピュータは、The Open Group の UNIX 95 製品です。

Microsoft®, MS-DOS®、Windows®、および Windows NT® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

PANTONE®* は、Pantone, Inc. の標準色見本の商標です。

TrueType™ は、Apple Computer, Inc. の米国における商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

ENERGY STAR® は、米国 Environmental Protection Agency の登録サービス マークです。

目次

1 MFP の基礎

MFP を構成するコンポーネント 1
コントロール パネル 4
MFP デフォルト値の設定 9
MFP デバイスのデフォルト値の設定 9
給紙トレイへの用紙のセット 10
トレイ 2 およびトレイ 3 への用紙のセット 16
用紙のサイズとタイプの変更および設定 28

2 コピー機能

コピー画面レイアウト 32
コピー操作 35
デフォルト設定を使用したコピー (ワンタッチ コピー) 36
ユーザー定義の設定を使用したコピー 37
スキャナのガラス面からのコピー 43
ADF からのコピー 43
書籍のコピー 44
コピーを後で実行するためのジョブの作成 45
カラー コピーとモノクロ コピー 45
拡大または縮小 46

濃淡の調整 46
文書の調整 46
コピーのデフォルト値の設定 48

3 デジタル情報送信と電子メール

文書の送信 53
スキャナのガラス面または ADF を使用したレター サイズ文書の送信 53
設定内容の変更 54
複数の受信者への文書送信 55
自動操作完了機能の使用 56
アドレス帳の活用 57
受信者リストの作成 58

4 ファックス機能

電話回線へのファックスの接続 61
ファックスの動作確認 62
必要なファックス設定 63
[Fax Settings (ファックスの設定)] メニューの使用 64
日付と時刻の設定または確認 65
所在地の設定または確認 65
ファックスのヘッダーの設定または確認 66

[Fax (ファックス)] 画面 68
ステータス メッセージ バー 68
ファックスの送信 69
手動で番号を入力してファックスを送信する 70
短縮ダイアルを使用してファックスを送信する 71
電話帳の番号を使用してファックスを送信する 72
ファックス送信をキャンセルする 74
現在のファックス送信をキャンセルする 74
保留中のファックスをすべてキャンセルする 75
短縮ダイアル 75
鮮明度の設定を変更する 77
背景除去の設定を変更する 78
濃淡の設定を変更する 79
ファックスの受信 79
オプションのファックス設定 80
モデム音量の設定 81
呼び出し音の音量設定 82
送信ファックスの解像度の設定 82
ダイアル オプションと検出オプションの設定 84
ダイアルするときの接頭番号の設定 84
送信先通話中のリダイアル機能の設定 85

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

給紙トレイの設定 86
排紙ビンの設定 87
　ファックスのトラブルシューティング 88
　使用している電話回線の種類 88
　電話回線の分配器 89
　サージ保護装置 89
　電話会社の自動応答サービスまたは留守番電話機 90
ファックスのステータスの確認 90
ファックス機能が動作しない場合 92
ファックスに関する一般的な問題 94
ファックスの受信に関する問題 98
ファックスの送信に関する問題 102
エラー コード 106
ファックスの製品仕様 110

5 印刷

トレイ 1 のユーザー設定 113
　セットしている用紙が指定されたときにトレイ 1 から印刷する 114
　トレイ 1 から手差しで印刷する 114

ジョブ保存機能の使用 115
プライベート ジョブ 116
保存ジョブ 118
クイックコピー ジョブ 120
試し刷り後に保留ジョブ 122

6 コントロール パネルのメニュー

[Retrieve Job (ジョブ取得)] メニュー 128
[Information (情報)] メニュー 130
[Paper Handling (用紙処理)] メニュー 132
[Configure device (デバイスの設定)] メニュー 136
[Originals (原稿)] サブメニュー 136
[Copying (コピー)] サブメニュー 139
[Enhancement (調整)] サブメニュー 142
[Sending (送信)] サブメニュー 143
[Printing (印刷)] サブメニュー 146
[Print quality (印刷品質)] サブメニュー 153
[System setup (システム セットアップ)] サブメニュー 158

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

7 用紙の指定と使用

上質な用紙の指定 169
HP 製以外の用紙 170
用紙の注文 171
用紙のサイズとタイプの設定 171
対応する用紙のタイプ 174
コピーと印刷の品質に関するトラブルシューティング (用紙関連) 191

8 管理と保守

サプライ品の管理 199
サプライ品の残量レベルの確認 199
サプライ品の注文 200
サプライ品の保管 201
サプライ品の交換とリサイクル 203
イメージ ドラムの使用 208
イメージ ドラムの交換 209
イメージ転写キット 214
イメージ クリーニング キット 225
イメージ フューザ キット 231

クリーニングの手順 236
ADF のクリーニング 236
ポスト チャージャのクリーニング 243
フューザ インプットのクリーニング 246
MFP の再配置 249

9 トラブルシューティング
紙詰まりの除去 251
紙詰まりを除去する場所 252
紙詰まりの除去 (給紙トレイ部分) 254
紙詰まりの除去 (両面印刷ユニット) 270
排紙部分の紙詰まりの除去 273
紙詰まりが繰り返し発生する場合の対処方法 287
MFP に表示されるメッセージの解釈 289
MFP のヘルプ システムの使い方 289
メッセージが消えない場合 290
印刷品質のトラブルシューティング 291
印刷品質のトラブルシューティングの手順 293
継続して発生する印刷品質のトラブルシューティング 294
印刷品質トラブルシューティング ページ 301

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

MFP のトラブルシューティング 303
MFP のハードウェアの問題 303
用紙の取り扱いに関する問題 306
MFP での印刷時の問題 312
両面印刷の問題 318

10 サービスとサポート

保証に関する情報 321
保障期間中および保証期間後のサービス 321
保証延長サービス 321
交換部品とサプライ品の提供期間 322
カラー プリント カートリッジ / イメージ ドラムの保証規定 322
HP ソフトウェア ライセンス契約 323
カスタマ サポート オプション (世界各国向け) 326
MFP に関する情報 326
カスタマ サポートと MFP 修理サポート 327

11 仕様および規制に関する情報

物理的仕様 329
所要電力および回線容量 332
消費電力 333
騒音の仕様 [1] 334

動作環境と保管環境 335
環境製品管理プログラム 336
環境保護 336
FCC ステートメント 340
規制ステートメント 341
適合宣言 341
EU ステートメント (電気通信) 344
Canadian DOC Regulations (カナダの DOC 規格) 344
VCCI ステートメント (日本) 345
Korean EMI Statement (韓国の EMI ステートメント) 346
Laser Statement for Finland (フィンランドのレーザーに関する
ステートメント) 347
Taiwan Class A Statement (台湾のクラス A ステートメント) 348
Taiwan Battery Statement (台湾の電池に関するステートメント) 349
製品情報シート 349



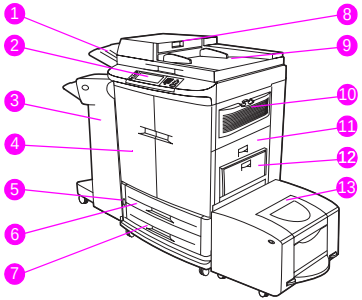
http://www.hp.com/go/clj9500mfp

MFP の基礎

1

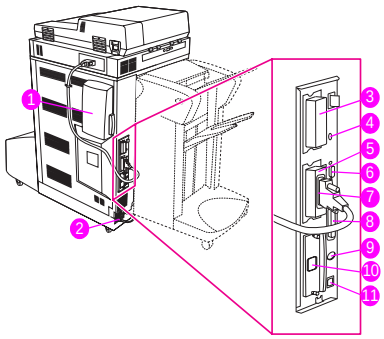
MFP を構成するコンポーネント

次の図に、HP Color LaserJet 9500mfp を構成するコンポーネントを示します。



http://www.hp.com/go/clj9500mfp

1 ADF (自動文書フィーダ) 排紙ビン
2 コントロール パネル (タッチスクリーン グラフィカル ディスプレイを含む)
3 留め具機能付きデバイス (3,000 枚収納ステイプラ / スタッカ、3,000 枚収納スタッカ、マルチファンクション フィニッシャ、または 8 ビン メールボックス)
4 フロント ドア
5 電源スイッチ
6 トレイ 2
7 トレイ 3
8 ADF フィーダ
9 ADF
10 オゾンの攪拌ファンおよびフィルタ
11 右側ドア
12 トレイ 1
13 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4)

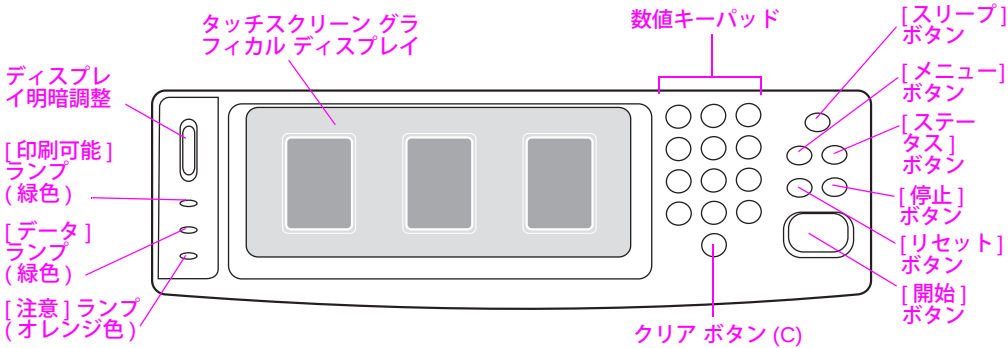


1	エア フィルタ	**5**	RJ11 コネクタ (外部 FAX ケーブル用)	**9**	FIH (Foreign Interface Harness) コネクタ
2	電源コネクタ	**6**	HP JetLink コネクタ	**10**	イーサネット ネットワーク カード (EIO)
3	コピー接続カード (拡張入出力 [EIO])	**7**	ハード ディスク (EIO)	**11**	USB ポート
4	ディスクドライブ セキュリティ ロック	**8**	パラレル ポート		

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

コントロール パネル

コントロール パネルには、タッチスクリーン グラフィカル ディスプレイ、ジョブコントロール ボタン (3 つ)、数値キーパッド、LED (Light-Emitting Diode : 発行ダイオード) インジケータ ランプ (3 つ) があります。



機能 / ボタン	用途
ディスプレイ明暗調整	コントロール パネル ディスプレイのバック ライトの明るさを調整します。
タッチスクリーン グラフィカル ディスプレイ	MFP の設定やステータスに関する情報を、テキストまたはグラフィカル形式で表示します。タッチスクリーン グラフィカル ディスプレイを使って、MFP のすべての機能を制御することができます。
スリープ	MFP をスリープ モードに設定します。
メニュー	MFP の **[Information (情報)]**、**[Configuration (設定)]** などのメニューを開きます。
ステータス	現在のジョブとその進行状況、トレイやサプライ品の使用状況を表示します。
リセット	ジョブの設定を、ユーザーが定義したデフォルト値にリセットします。
停止	現在の印刷ジョブをキャンセルします。
開始	コピー ジョブの起動、デジタル情報送信の開始、中断されているジョブの継続などを実行します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

機能 / ボタン	用途
C	**クリア** ボタンです。コピー数を 1 にリセットします。
数値キーパッド	コピー数などを数値キーを使って入力します。

コントロールパネルのランプの意味

コントロールパネルのランプから、プリンタの状態を判断することができます。

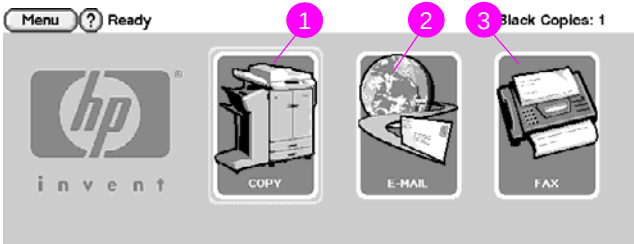
ランプ	状態	プリンタの状態
印刷可能 (緑色)	オフ	MFP はオフまたはオフライン状態であるか、もしくはエラーが発生しています。
	オン	MFP は印刷の準備が整っています。
	点滅	MFP はオフライン モードに移行中です。

ランプ	状態	プリンタの状態
データ (緑色)	オフ	MFP には印刷するデータがありません。
	オン	MFP に印刷するデータはありますが、印刷の準備が整っていないか、オフラインです。
	点滅	MFP はデータの処理中または印刷中です。
注意 (オレンジ色)	オフ	MFP はエラーのない状態で機能しています。
	オン	MFP に重大なエラーが発生しています。エラー メッセージを確認して MFP の電源をいったん切り、再び電源を入れてください。
	点滅	問題を解決する必要があります。コントロール パネルのディスプレイを参照してください。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

コントロール パネルのホーム画面

コントロール パネルから、MFP の機能画面にアクセスできます。



1 ここを押すと、コピー画面に移動できます。
2 ここを押すと、電子メール画面に移動できます。
3 ここを押すと、ファックス画面に移動できます。

MFP デフォルト値の設定

印刷機能やハードウェア (両面印刷アクセサリや留め具機能付きデバイスなど) の設定には、印刷用システム ソフトウェアを使用します。

MFP デバイスのデフォルト値の設定

MFP の印刷、コピー、ファックス、電子メール、ネットワークなどの機能に、デフォルト値を設定することができます。

コントロール パネルを使ってデバイスのデフォルト値を設定するには

1 [メニュー] ボタンを押します。
2 スクロールして [CONFIGURE DEVICE (デバイスの設定)] を押します。
3 設定が必要な項目を選択します。メニューには、次のような項目があります。

- コピー
- 拡張
- 送信
- 印刷
- システム セットアップ

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

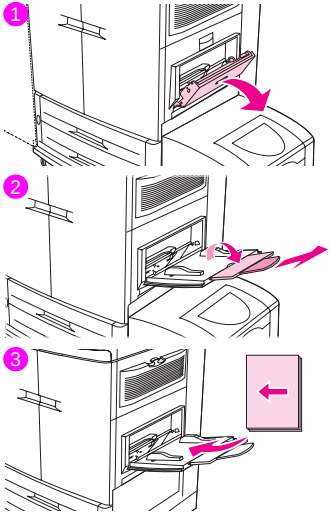
給紙トレイへの用紙のセット

ここでは、標準サイズやカスタム サイズの用紙を、トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) にセットする方法について説明します。

注意

紙詰まりを防ぐため、印刷またはコピー中は、トレイ 1 で用紙の追加や取り出しを行ったり、トレイ 2、トレイ 3、または 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) を開いたりしないようにしてください。

MFP の損傷を防ぐため、ラベル紙や封筒の印刷にはトレイ 1 を使用し、上向きビンに送るようにしてください。また、ラベル紙や封筒には両面印刷を行わないでください。



トレイ 1 に用紙をセットするには

トレイ 1 は多目的トレイで、高さ 5 mm (0.2 インチ) まで用紙をセットできます。枚数に換算すると、およそ 75 g/m^2 (20 ポンド用紙) の 100 枚、封筒 10 枚、OHP フィルム 20 枚に相当します。トレイ 1 に用紙がセットされていると、デフォルトでトレイ 1 から印刷するように設定されています。

トレイ 1 を使用すると、他のトレイを取り外さないで、封筒、OHP フィルム、カスタム サイズなどの用紙に印刷できます。トレイ 1 は、追加の給紙トレイとしても役立ちます。

トレイ 1 に用紙をセットするには、次の手順に従います。

1 トレイ 1 を開きます。

2 トレイの第 1 延長部分を止まるところまで引き出します。大きな用紙に印刷する場合は、トレイの第 2 延長部分も完全に引き出します。

3 サイズや仕上げ機能のオプションに応じて、用紙をセットします (用紙の向きを確認します)。印刷済み用紙の片面に印刷する場合は、印刷する面を上向きにします。印刷済み用紙の両面に印刷する場合は、最初に印刷する面を下向きにします。



注記
紙詰まりを防ぐため、ラベル紙は 1 枚ずつ印刷してください。

4 用紙ガイドを、用紙の束に軽く触れる位置に調整します。そのときに用紙がたわまないようにしてください。用紙は、ガイドのタブの下に収まるようにします。用紙の束の高さが、用紙レベル インジケータを超えることのないようにしてください。

5 用紙をセットして数秒以内に、コントロール パネルのディスプレイを確認します。数秒が経過した場合は、用紙を再セットします。

6 コントロール パネルのディスプレイに TRAY 1 <TYPE> <SIZE> (トレイ 1 < タイプ > < サイズ >) というメッセージが表示されない場合は、トレイの使用準備が整ったことを示します。

7 TRAY 1 <TYPE> <SIZE> (トレイ 1 < タイプ > < サイズ >) というメッセージが表示された場合は、[OK] を押して、用紙のサイズとタイプの設定を変更してください。[Size (サイズ)] メニューが表示されます。

8 [ANY SIZE (任意のサイズ)] を押します。コントロール パネルのディスプレイに SETTING SAVED (設定は保存済み) というメッセージが表示されます。

9 [ANY TYPE (任意のタイプ)] を押します。コントロール パネルのディスプレイに SETTING SAVED (設定は保存済み) というメッセージが表示されます。

10 さまざまなサイズやタイプの用紙を使用するためのプリンタの準備が整うと、コントロール パネルのディスプレイに TRAY 1 ANY SIZE ANY TYPE（トレイ 1 任意のサイズ 任意のタイプ）というメッセージが表示されます。

11 [EXIT (終了)] を押して、サイズとタイプの設定を確定します。

トレイ 1 に用紙をセットするには (複数の印刷ジョブの場合)

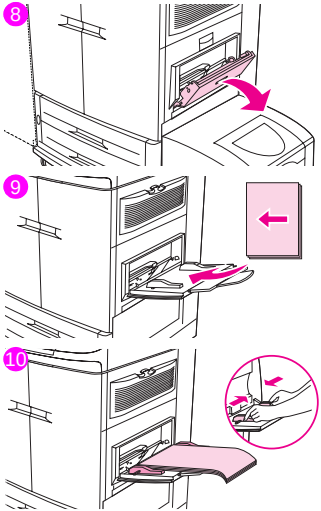
ここで説明する手順は、通常はトレイ 1 に同じタイプの用紙をセットし、さまざまな印刷ジョブにおいてトレイ 1 の用紙を取り外すことのない場合に参考にしてください。この手順を使用すると、トレイ 1 から印刷する場合の MFP のパフォーマンスが向上します。

注意
紙詰まりを防ぐため、印刷中は、トレイの用紙の追加や取り出しは行わないでください。

1 [メニュー] ボタンを押します。
2 [PAPER HANDLING (用紙処理)] を押します。
3 [TRAY 1 SIZE (トレイ 1 サイズ)] を押します。
4 正しいサイズの用紙を選択します。コントロール パネルのディスプレイに SETTING SAVED (設定は保存済み) というメッセージが表示されます。

注記
用紙サイズに [CUSTOM (カスタム)] を指定する場合は、計測単位 (X と Y の寸法) も指定します。

5 [TRAY 1 TYPE (トレイ 1 タイプ)] を押します。



6 正しい用紙タイプを選択します。コントロール パネルのディスプレイに SETTING SAVED（設定は保存済み）というメッセージが表示されます。

7 [EXIT (終了)] を押して、メニューを終了します。

8 トレイ 1 を開きます。

9 トレイの第 1 延長部分を止まるところまで引き出します。大きな用紙に印刷する場合は、トレイの第 2 延長部分も完全に引き出します。

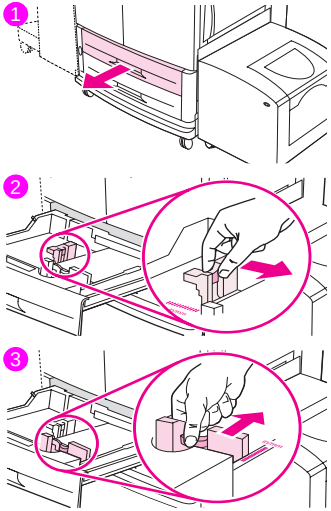
10 サイズや仕上げ機能のオプションに応じて、用紙をセットします (用紙の向きを確認します)。印刷済み用紙の片面に印刷する場合は、印刷する面を上向きにします。印刷済み用紙の両面に印刷する場合は、最初に印刷する面を下向きにします。

注意
紙詰まりを防ぐため、ラベル紙は 1 枚ずつ印刷してください。

11 用紙ガイドを、用紙の束に軽く触れる位置に調整します。そのときに用紙がたわまないようにしてください。用紙は、ガイドのタブの下に収まるようにします。用紙の束の高さが、用紙レベル インジケータを超えることのないようにしてください。

12 用紙をセットして数秒以内に、コントロール パネルのディスプレイを確認します。トレイの設定内容が表示されます。数秒が経過した場合は、用紙を再セットします。

13 [EXIT (終了)] を押して、メニューを終了します。これで、トレイの使用準備が整いました。



トレイ 2 およびトレイ 3 への用紙のセット

トレイ 2 およびトレイ 3 には、標準サイズの用紙を 500 枚までセットできます。

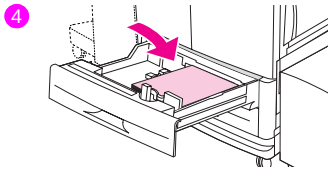
トレイ 2 およびトレイ 3 に検出可能な標準サイズの用紙をセットするには

検出可能な標準サイズの用紙をセットするには、次の手順に従います。次の用紙は検出可能なサイズで、トレイ内にマークが表示されています。

- A4、レター、A3、リーガル、エグゼクティブ、11 x 17、B4、B5、A4-R、レター-R

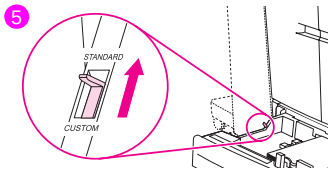
注意
紙詰まりを防ぐため、印刷中は、トレイの用紙の追加や取り出しは行わないでください。

1 トレイを止まるところまで引き出します。
2 左側 (Y) 用紙ガイドのタブを押して、用紙の束の端までスライドさせて調節します。
3 前面 (X) 用紙ガイドのタブを押して、用紙の束の端までスライドさせて調節します。



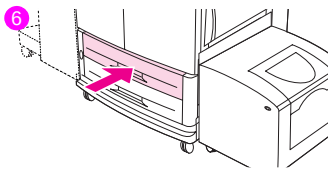
4 サイズに応じて、用紙をセットします (用紙の向きを確認します)。

注意
トレイの奥に、用紙の最大収納量を示す三角マークが示されています。このマークを超えて、用紙をセットしないようにしてください。



5 CUSTOM/STANDARD スイッチを「STANDARD」にセットします。

6 トレイをスライドさせて、MFP に取り付けます。



7 トレイをセットして数秒以内に、コントロール パネルのディスプレイを確認します。数秒が経過した場合は、トレイを手前にスライドさせて再び戻します。コントロール パネルのディスプレイに、トレイの用紙サイズと設定内容が表示されます。次のいずれかの手順を行います。

- サイズとタイプの設定が正しい場合は、[EXIT (終了)] を押して設定を確定します。
- サイズとタイプの設定が正しくない場合は、[OK] を押します。[TRAY N SIZE=*<SIZE> (トレイ N サイズ =*< サイズ >)] メニューが表示されます。

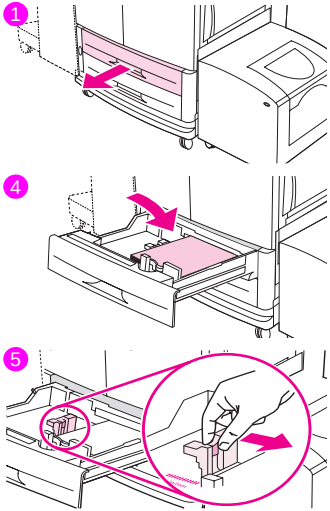
8 サイズ設定を変更するには、適切な用紙サイズを選択します。コントロール パネルのディスプレイに SETTING SAVED (設定は保存済み) というメッセージが表示され、トレイのタイプを選択するメニューが開きます。

注記
選択した用紙のサイズによって、トレイの CUSTOM/STANDARD スイッチを別の位置にセットするようにメッセージが表示されることがあります。また、用紙ガイドの位置を調整するようにメッセージが表示されることもあります。コントロール パネルに表示される手順に従ってトレイを閉じ、前述の手順 7 からもう一度操作してください。

9 タイプ設定を変更するには、適切な用紙タイプを選択します。コントロール パネルのディスプレイに SETTING SAVED（設定は保存済み）というメッセージが表示され、サイズとタイプが表示されます。

注記
75 ～ 105 g/m^2 (20 ～ 28 ポンド) の用紙よりも厚い (または薄い) 用紙を使用している場合や、コート紙や OHP フィルムを使用している場合は、トレイの用紙タイプを設定します。

10 サイズとタイプの設定が正しい場合は、[EXIT (終了)] を押して設定を確定します。これで、トレイの使用準備が整いました。



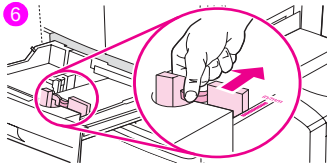
トレイ 2 およびトレイ 3 に検出できない標準サイズの用紙をセットするには

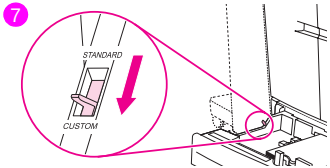
検出できない標準サイズの用紙をセットするには、次の手順に従います。次の用紙は検出できないサイズで、トレイ内にマークが表示されています。

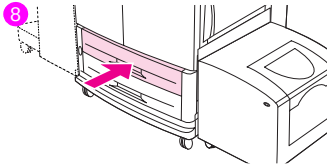
- 8K、16K、A5、ステートメント、エグゼクティブ、8.5x13 (216x330mm)

注意
紙詰まりを防ぐため、印刷中は、トレイの用紙の追加や取り出しは行わないでください。

1. トレイを止まるところまで引き出します。
2. 前面 (X) 用紙ガイドのタブを押し、外側に止まるまでスライドさせます。
3. 左側 (Y) 用紙ガイドのタブを押し、外側に止まるまでスライドさせます。
4. サイズに応じて、用紙をセットします (用紙の向きを確認します)。
5. 左側 (Y) 用紙ガイドのタブを押して、用紙の束に軽く触れる位置まで用紙ガイドをスライドさせます。







6 前面 (X) 用紙ガイドのタブを押して、用紙の束に軽く触れる位置まで用紙ガイドをスライドさせます。

7 CUSTOM/STANDARD スイッチを「CUSTOM」にセットします。

8 トレイをスライドさせて、MFP に取り付けます。

9 トレイをセットして数秒以内に、コントロール パネルのディスプレイを確認します。数秒が経過した場合は、トレイを手前にスライドさせて再び戻します。コントロール パネルのディスプレイに、トレイの用紙サイズと設定内容が表示されます。次のいずれかの手順を行います。

- サイズとタイプの設定が正しい場合は、[EXIT (終了)] を押して設定を確定します。
- サイズとタイプの設定が正しくない場合は、[OK] を押します。[TRAY N SIZE=*<SIZE> (トレイ N サイズ =*< サイズ >)] メニューが表示されます。

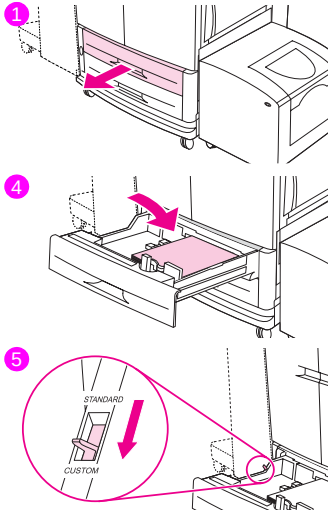
10 サイズ設定を変更するには、適切な用紙サイズを選択します。コントロール パネルのディスプレイに SETTING SAVED (設定は保存済み) というメッセージが表示され、トレイのタイプを選択するメニューが開きます。

注記
選択した用紙のサイズによって、トレイの CUSTOM/STANDARD スイッチを別の位置にセットするようにメッセージが表示されることがあります。また、用紙ガイドの位置を調整するようにメッセージが表示されることもあります。コントロール パネルに表示される手順に従ってトレイを閉じ、前述の手順 9 からもう一度操作してください。

11 タイプ設定を変更するには、適切な用紙タイプを選択します。コントロール パネルのディスプレイに SETTING SAVED（設定は保存済み）というメッセージが表示され、サイズとタイプが表示されます。

注記
75 ～ 105 g/m^2 (20 ～ 28 ポンド) の用紙よりも厚い (または薄い) 用紙を使用している場合や、コート紙や OHP フィルムを使用している場合は、トレイの用紙タイプを設定します。

12 サイズとタイプの設定が正しい場合は、[EXIT (終了)] を押して設定を確定します。これで、トレイの使用準備が整いました。

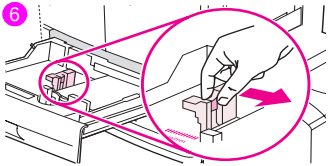


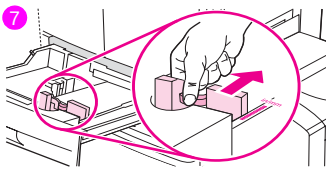
トレイ 2 およびトレイ 3 にカスタム サイズの用紙をセットするには

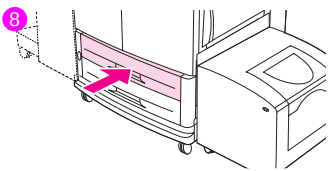
カスタム サイズの用紙をセットするには、次の手順に従います。

注意
紙詰まりを防ぐため、印刷中は、トレイの用紙の追加や取り出しは行わないでください。

1. トレイを止まるところまで引き出します。
2. 前面 (X) 用紙ガイドのタブを押し、外側に止まるまでスライドさせます。
3. 左側 (Y) 用紙ガイドのタブを押し、外側に止まるまでスライドさせます。
4. サイズに応じて、用紙をセットします (用紙の向きを確認します)。
5. CUSTOM/STANDARD スイッチを「CUSTOM」にセットします。







6 左側 (Y) 用紙ガイドのタブを押して、用紙の束に軽く触れる位置まで用紙ガイドをスライドさせます。

7 前面 (X) 用紙ガイドのタブを押して、用紙の束に軽く触れる位置まで用紙ガイドをスライドさせます。

8 用紙の向きと、X と Y の寸法をメモに残してください。X と Y の寸法は、トレイにマークされています。この情報は、後の手順で必要になります。

9 トレイをスライドさせて、MFP に取り付けます。

10 トレイをセットして数秒以内に、コントロール パネルのディスプレイを確認します。数秒が経過した場合は、トレイを手前にスライドさせて再び戻します。コントロール パネルのディスプレイに、トレイの用紙サイズと設定内容が表示されます。次のいずれかの手順を行います。

- サイズとタイプの設定が正しい場合は、[EXIT (終了)] を押して設定を確定します。これで、トレイの使用準備が整いました (カスタム寸法を正確に設定しなくてもよい場合は、ここから先の手順を行う必要はありません。詳細については、次の「注記」を参照)。
- サイズ設定を変更するには、[OK] を押します。[TRAY N SIZE=*<SIZE> (トレイ N サイズ =*< サイズ >>)] メニューが表示されます。

注記
コントロール パネルに表示されたサイズが [CUSTOM (カスタム)] であるときは、トレイのサイズを [ANY CUSTOM(任意カスタム)] にします。このように設定しておくと、印刷ジョブの寸法とトレイにセットされている用紙の寸法が異なる場合でも、すべてのカスタム サイズの印刷ジョブに対して、トレイに設定されている用紙が使用されます。必要に応じて、トレイにセットしているカスタム サイズの用紙の正確な寸法を指定することもできます。正確な寸法を指定すると、コントロール パネルのサイズには、[CUSTOM (カスタム)] ではなく寸法値が表示されます。

11 [CUSTOM (カスタム)] を押します。**[Unit of Measure (計測単位)]** メニューが表示されます。

注記
トレイの CUSTOM/STANDARD スイッチを別の位置にセットするようにメッセージが表示されることがあります。また、用紙ガイドの位置を調整するようにメッセージが表示されることもあります。コントロール パネルに表示される手順に従ってトレイを閉じ、前述の手順 10 からもう一度操作してください。

12 計測単位 ([MILLIMETERS (ミリメートル)] または [INCHES (インチ)]) を選択します (トレイの用紙ガイドの計測単位を使用している場合は、[MILLIMETERS (ミリメートル)] を選択してください)。

13 数字キーパッドを使って X 寸法 (用紙の縦の長さ) を指定します。

14 [OK] を押します。

15 数字キーパッドを使って Y 寸法 (用紙の横の長さ) を指定します。

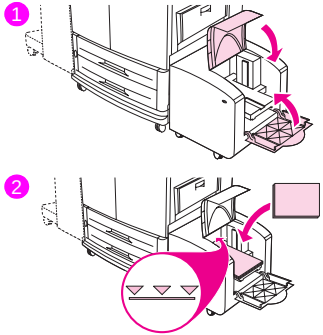
16 [OK] を押します。数秒の間、コントロール パネルのディスプレイに SETTING SAVED (設定は保存済み) というメッセージが表示されます。そして、トレイのサイズを寸法で指定するメニューが開きます。

17 タイプ設定を変更するには、適切な用紙タイプを選択します。コントロール パネルのディスプレイに SETTING SAVED (設定は保存済み) というメッセージが表示され、サイズとタイプが表示されます。

注記

75 ～ 105 g/m^2 (20 ～ 28 ポンド) の用紙よりも厚い (または薄い) 用紙を使用している場合や、コート紙や OHP フィルムを使用している場合は、トレイの用紙タイプを設定します。

18 [EXIT (終了)] を押して、設定を確定します。これで、トレイの使用準備が整いました。



2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) に用紙をセットするには

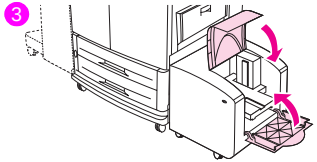
2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) には、用紙を 2,000 枚までセットできます。

このトレイにセットできるのは、A4 およびレター サイズの用紙だけです。75 ～ 105 g/m^2 (20 ～ 28 ポンド) の用紙よりも厚い (または薄い) 用紙を使用している場合や、コート紙を使用している場合は、トレイの用紙タイプを設定します。

注意
紙詰まりを防ぐため、印刷中は、トレイの用紙の追加や取り出しは行わないでください。

2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) に用紙をセットするには、次の手順に従います。

1. 上部のドアを開き、次に下部のドアを開きます。
2. 印刷面を上向きにして、長辺を MFP 側に向けて、用紙をセットします (ブックレットを作成する場合は、短辺を MFP 側に向けます)。用紙は、2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) の奥の三角マークで示される、用紙の最大収納量よりも多くセットしないでください。



注記
セットできる用紙の枚数は、用紙のタイプによって異なります。セットできる用紙の高さは、トレイの奥にある三角マークを見て判断してください。

用紙の四隅が折れていないことを確認してください。

2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) は、レター、A4、A4-R、およびレター-R に対応しています。

3 下部のドアを閉じ、次に上部のドアを閉じます。

4 コントロール パネルのディスプレイには、使用する用紙のサイズとタイプを選択するようにメッセージが表示されます。

5 スクロールして目的のサイズを選択します。

6 スクロールして目的のタイプを選択します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

用紙のサイズとタイプの変更および設定

MFP の給紙トレイは、タイプとサイズを使って設定することもできます。給紙トレイに異なる用紙をセットして、タイプとサイズを指定します。

注記 以前のバージョンの HP LaserJet プリンタや MFP を使用している場合、トレイ 1 を第 1 モードまたはカセット モードに設定する操作に慣れているかもしれません。第 1 モードにするには、トレイ 1 のサイズを [ANY SIZE (任意のサイズ)] に、タイプを [ANY TYPE (任意のタイプ)] に設定します。カセット モードにするには、トレイ 1 のサイズを [ANY SIZE (任意のサイズ)] 以外にするか、タイプを [ANY TYPE (任意のタイプ)] 以外に設定します。

MFP コントロール パネルでトレイを設定するには、次の手順に従います。内蔵 Web サーバを使用して、コンピュータからトレイを設定することもできます。

トレイ 1 の用紙サイズを設定または変更するには

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [PAPER HANDLING (用紙処理)] を押します。
3. [TRAY 1 SIZE (トレイ 1 サイズ)] を押します。
4. セットした用紙のサイズを選択します。
5. [OK] を押して、メニューを終了します。

トレイ 2、トレイ 3、2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) に標準サイズの用紙をセットするには

MFP は、セットされた用紙のサイズを自動的に検出するため、サイズを手動で設定する必要はありません。

トレイ 2 およびトレイ 3 のカスタム サイズの用紙を設定または変更するには

1. トレイ内部の CUSTOM/STANDARD スイッチが「CUSTOM」に設定されていることを確認します。
2. コントロール パネルに、用紙サイズの指定を求めるメッセージが表示されます。
3. 適切な計測単位 ([MILLIMETERS (ミリメートル)] または [INCHES (インチ)]) を選択します (トレイの用紙ガイドの計測単位がミリメートルであるため、デフォルトでは [MILLIMETERS (ミリメートル)] に設定されています)。
4. 数字キーパッドを使って、トレイの X 寸法 (用紙の縦の長さ) を指定します。
5. 数字キーパッドを使って、トレイの Y 寸法 (用紙の横の長さ) を指定します。
6. [EXIT (終了)] を押して、メニューを終了します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

任意のトレイの用紙タイプを設定または変更するには

1 使用する用紙について、正しいタイプを確認します。
2 [メニュー] ボタンを押します。
3 [PAPER HANDLING (用紙処理)] を押します。
4 [TRAY X TYPE (トレイ X タイプ)] を押します。
5 使用している用紙に適切なタイプ設定を選択します。

注記 デフォルトの用紙タイプは「普通紙」です。

6 [EXIT (終了)] を押して、メニューを終了します。

コピー機能

2

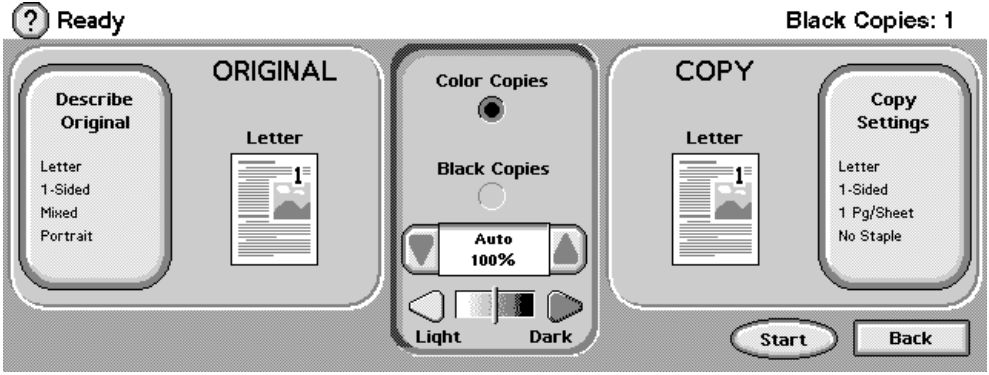
MFP は、スタンドアロン型のカラー コピー機またはモノクロ コピー機としての機能を備えています。印刷システム ソフトウェアをインストールしておく必要はなく、コピーするためにコンピュータを起動する必要もありません。コピー機能はコントロール パネルから設定し、原稿のコピーには、ADF またはスキャナのガラス面を使用します。MFP では、コピー、印刷、デジタル情報送信のジョブを同時に実行することができます。

この章では、モノクロ コピーやカラー コピーを作成する方法と、コピー機能の設定を変更する方法について説明します。MFP のコピー機能を使用する前に、コントロール パネル操作についての説明をお読みください。第 1 章の「コントロール パネル (4 ページ)」を参照してください。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

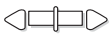
コピー画面レイアウト

コピー画面の機能やボタンについて、図と表を用いて説明します。



機能 / ボタン	用途
? (ヘルプ)	「What is this? (項目対応ヘルプ)」にアクセスする機能です。ヘルプまたは「Show me How (操作手順)」を表示します。
READY (印刷可能)	MFP はコピーの準備が整っていることを示します (同じ行にステータス メッセージが補足的に表示されることがあります)。
DESCRIBE ORIGINAL (原稿)	原稿について、サイズ、タイプ、向き、画像の内容などを選択します。
COLOR COPIES (カラー コピー)	カラー コピーを行うときに選択します。
BLACK COPIES (モノクロ コピー)	モノクロ コピーを行うときに選択します。
拡大 / 縮小 	コピーのサイズを拡大または縮小します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

機能 / ボタン	用途
濃淡調整 	コピーの濃さ / 薄さを指定します。
COPY SETTINGS (コピー設定)	出力する文書に関する設定 (用紙サイズ、片面 / 両面、ステイプル留めなど) を表示します。
START (開始)	文書のコピーを開始します。
BACK (戻る)	コントロール パネル ディスプレイの 1 つ前の画面に戻ります。
CANCEL (キャンセル)	タッチスクリーンの下位レベルの画面 (メイン画面から開くすべての画面) には、[CANCEL (キャンセル)] オプションがあります。[CANCEL (キャンセル)] を押すと、変更内容をすべて無効にして 1 つ前の画面に戻ります。
OK	タッチスクリーンの下位レベルの画面 (メイン画面から開くすべての画面) には、[OK] オプションがあります。[OK] を押すと、変更内容をすべて確定して次の画面に進みます。

コピー操作

原稿が標準サイズの用紙である場合、原稿を ADF やスキャナのガラス面に置くと、サイズが自動的に検出され、適切なサイズの用紙が選択されてコピーが行われます。コントロール パネルで入力 ([DESCRIBE ORIGINAL (原稿)]) と出力 ([COPY SETTINGS (コピー設定)]) を指定して、自動検出機能の設定を無効にすることもできます。

注記

スキャナのガラス面は、小さな用紙や軽い用紙 (46g/m^2 未満、または 12 ポンド未満) をコピーするときに使用します。領収証、新聞の切り抜き、写真などのサイズが不揃いの原稿や、古い文書、傷つきやすい文書、高価な文書、擦り切れた文書などのコピーもできます。また、書籍、雑誌、マニュアルなどのコピーにも使用できます。

ADF は、1 つの文書の対し、コピー部数 999 まで対応しています。ADF には、レジャー /A3 サイズの用紙であれば 50 枚まで、レター /A4 サイズの用紙であれば 100 枚までセットできます (正確な枚数は、用紙の厚さによって異なります)。

このセクションでは、次のコピー操作について説明します。

- デフォルト設定を使用したコピー (ワンタッチ コピー)
- ユーザー定義の設定を使用したコピー
- スキャナのガラス面からのコピー
- ADF からのコピー
- 書籍のコピー
- コピーを後で実行するためのジョブの作成

デフォルト設定を使用したコピー (ワンタッチ コピー)

コピー機能では、次の内容がデフォルトで設定されています。

- コピー部数 1 部
- 原稿サイズはレターまたは A4、コピー サイズはレター

注記 MFP は、原稿サイズを自動的に検出し、同じサイズの用紙にコピーします。出荷時のデフォルト設定では、用紙サイズが検出されないときはレターまたは A4 を使用するように設定されています。

- モノクロ コピー (カラー コピーに設定可能)
- Page Orientation (用紙の向き) : Portrait (縦)
- Number of Sides (両面 / 片面) : One (片面)
- Page Content (ページ内容) : Mixed (文字と写真)
- Job Mode (ジョブ モード) : Off (オフ)
- Heavy Paper (厚紙) : Off (オフ)

デフォルト設定を使用してカラー コピーを作成するには

1 スキャナのガラス面または ADF に、原稿を下向きに置きます。
2 [COPY (コピー)] を押します。
3 [Color Copies (カラー コピー)] を選択します。
4 [START (開始)] を押します。

デフォルト設定を使用してモノクロ コピーを作成するには

1 スキャナのガラス面または ADF に、原稿を下向きに置きます。
2 [COPY (コピー)] を押します。
3 [Black Copies (モノクロ コピー)] を選択します。
4 [START (開始)] を押します。

ユーザー定義の設定を使用したコピー

次の手順により、コピー設定を変更できます。

デフォルト以外の設定を使用してコピーを作成するには

1 スキャナのガラス面または ADF に、原稿を下向きに置きます。
2 コントロール パネルのコピー アイコンを押します。グラフィカル ディスプレイにコピー画面が表示されます。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

3 [COLOR COPIES (カラー コピー)] または [BLACK & WHITE COPIES (モノクロ コピー)] を押します。

4 必要に応じて、グラフィカル ディスプレイの画像補正セクションにある濃淡調整バーや拡大 / 縮小オプションを使って、濃さや拡大縮小率を調整します。

5 [DESCRIBE ORIGINAL (原稿)] を押して、オプションを確認します。[BASIC (基本)] オプションまたは [ADVANCED (詳細)] オプションを選択できます。選択したら、[OK] を押します。

注記 **[Page Content (ページ内容)]** タブで **[Mixed (文字と写真)]** を選択すると、**[Advanced (詳細)]** タブでは文字と写真 (または文字と光沢のある写真) のどちらを優先するかを指定できます。

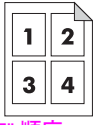
[Basic (基本)] タブ	**選択項目**
SIZE (サイズ)	**[Book (書籍)]** または原稿のサイズを指定します。
PAGE ORIENTATION (用紙の向き)	**[Portrait (縦)]** または **[Landscape (横)]** を指定します。
NUMBER OF SIDES (両面 / 片面)	**[1-sided (片面)]** または **[2-sided (両面)]** を指定します。
PAGE CONTENT (ページ内容)	**[Text (文字)]**、**[Photo (写真)]**、**[Glossy Photo (光沢のある写真)]**、または **[Mixed (文字と写真)]** を指定します。

[Advanced (詳細)] タブ	**選択項目**
HEAVY PAPER (厚紙)	原稿が厚紙で ADF を使用する場合は、**Heavy Paper (厚紙)** を選択します。
JOB MODE (ジョブ モード)	1 つのジョブで複数の平面スキャンを組み合わせて使用する場合は、**Job Mode (ジョブ モード)** を選択します。

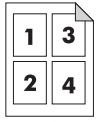
	機能 / 用途
Text (文字)	文字品質が最良になるように最適化します。
Photo (写真)	原稿写真の印刷またはハーフトーン印刷を行うように最適化します。
Glossy photo (光沢のある写真)	光沢のある写真や連続トーン写真向けに最適化します。
Mixed (文字と写真)	文字と写真の両方に対して最適化します。
Advanced (詳細) (ボタン)	文字と写真モードで、文字と写真のいずれかを優先して最適化するように調整します。

6 [COPY SETTINGS (コピー設定)] を押して、オプションを確認します。**[Advanced (詳細)]** タブを開くと、さらに多くのオプションを参照できます。

[Basic (基本)] タブ	選択項目
SIZE (サイズ)	**[Auto (自動)]** を選択するか (用紙サイズは原稿サイズに合わせて選択されます)、コピー用紙のサイズを指定します。適切なサイズの用紙がトレイにセットされていることを確認してください。
NUMBER OF SIDES (両面 / 片面)	**[1-sided (片面)]** または **[2-sided (両面)]** を指定します。
BACK SIDE ORIENTATION (背面の向き)	**[Normal (標準)]** または **[Flip (綴じ)]** を選択します (**[2-sided (両面)]** コピーを選択したときに適用されます)。
PAGES PER SHEET (1 枚の用紙に印刷するページ数)	**[1]**、**[2]**、**[4]**、または **[Booklet (ブックレット)]** を指定します。 1 枚の用紙に印刷するページ数を 4 に設定すると、印刷の向きに 応じて “Z” 順序と “N” 順序が設定されます。また、ページに枠を付けて印刷するかどうかのオプションを選択できます。



“Z” 順序



“N” 順序

BORDERS (枠線)	1 枚の用紙に複数のページを印刷するとき、**[Border (枠あり)]** または **[No Border (枠なし)]** を指定します。
STAPLE (ステイプル)	ステイプル オプションは、留め具機能付きデバイスと用紙サイズの設定内容に応じて変わります。3,000 枚収納ステイプラ / スタッカの場合、**[None (なし)]**、**[Corner (隅部)]**、**[1]**、**[2]**、**[3]**、**[6]** のいずれかから選択します。マルチファンクション フィニッシャの場合、**[None (なし)]**、**[1]**、**[2]**、**[Booklet (ブックレット)]**、のいずれかから選択します。

[Advanced (詳細)] タブ	**選択項目**
COLLATION (丁合い)	**[Collated (丁合いあり)]** または **[Uncollated (丁合いなし)]** を指定します。
OUTPUT BIN (排紙ビン)	留め具機能付きデバイスとしての排紙先を指定します。
JOB STORAGE (ジョブ保存)	コピー ジョブを印刷せずに MFP に保存する場合は、**[On (オン)]** を選択します。通常どおりコピー ジョブを実行する場合は、**[Off (オフ)]** を選択します。詳細については、「コピーを後で実行するためのジョブの作成 (45 ページ)」を参照してください。
ENHANCE (調整)	画質を調整し、背景を除去します。
SCALE TO FIT (用紙に合わせて調節)	**[On (オン)]** に設定すると、印刷可能領域に合わせて画像がわずかに縮小されます。

7 設定が完了したら、[OK] を押してコピーのメイン画面に戻ります。

注記 グラフィカル ディスプレイの [COPY (コピー)] セクションに、コピーされる原稿のイメージがページ アイコンとして表示されます。

8 数値キーパッドを使ってコピー部数を指定し、[START (開始)] を押します。

スキャナのガラス面からのコピー

スキャナのガラス面は、小さな用紙や軽い用紙 (46 g/m^2 未満、または 12 ポンド未満) をコピーするときに使用します。領収証、新聞の切り抜き、写真などのサイズが不揃いの原稿や、古い文書、擦り切れた文書などのコピーもできます。また、書籍、雑誌、マニュアルなどのコピーにも使用できます。

1 スキャナのガラス面に、原稿を下向きに置きます。

2 必要に応じて、画像補正を行い、コピー設定を変更します。有効な設定内容については、「ユーザー定義の設定を使用したコピー (37 ページ)」を参照してください。

3 コピー部数が 1 部のときは、[START (開始)] を押します。複数部をコピーするときは、数値キーパッドを使って部数を指定し (最大 999 まで指定できます)、[START (開始)] を押してコピーを開始します。

ADF からのコピー

ADF を使用する場合、100 ページ構成の文書を 999 部数までコピーできます (正確な数値は、用紙の厚さによって異なります)。

1 ADF に、原稿を下向きに置きます。一部の標準サイズ用紙は、自動的にサイズが検出されます。

2 必要に応じて、画像補正を行い、コピー設定を変更します。有効な設定内容については、「ユーザー定義の設定を使用したコピー (37 ページ)」を参照してください。

コピー部数が 1 部のときは、[START (開始)] を押します。複数部をコピーするときは、数値キーパッドを使って部数を指定し、[START (開始)] を押してコピーを開始します。

書籍のコピー

書籍のコピーには、スキャナのガラス面を使用します。

1. スキャナのガラス面に、書籍を下向きに置きます。
2. 書籍の位置を調整します。書籍をスキャナのガラス面上部にある書籍アイコンに揃えることで、位置が正しいことを判断できます。
3. [COPY (コピー)] を押します。
4. [DESCRIBE ORIGINAL (原稿)] を押します。
5. [Size (サイズ)] として **[Book (書籍)]** を指定します。
6. [OK] を押します。

注記

ページ アイコンの上にある **[Skip Page (ページのスキップ)]** ボタンを使用すると、ページをスキップすることができます。ボタンを 1 回押すと左側のページがスキップされます。ボタンを 2 回押すと右側のページがスキップされます。ページのスキップをキャンセルするには、ボタンを 3 回押します。**[Skip Page (ページのスキップ)]** ボタンを使ってページのスキップを指定しないと、左右両方のページがコピーされます。

7. [COPY SETTINGS (コピー設定)] を押します。
8. 出力について、必要な設定をします。コピーする書籍の実サイズに最も近い用紙サイズを選択します。
9. [OK] を押します。
10. 数値キーパッドを使ってコピー部数を指定します。
11. [START (開始)] を押します。

コピーを後で実行するためのジョブの作成

ジョブ保存機能をオンにすると、コピー ジョブは MFP のハード ディスクに保存され、印刷を後で行うことができます。

1 基本のコピー設定を選択します (「ユーザー定義の設定を使用したコピー (37 ページ)」を参照)。

2 **[Advanced (詳細設定)]** タブを開きます。

3 **[Stored Jobs (ジョブ保存)]** オプションを **[On (オン)]** に設定します。

状況に応じて、**[User Name (ユーザー名)]**、**[Job Name (ジョブ名)]**、個人識別番号 **([PIN])** の入力を求めるダイアログ ボックスが表示されます。**[User Name (ユーザー名)]** と **[Job Name (ジョブ名)]** を選択すると、キーボードが表示されます。**[PIN]** は 4 桁の数値で、数値キーパッドから入力できます。

4 **[User Name (ユーザー名)]** を入力します。

5 **[Job Name (ジョブ名)]** を入力します。

6 保存しているコピー ジョブへのアクセスを制御する場合は、**[PIN]** を入力します。

7 [OK] を押します。

8 [START (開始)] を押します。

カラー コピーとモノクロ コピー

ホーム画面で [COPY (コピー)] を押し、[COLOR COPIES (カラー コピー)] または [BLACK & WHITE COPIES (モノクロ コピー)] を選択します。[COLOR COPIES (カラー コピー)] を選択すると、コントロール パネル ディスプレイの右上に [COLOR COPIES: (カラー コピー：)] と表示されます。[BLACK & WHITE COPIES (モノクロ コピー)] を選択すると、コントロール パネル ディスプレイの右上に [BLACK COPIES: (モノクロ コピー：)] と表示されます。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

拡大または縮小

MFP は自動倍率調整機能を備えています。原稿とコピー用紙のサイズが異なると、用紙サイズの不一致が自動的に検出されます。スキャンされた原稿のイメージは、コピー用紙のサイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小されます。拡大 / 縮小機能を使って、ユーザーが自動倍率調整機能の設定を無効にすることもできます。

MFP では、縮小率は 25% まで、拡大率は 400% まで (ADF の場合は 200% まで) 対応しています。

拡大 / 縮小ボタンを使って、拡大率や縮小率を設定します。拡大 / 縮小ボタンの中央にある倍率ボックスに、拡大または縮小のパーセンテージが表示されます。100% を押して、キーパッドから数値を入力することもできます。[OK] を押すと、変更内容が保存されます。

濃淡の調整

コピー画面の**濃淡調整**バーの矢印キーを使用すると、コピーの濃淡を調整できます。

文書の調整

[Copy settings (コピー設定)] タブの **[Advanced (詳細)]** タブを押すと、調整画面が開きます。この画面では、コピーイメージからの背景の除去や、コピー イメージの画質調整ができます。

背景の除去

カラー用紙に印刷された文書をコピーする場合や、原稿が薄紙であるために背面のイメージが透けて見えてしまう場合に、背景を除去することで、コピーの画質を向上させることができます。背景を除去する量を調整するには、**[Background Removal Control (背景の除去調整)]** の矢印を使用します。**[Background Removal Control (背景の除去調整)]** バーのスライダを左右に動かして調整します。

鮮明度

MFP で原稿のスキャンを実行するときの鮮明度は、**[Sharpness Control (鮮明度の調整)]** を使って指定します。この機能により、原稿上の文字や写真が薄い場合や線が細い場合でも、くっきりと鮮明に再生されます。鮮明度を調整するには、**[Sharpness Control (鮮明度の調整)]** の矢印を使用します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

コピーのデフォルト値の設定

デフォルトのコピー設定には、管理者が設定できるものがあります。ここでは、表に一覧するデフォルト値の設定や変更を行う手順を説明します。

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [CONFIGURE DEVICE (デバイスの設定)] を押します。
3. [COPYING (コピー機能)] を押します。
4. 変更するコピー設定を選択します。

コピー設定	説明
COLOR MODE (カラー モード)	MFP のコピー モードを、カラーまたはモノクロに設定します。
NUMBER OF SIDES (両面 / 片面)	ページの片面または両面にコピーすることができます。
COLLATE (丁合い)	[Off (オフ)] に設定すると、各ページは別々にコピーされます。[On (オン)] に設定すると、各ページの丁合いがとられます。

コピー設定	説明
COPIES（部数）	出力するコピーの部数を指定します。
STAPLE SUBMENU（ステイプル サブメニュー）	留め具機能付きデバイスが取り付けられているときに表示されるメニューです。
SHARPNESS（鮮明度）	コピーするときのイメージの鮮明度を指定します。
BACKGROUND REMOVAL（背景の除去）	イメージをコピーするときに背景を除去する程度を指定します。



http://www.hp.com/go/clj9500mfp

デジタル情報送信と電子メール 3

MFP には、電子メール送信機能が実装されています。この機能を設定するには、IP (Internet Protocol : インターネット プロトコル) アドレスまたは SMTP (Simple Mail Transfer Protocol : 簡易メール転送プロトコル) サーバのホスト名に関する情報が必要です。[Find Servers (サーバ検索)] メニュー オプションを使用して、サーバを検索することもできます。MFP では、電子メール メッセージの送信に SMTP を採用しています。MFP でスキャンしたイメージを含む添付ファイルとともに、電子メール メッセージを送信できます。

状況に応じて、LDAP (Lightweight Directory Access Protocol : ライトウェイト ディレクトリ アクセス プロトコル) を使用するように MFP を設定し、ディレクトリ サーバに接続して MFP から送信される電子メールにアクセスすることも可能です。ディレクトリ サーバには、受信者の名前 (“John Smith” など) や電子メール アドレス (jsmith@hp.com など) が格納されています。

MFP で LDAP を使用する場合、受信者の名前の最初の数文字を入力するだけで、残りの文字列がサポートされます。ユーザーが入力すると、その文字列に基づいてディレクトリ サーバの検索が行われ、最も近い名前が使用されます。大部分の環境では、LDAP を正しく設定するには内蔵 Web サーバが必要です。

注記 SMTP サーバや LDAP サーバの IP アドレスまたはホスト名がわからないときは、ネットワーク管理者や電子メール管理者に問い合わせてください。

1. [MENU (メニュー)] ボタンを押します。
2. [CONFIGURE DEVICE (デバイスの設定)] を押します。
3. [SENDING (送信)] を押します。
4. [E-MAIL (電子メール)] を押します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

5 [FIND SEND GATEWAYS (送信ゲートウェイ検索)] を押すと、LDAP サーバと SMTP サーバのローカル ネットワーク検索が実行されます。処理に成功した場合は手順 8、それ以外の場合は手順 6 に進んでください。

6 [SMTP GATEWAY (SMTP ゲートウェイ)] を押し、SMTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。LDAP サーバを利用できる場合は、[LDAP GATEWAY (LDAP ゲートウェイ)] を押し、LDAP サーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

7 [OK] を押します。

8 [TEST SEND GATEWAYS (送信ゲートウェイ テスト)] を押して、設定内容をテストします。

MFP には、カラー スキャン機能とデジタル情報送信機能が備えられています。コントロール パネルを使って、カラーまたはモノクロの文書をスキャンし、スキャンした結果を添付ファイルとして電子メール アドレスに送信することができます。デジタル情報送信機能を使用するには、MFP を LAN (Local Area Network : ローカル エリア ネットワーク) に接続してください。MFP と LAN の接続には、Jetdirect イーサネット カードを使用します。この章では、完全に統合されている機能であるスキャン機能と送信機能について説明します。

デジタル情報送信機能には、以下のような利点があります。

- 複数の電子メール アドレスに文書を送信できるため、時間と配信コストを節約できます。
- ファイルは、モノクロまたはカラーで配信します。受信者が対応しているファイル形式に合わせて、さまざまな形式で送信できます。
- 電子メールが正確に配信されたかどうかを確認する機能を提供します。

デジタル情報送信機能では、スキャンされた文書は MFP メモリに読み込まれ、添付ファイルとして 1 つまたは複数の電子メール アドレスに送信されます。デジタル文書は、PDF、JPEG、TIFF などの何種類かのグラフィックス形式で送信できるため (「設定内容の変更 (54 ページ)」を参照)、受信者はニーズに応じてさまざまなプログラムを使用して文書ファイルを操作できます。文書ファイルはオリジナルのファイルに近い品質で送信されるため、印刷、保存、転送などが可能です。

セキュリティ機能やフォルダのスキャン機能を求める場合、ユーザーの認証機能を提供するモジュールとして、HP Digital Sender モジュール ソフトウェアが用意されています。

文書の送信

MFP のスキャン解像度は、600 ppi (pixels-per-inch : ピクセル / インチ) です。原稿は、モノクロとカラーのいずれも使用できます。原稿は、スキャナのガラス面または ADF に置きます。スキャナのガラス面は、サイズが不揃いの原稿、書籍、ステイプル留めされた文書、二つ折りにされた文書、写真などを含め、あらゆるサイズの用紙に対応します。

スキャン機能やファイル形式については、デフォルト設定を使用することもできますし、設定内容を変更することもできます。次の内容がデフォルトで設定されています。

- カラー
- .PDF ファイル (電子メールの受信者が添付ファイルを参照するには Adobe® Acrobat® ビューアが必要)

スキャナのガラス面または ADF を使用したレター サイズ文書の送信

MFP のデフォルト設定を使用してレター サイズの原稿をスキャンして結果を送信するには、次の手順に従います。

1 スキャナのガラス面に、原稿を下向きに置きます。

グラフィカル ディスプレイのタッチスクリーンを使って、以下の手順を行います。

2 [SEND OPTIONS (送信オプション)] を押します。

[Copy Settings (コピー設定)] に代わって [Send Options (送信オプション)] が表示されます。文書送信機能には適用されないため、拡大 / 縮小の設定は表示されなくなります。

3 必要に応じて、ユーザー名とパスワードを入力します。

4 [E-MAIL (電子メール)] を押します。

5 [FROM: (差出人：)] を押し、ポップアップで表示されたキーボードを使用して、差出人の電子メール アドレスを入力します。

注記 キー入力を間違えた場合は、 を押すと削除できます。

6 [TO: (宛先：)] を押し、宛先 (受信者) の電子メール アドレスを入力します。

7 必要に応じて [CC: (写し送付先：)] を押し、メールの写しを受信する人の電子メール アドレスを入力します。メールの写しをブラインド コピーで送るには、[BCC: (ブラインド カーボン コピー：)] を押して受信者の電子メール アドレスを入力します。

8 [SUBJECT: (件名：)] を押し、電子メールのタイトルを入力します。

9 [SETTINGS (設定)] を押して、必要に応じて設定内容を変更します (「設定内容の変更 (54 ページ)」を参照)。[OK] を押します。

10 [START (開始)] を押します。

コントロール パネルのステータス バーに PROCESSING DIGITAL SEND JOB 〈 デジタル情報送信ジョブを実行中 〉 というメッセージが表示されます。

設定内容の変更

文書を送信する前に、必要に応じて以下の設定を変更します。

- **Scan Preferences (スキャン設定)** : **[Black and White (モノクロ)]** または **[Color (カラー)]** を選択します。

- **[File Type (ファイル タイプ)]** : **[PDF]**、**[TIFF]**、**[MTIFF]**、または **[JPG]** を指定します。いずれかの形式であれば、ファイルは電子メール アドレスに送信されます。
 - PDF : デフォルトでは、.PDF ファイル形式に設定されています。総合的に、文字と写真の画質は PDF ファイル形式の場合が最も優れています。ただし、.PDF ファイルを参照するには、受信者のコンピュータに Adobe Acrobat ビューアがインストールされている必要があります。.PDF 形式のファイルでは、スキャンしたすべてのページを 1 つの添付ファイルに収めて送信できます。
 - JPG : .JPG ファイルの場合、.PDF と同等の画質を提供することはありませんが、JPG ファイルはインターネット ブラウザを使用して参照できます。この形式のファイルでは、スキャンしたページ単位に 1 つの添付ファイルが作成されます。メールの受信者は .JPG ファイルを操作して、さまざまなプログラムにインポートできます。
 - TIFF : .TIFF は標準的なファイル形式で、対応しているコンピュータ プログラムも数多くあります。メールの受信者は、それらのプログラムを使用して操作することができます。この形式のファイルでは、スキャンしたページ単位に 1 つの添付ファイルが作成されます。
 - MTIFF : .MITFF はマルチページ TIFF を意味するもので、スキャンした複数のページを 1 つの添付ファイルに保存できます。

注記 ネットワーク環境で電子メールの添付ファイルのサイズに制限が設けられている場合は、.MTIFF や .PDF ファイルを複数の添付ファイルに分割します。

複数の受信者への文書送信

文書を複数の受信者に送信するには、以下の手順に従います。

1 スキャナのガラス面または ADF に、原稿を下向きに置きます。

2 [SEND OPTIONS (送信オプション)] を押します。

3 [E-MAIL (電子メール)] を押します。

4 [FROM: (差出人：)] を押し、ポップアップで表示されたキーボードを使用して、差出人の電子メール アドレスを入力します。

5 [TO: (宛先：)] を押し、最初の宛先 (受信者) の電子メール アドレスを入力します。次に、[ENTER] を押してセミコロンを挿入し、続けて電子メール アドレスを入力します。

6 受信者の一覧を確認するには、**[To: (宛先：)]** の下向き矢印を押します。

7 必要に応じて [CC: (写し送付先：)] を押し、メールの写しを受信する人の電子メール アドレスを入力します。メールの写しをブラインド コピーで送るには、[BCC: (ブラインド カーボン コピー：)] を押して受信者の電子メール アドレスを入力します。

8 [SUBJECT: (件名：)] を押し、電子メールのタイトルを入力します。

9 [OK] を押します。

10 [START (開始)] を押します。

自動操作完了機能の使用

[To (宛先)]、**[CC (写し送付先)]**、または **[From (差出人)]** 画面を開くと、**電子メール送信** 機能が有効になります。画面に表示されるキーボードを使ってアドレスや名前を入力すると、アドレス帳が自動的に検索され、最初に一致したアドレスがキーボード画面のテキスト ラインに設定されます。自動操作完了機能で設定されたアドレスが正しければ、ENTER を押して電子メール アドレスを確定します。別のアドレスが必要な場合は、自動操作完了機能が正しいアドレスを設定するまで入力を続けます。アドレス帳のエントリに一致しない文字列を入力すると、自動操作完了機能によって設定された文字列は削除され、入力した文字が表示されます。

アドレス帳の活用

使用頻度の高い電子メール アドレスは、プライベート アドレス帳やローカル アドレス帳に保存することができます。これらのアドレス帳は、同じサーバを使用する MFP 間で共有され、このアドレス帳を使用して HP MFP Digital Sending ソフトウェアへのアクセスが行われます。

注記 プライベート アドレス帳とローカル アドレス帳のいずれも、アドレスの追加や削除が可能です。ただし、プライベート アドレス帳にアドレスを追加するには、ユーザー認証を受ける必要があります。ユーザー認証を受けないと、アドレスはローカル アドレス帳に追加されます。

アドレス帳の機能は、ディスプレイ ダイアログ ボックスのアドレス帳アイコンを選択して起動します。**[All (すべて)]** または **[Local (ローカル)]** ボタンを選択すると、**[Edit (編集)]** ボタンが表示されます。**[Edit (編集)]** ボタンを使用して、アドレス帳のエントリを追加 / 削除します。**[Edit (編集)]** ボタンを選択すると、コントロール パネル ディスプレイに **[Address Book – Add (アドレス帳 – 追加)]** と **[Address Book – Delete (アドレス帳 – 削除)]** が表示されます。

[Back (戻る)] ボタンを押すと、1 つ前の画面に戻ります。

アドレス帳の機能を使って、複数の受信者に電子メールを送信できます。アドレス帳の設定方法については、システム管理者に問い合わせてください。

受信者リストの作成

グラフィカル ディスプレイのタッチスクリーンを使って、以下の手順を行います。

1. [E-MAIL (電子メール)] を押します。
2. [TO: (宛先：)] を押して、キーボード画面を開きます。
3. 宛名の 1 文字目を入力します。

注記 1 文字目を入力しないと、アドレス帳の先頭から検索が行われます。

4.  を押して、アドレス帳を開きます。
5. スクロール バーを使用して、アドレス帳内を移動します。
6. 宛名をハイライトして受信者を選択し、[ADD (追加)] ボタンを押します。

[ALL (すべて)] または [LOCAL (ローカル)] ボタンを押して配布先リストを選択したり、[LOCAL (ローカル)] ボタンを押してローカル リストから受信者を追加したりすることもできます。宛名をハイライトして [ADD (追加)] ボタンを押すと、受信者リストにその名前が追加されます。

リストから受信者を削除することもできます。削除するには、スクロールして受信者をハイライトし、[REMOVE (削除)] ボタンを押します。

7. 受信者リストの名前が、キーボード画面のテキスト ラインに表示されます。必要であれば、キーボードから電子メール アドレスを入力して、アドレス帳にエントリのない受信者を追加することもできます。
8. キーボード画面で [OK] を押します。
9. 必要に応じて、[Send To E-mail (電子メール送信)] 画面で [CC: (写し送付先：)] と [SUBJECT: (件名：)] を入力します。受信者の一覧を確認するには、[TO: (宛先：)] の下向き矢印を押します。
10. [START (開始)] を押します。

ファックス機能

4

注記 HP Color LaserJet 9500mfp には、HP LaserJet MFP Analog Fax Accessory 300 が標準で付属しています (一部の国 / 地域に限定されます)。HP LaserJet MFP Analog Fax Accessory 300 には、国 / 地域による電気通信の認可が必要です。ファックスが標準機能として認可されている国 / 地域のリストについては、販売代理店にお問い合わせいただくか、www.hp.com/clj9500mfp/fax/countries-regions を参照してください。

所在地に応じて必要なファックス設定を行いますが、サポートされている国 / 地域であっても、所在地の設定リストに含まれていない国 / 地域があります。このような国 / 地域の場合は、所在地の設定リストから、代わりとなる別の国 / 地域を選択して使用することができます。次に、新たにサポート対象となった国 / 地域と、その国 / 地域で使用するときに選択する国 / 地域の一覧表を示します。

国 / 地域のサポート

所在地 (国 / 地域)	所在地の設定リストから選択する国 / 地域
エストニア	ノルウェー、スウェーデン、またはロシア連邦
アイスランド	デンマーク、ノルウェー、またはスウェーデン
ラトビア	ノルウェー、スウェーデン、またはロシア連邦
リヒテンシュタイン	オーストリアまたはスイス
リトアニア	ノルウェー、スウェーデン、またはロシア連邦

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

国 / 地域のサポート

所在地 (国 / 地域)	所在地の設定リストから選択する国 / 地域
モロッコ	スペイン
スロベニア	ハンガリーまたはポーランド

LaserJet MFP は、スタンドアロンのアナログ ファックス マシンとして動作します。この章の内容は、以下の作業に役立ちます。

- 初期セットアップ
- ファックスの送信
- ファックスの設定
- 高度なファックス機能の実行
- ファックスに関するログやレポートの使用
- トラブルシューティング

注記

MFP では、HP MFP Digital Sending Software Configuration Utility (HP MFP デジタル情報送信ソフトウェア ユーティリティ) による LAN ファックス機能もサポートされています。このユーティリティは、オプションとして用意されているため、この章では取り上げません。LAN ファックス機能の詳細については、『*HP MFP Digital Sending Software User Guide*』または『*HP MFP Digital Sending Software Support Guide*』を参照してください。

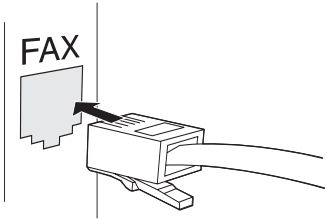
電話回線へのファックスの接続

ファックスを電話回線に接続するときは、ほかの装置に使用されていない専用の回線をファックス用の電話回線として使用してください。デジタル PBX システムに接続されているとファックスが正常に動作しないため、この回線はアナログ回線であることが必要です。使用している回線の種類が分からない場合は、電話会社にお問い合わせください。

注記 ファックスが正常に動作するように、付属の電話コードを使用してください。

ファックスをモジュラー ジャックに接続するには、以下の手順に従います。

1 ファックス キットに付属する電話コードを使用します。コードの端のプラグをファックスのモジュラー ジャックに差し込みます。ファックスのモジュラー ジャックは、MFP の背面部のフォーマッタ プレートにあり、隣にはその他のコネクタがあります。コードは、ファックスのモジュラー ジャックにしっかりと差し込んでください。



2 電話コードのもう一方のプラグを、壁面のモジュラー ジャックに完全に差し込みます。これで、接続は完了です。

注記 HP Color LaserJet 9500mfp のファックス機能は、コントロール パネル メニューに必要なメニュー項目が追加されるまで使用できません。詳細については、「必要なファックス設定 (63 ページ)」を参照してください。

ファックスの動作確認

MFP のファックスが機能していることを確認するには、MFP のコントロール パネルのディスプレイをチェックします。正常に機能している場合、ファックスに関するオプションが画面に表示されます。ただし、必要な設定が行われるまでは、オプションはグレー表示され、その上に「Not Configured (設定されていません)」と表示されます。アナログ ファックスを使用するには、「必要なファックス設定 (63 ページ)」を参照してください。

必要なファックス設定

ファックスを設置した後、使用する前に以下の設定が必要になります。

- 日付と時刻
- 所在地 (国 / 地域)
- ファックスのヘッダー (電話番号や会社名)

上記の情報はファックスのヘッダーで使用され、すべての送信ファックスに印字されます。

注記 米国やその他の多数の国 / 地域では、日付、時刻、所在地、電話番号、および会社名の設定は必要な要件として規定されています。

これらの設定内容は MFP からファックスに読み込まれるため、値はすでに設定されているかもしれません。表示される値を見て、情報が正しいことを確認してください。

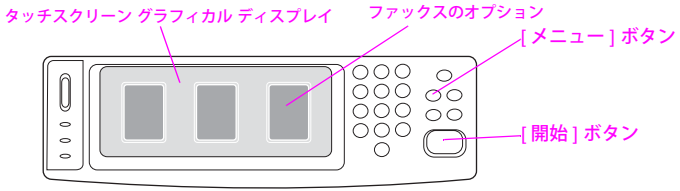
[Fax Settings (ファックスの設定)] メニューの使用

ファックスに必要な設定を行うには、**[Fax Settings (ファックスの設定)]** メニューを使用します。MFP のコントロール パネルの [メニュー] ボタンを押して、**[Fax Settings (ファックスの設定)]** メニューを開きます。

注記

HP MFP Digital Sending ソフトウェアがインストールされていて、LAN ファックス機能が有効になっている場合、ファックスの設定はメニューに表示されません。これは、アナログ ファックスを設定するときしか、この設定を使用しないためです。また、一度に有効にできるファックスの機能は 1 つであることに注意してください。コントロール パネル ディスプレイには、そのファックス操作に関する内容のみ表示されます。LAN ファックスが有効になっているときにアナログ ファックスを使用する場合は、HP MFP Digital Sending Software Configuration Utility を使用して LAN ファックスを無効にします。

下の図は、ファックスのオプションが表示された状態のコントロールパネルを示しています。



日付と時刻の設定または確認

ファックスの日付と時刻は、MFP の日付と時刻に合わせて設定されます。初めて MFP の電源を入れた場合は、この情報の入力を求めるメッセージが表示されます。

日付と時刻の設定を確認または変更するには

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. スクロールして [FAX (ファックス)] を押します。
3. スクロールして [FAX SETUP REQUIRED (必要なファックスの設定)] を押します。
4. スクロールして [DATE/TIME (日付 / 時刻)] を押します。
5. 日付と時刻の形式を選択し、日付と時刻を入力します。

所在地の設定または確認

所在地の設定によって、MFP が設置されている国 / 地域が識別されます。この設定では、その国 / 地域について、日付と時刻の形式と、応答するまでの最小 / 最大呼び出し回数を選択します。この設定は一部の国 / 地域では必要な要件として規定されているため、ファックスを動作させる前に設定する必要があります。初めて MFP の電源を入れたときに、この情報の入力を求めるメッセージが表示されます。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

所在地を確認または変更するには

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. スクロールして [FAX (ファックス)] を押します。
3. スクロールして [FAX SETUP REQUIRED (必要なファックスの設定)] を押します。
4. スクロールして [FAX HEADER (ファックス ヘッダー)] を押します。
5. スクロールして [LOCATION (所在地)] を押します。
6. 国 / 地域が表示されるまでリストをスクロールし、国 / 地域を押して選択します。

ファックスのヘッダーの設定または確認

ファックスのヘッダーの設定は、ファックスのヘッダーに印字される電話番号と会社名の設定に使用します。この情報の設定は必須です。

電話番号と会社名を確認または変更するには

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. スクロールして [FAX (ファックス)] を押します。
3. スクロールして [FAX SETUP REQUIRED (必要なファックスの設定)] を押します。
4. スクロールして [FAX HEADER (ファックス ヘッダー)] を押します。
5. スクロールして [PHONE NUMBER (電話番号)] を押します。

6 電話番号を入力し、[OK] を押します。

7 [COMPANY NAME (会社名)] を押します。

8 会社名を入力し、[OK] を押します。

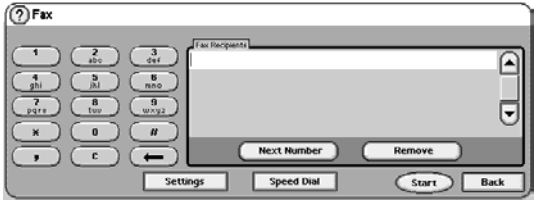
コントロール パネル ディスプレイにファックス オプションが表示され、その上に「Not Configured (設定されていません)」というメッセージが表示されていない場合は、設定が完了し、ファックス機能を使用できる状態になっています。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

[Fax (ファックス)] 画面

ファックスを送信するには、[Fax (ファックス)] 画面を使用します。MFP のコントロール パネルに表示される [Fax (ファックス)] オプションを押して、この画面を開きます。

注記 オプションである HP MFP Digital Sending Software Configuration Utility を使ってこの機能を設定している場合は、[Phone Book (電話帳)] オプションが表示されます。



ステータス メッセージ バー

MFP でファックスの送信や受信を行っているときは、[Ready (使用可能)]、[Receiving call (受信中)]、[Page sent (送信済み)] などのステータス情報がタッチスクリーン上部に表示されます。

ファックスの送信

相手先の番号を指定してファックスを送信するには、以下のような 3 種類の基本的な操作方法があります。

- 番号を手動で入力する
- 短縮ダイアルを使用して番号を指定する
- 電話帳を使用して番号を指定する (この方法は、HP MFP Digital Sending Software Configuration Utility がインストールされ、電話帳にデータが入力されている場合にのみ使用可能)

注記 ファックスの送信に関するオンライン ヘルプを参照するには、画面の [?] を押して **[Help (ヘルプ)]** メニューを開き、ヘルプ トピックの一覧の下にある [SEND A FAX (ファックスの送信)] を押します。

数値キーパッドを使用して電話番号を入力するときは、市外局番、PBX システムの外部に接続するための外線番号 (通常は 9 または 0)、長距離電話用の局番や、一時停止のキーなどを含めて入力します。コンマ (,) を入力すると、2 秒間の一時停止が設定されます。ファックスの接頭番号設定で、ダイアルするときの接頭番号を自動的に追加するように指定している場合は、一時停止を設定する必要はありません。

注記 通話中や、受信側のファックスが応答しないなどの理由でファックス送信が失敗すると、ファックス内容はメモリから削除されます。

手動で番号を入力してファックスを送信する

番号を入力してファックスを送信するには、以下の手順に従います。

1. ADF またはスキャナのガラス面に原稿を置きます。
2. コントロール パネルのディスプレイで、[FAX (ファックス)] オプションを押します。このとき、ユーザー名とパスワードの入力を求めるメッセージが表示されることがあります。
3. [SETTING (設定)] を押します。**[Describe Original (原稿)]** の設定が、送信する原稿に対して適切であることを確認します。有効な設定内容は、以下のとおりです。
 - ページ サイズ (レター、A4 など)
 - 片面印刷または両面印刷
 - ページ内容 (文字、文字とグラフィック、グラフィックと写真)
 - 印刷の向き (縦または横)

設定内容が適切でない場合は、以下の手順を行います。

a [DESCRIBE ORIGINAL (原稿)] を押して、[Original Setting (原稿の設定)] 画面を開きます。

b 送信する原稿について必要な変更を行います。

注記 ファックスのステータス (ファックスが送信されたかどうか、エラーが発生して送信できなかったかどうかなどのステータス) の通知方法を変更することもできます。変更するには、[FAX SETTINGS (ファックスの設定)] オプションを押して通知設定を表示し、適切な変更を行います。この変更は、現在送信しようとしているファックスについてのみ適用されます。

c すべての設定が完了したら、[OK] を押して [Fax (ファックス)] 画面に戻ります。

4 コントロール パネルのディスプレイに表示されるキーボードを使用して、電話番号を入力します。

注記 一時停止 (2 秒間) が必要な場合は、「9」または 「0」などの外線番号の後にコンマ (,) を入力します。外線に接続してから残りの番号がダイアルされるように設定できます。

5 追加の電話番号を指定するには、[NEXT NUMBER (次の番号)] を押します。

注記 番号をリストから削除するには、スクロールしてその番号をハイライトし、[REMOVE (削除)] を押します。

6 [START (開始)] を押してファックスを送信します (タッチスクリーンの [START (開始)] とコントロール パネルの [開始] ボタンのどちらでも使用できます)。

注記 ファックスの送信では、まずファックス内容がメモリにコピーされます。原稿全体がメモリに保存されると、ファックス送信が行われ、メモリから削除されます。

短縮ダイアルを使用してファックスを送信する

短縮ダイアルを使用してファックスを送信するには、以下の手順に従います。

注記 最初に、短縮ダイアルにデータを登録する必要があります。1 件の短縮ダイアルまたは短縮ダイアルグループを登録する方法については、「短縮ダイアルを登録するには (75 ページ)」を参照してください。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

1 「手動で番号を入力してファックスを送信する (70 ページ)」に記載されている手順 1 ～ 3 を行います。
2 スクロールして [SPEED DIAL (短縮ダイアル)] を押します。
3 ファックスの送信先に対して、短縮ダイアル名の前にあるチェック ボックスを押します。
4 [OK] を押します。短縮ダイアル名が、[Fax Recipient (ファックスの送信先)] 画面に表示されます。
5 [START (開始)] を押してファックスを送信します (タッチスクリーンの [START (開始)] とコントロール パネルの [開始] ボタンのどちらでも使用できます)。

電話帳の番号を使用してファックスを送信する

ファックスの電話帳機能は、HP MFP Digital Sending Configuration Utility を使用するように MFP を設定している場合にのみ、使用できます。

このユーティリティ ソフトウェアを使用するように MFP を設定していない場合は、**[Phone Book (電話帳)]** ボタンは表示されません。HP MFP Digital Sending Configuration Utility を使用するように MFP を設定する方法については、『*HP MFP Digital Sending Software User Guide*』または『*HP MFP Digital Sending Software Support Guide*』を参照してください。

また、HP MFP Digital Sending Configuration Utility でユーザー認証が有効になっているときは、Microsoft Exchange の連絡先一覧のファックス番号が電話帳に表示されます。

注記 ファックス番号の追加や削除は、プリンタ本体の電話帳から行うことはできません。これらの操作は、Digital Sending サーバ の ABM (Address Book Manager) を使用するか、連絡先一覧を変更して行います。

LaserJet MFP に HP MFP Digital Sending Configuration Utility がインストールされている場合は、以下の手順に従って、電話帳を使用してファックスを送信することができます。

1. 「手動で番号を入力してファックスを送信する (70 ページ)」に記載されている手順 1 ～ 3 を行います。
2. スクロールして [PHONE BOOK (電話帳)] を押します。
3. スクロールしてリストの名前 (または番号) をハイライトし、[ADD (追加)] を押して名前 (または番号) をウィンドウに追加します。名前 (または番号) は、必要な数だけ追加できます。
4. [DETAILS (詳細)] を押して、電話帳から選択したエントリのファックス番号またはファックス番号リストを表示します。[PERSONAL (個人)] オプションでは、電話帳に登録されているユーザーの連絡先リストのエントリだけが表示されます。[ALL (すべて)] オプションでは、一般用のファックス エントリと、連絡先リストの個人用エントリとを合わせたリストが表示されます。
5. [OK] を押して、[Fax (ファックス)] 画面に戻ります。ファックス送信先である名前のリストが、[Recipients (送信先)] ウィンドウに表示されます。
6. [START (開始)] を押してファックスを送信します (タッチスクリーンの [START (開始)] とコントロール パネルの [開始] ボタンのどちらでも使用できます)。

ファックス送信をキャンセルする

現在のファックス送信をキャンセルする

[Cancel Current Transmission (現在の送信のキャンセル)] メニューは、送信ファックスの呼び出しが進行中の場合にのみ表示されます。

注記 キャンセル処理は、完了するまでに最大で 30 秒かかります。

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [FAX (ファックス)] を押します。
3. スクロールして [CANCEL CURRENT TRANSMISSION (現在の送信のキャンセル)] を押します。

注記 ファックス内容の削除処理中は、[Canceling fax (ファックスをキャンセルしています)] というメッセージがステータス バーに表示されます。

保留中のファックスをすべてキャンセルする

この機能を使用すると、メモリに保存されている送信ファックスがすべて削除されます。ただし、送信処理中のファックスは削除されません。

注記 メモリ内で待機中の送信ファックスが削除されます。

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [FAX (ファックス)] を押します。
3. スクロールして [CANCEL ALL PENDING TRANSMISSIONS (保留中のすべての送信をキャンセル)] を押します。

短縮ダイアル

短縮ダイアル機能を使用して、1 つの番号またはグループ番号に短縮ダイヤル名を割り当てることができます。名前を割り当てておくと、その短縮ダイヤル名を使って、該当する番号宛にファックスを送信できます。

短縮ダイアルを登録するには

1. [FAX (ファックス)] オプションを押します。
2. [SPEED DIAL (短縮ダイアル)] を押します。

3 **[Edit (編集)]** タブを押します。

4 [NEW SPEED DIAL (新規短縮ダイアル)] オプションを押します。

5 コントロール パネルのキーボードを使用して番号を入力します。複数の番号を指定する場合は、[NEXT NUMBER (次の番号)] を押し、別の番号を指定します。この手順を繰り返して、この短縮ダイアルに割り当てるすべての番号を指定します。

6 [NAME (名前)] を押します。

7 コントロール パネルのキーボードを使用して、短縮ダイアルの名前を入力します。

8 [OK] を押します。

注記 短縮ダイヤル グループを登録した後で、番号の追加や削除を行うことはできません。

短縮ダイアルを削除するには

1 [FAX (ファックス)] オプションを押します。

2 [SPEED DIAL (短縮ダイアル)] を押します。

3 **[Edit (編集)]** タブを押します。

4 [DELETE SPEED DIAL (短縮ダイアルの削除)] オプションを押します。

5 削除する短縮ダイアルの前にあるチェック ボックスを押します。短縮ダイアル名を探すためにスクロール操作が必要になることがあります。複数の短縮ダイアル名を指定して、一度に削除することができます。

6 [DELETE (削除)] を押します。

7 [YES (はい)] を押します。

8 [OK] を押します。

鮮明度の設定を変更する

MFP で原稿をスキャンするときのスキャナの解像度を指定するには、鮮明度の設定を使用します。この機能により、原稿上の文字やグラフィックが薄い場合や線が細い場合でも、くっきりと鮮明に再生されます。

注記 鮮明度を高くすると、解像度が高くなり、送信時間も長くなります。

鮮明度の設定を変更するには

1 [FAX (ファックス)] オプションを押します。
2 [SETTING (設定)] を押します。
3 [FAX SETTINGS (ファックスの設定)] オプションを押します。
4 **[Enhance (調整)]** タブで、イメージの鮮明度を低くするには左矢印を押します。鮮明度を高くするには右矢印を押します。
5 [OK] を押します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

背景除去の設定を変更する

カラー用紙に印刷された原稿をファックスする場合、ファックスに縞やにじみが発生する原因となる背景を除去することによって、ファックス品質を向上させることができます。

背景除去の設定を変更するには

1. [FAX (ファックス)] オプションを押します。
2. [SETTING (設定)] を押します。
3. [FAX SETTINGS (ファックスの設定)] オプションを押します。
4. **[Enhance (調整)]** タブで、背景除去の度合いを下げるには左矢印を押します。背景除去の度合いを上げるには右矢印を押します。
5. [OK] を押します。

濃淡の設定を変更する

濃淡の設定では、送信されるイメージが受信側のファックス機で印刷される濃さを調整します。

濃淡の設定を変更するには

1. [FAX (ファックス)] オプションを押します。
2. [SETTING (設定)] を押します。
3. イメージ印刷を薄くするには、[Light (**薄い**)] 矢印を押します。濃くするには、[Dark (**濃い**)] 矢印を押します。
4. [OK] を押します。

ファックスの受信

MFP では、ファックスの受信時、メモリに保存して印刷が行われます。ファックス内容はメモリに保存された後に印刷され、メモリから削除されます。ただし、ファックスのスケジュール印刷を設定しておくと (オンになっていると)、受信ファックスがメモリに保存されても、印刷は行われません。ファックスのスケジュール印刷を設定しているときに、この設定をオフにすると、保存されているすべてのファックス内容が印刷されます。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

ファックス受信のデフォルト設定を変更して、受信方法を変更することができます。

- 応答するまでの呼び出し回数を指定する
- 日付、時刻、ページ番号 (スタンプ) をファックスに印刷する
- 給紙トレイと排紙ビンを選択する
- ファックスを別の番号に転送する
- 特定の番号からのファックスをブロックする
- ファックスのスケジュール印刷

注記 受信ファックスをキャンセルすることはできません。

オプションのファックス設定

ファックスを動作させるために必要なファックス設定以外の内容を設定するには、以下の手順に従います。

注記 機能や設定内容によって、使用や設定のできないオプションがあります。

以下のファックス設定については、このマニュアルでは取り上げません。CD-ROM に収録されている『ユーザーズリファレンスガイド』を参照してください。

- エラー修正モード
- JBIG 圧縮モード
- オーバーレイ ヘッダー
- ダイアル モード
- リダイアル間隔
- ダイアルトーン検出
- 受信したファックスへのスタンプ
- ページに合わせた調節

モデム音量の設定

モデムの音量を設定するには、以下の手順に従います。

モデム音量を設定するには

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [FAX (ファックス)] を押します。
3. スクロールして [FAX SETUP OPTIONAL (オプションのファックス設定)] を押します。
4. スクロールして [MODEM VOLUME (モデムの音量)] を押します。
5. スクロールして [OFF (オフ)]、[MEDIUM (標準)]、または [LOUD (大)] を押します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

呼び出し音の音量設定

ファックスの呼び出し音 (ローカルの場合) の音量を設定するには、以下の手順に従います。

呼び出し音の音量を設定するには

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [FAX (ファックス)] を押します。
3. スクロールして [FAX SETUP OPTIONAL (オプションのファックス設定)] を押します。
4. スクロールして [RINGER VOLUME (呼び出し音の音量)] を押します。
5. スクロールして [OFF (オフ)]、[MEDIUM (標準)]、または [LOUD (大)] を押します。

送信ファックスの解像度の設定

この設定では、送信するファックスの解像度を指定します。送信側ファックスは、受信側ファックスがサポートする最大解像度を調べ、この設定と受信側ファックスの解像度に関する情報との組み合わせによって定義された解像度を使用します。

注記 送信する用紙の幅が 21.6cm (8.5 インチ) を超える場合は、送信時間を短縮するために高画質または標準画質の解像度が自動的に選択されます。

送信ファックスの解像度を設定するには

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [FAX (ファックス)] を押します。
3. スクロールして [FAX SEND (ファックスの送信)] を押します。
4. スクロールして [DEFAULT RESOLUTION (デフォルト解像度)] を押します。
5. [STANDARD (標準)] (200 x 100 dpi)、[FINE (高画質)] (200 x 200 dpi、デフォルト)、または [SUPERFINE (最高画質)] (300 x 300 dpi) を押して解像度を選択します。

注記 解像度を高くすると、送信時間が長くなります。

ダイアル オプションと検出オプションの設定

ダイアルするときの接頭番号、リダイアル オプション、またはトーン検出を設定するには、以下の手順に従います。

ダイアルするときの接頭番号の設定

ダイアルするときに自動的に付加される接頭番号 (外線に接続するための「9」など) を指定するには、ダイアルするときの接頭番号の設定を使用します。

ダイアルするときの接頭番号を設定するには

注記 接頭番号と電話番号の間に、一時停止が必要な場合があります。2 秒間の一時停止を挿入するには、コンマ (,) を入力します。

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [FAX (ファックス)] を押します。
3. スクロールして [FAX SEND (ファックスの送信)] を押します。
4. スクロールして [DIAL PREFIX (ダイアル局番)] を押します。

5 [OFF (オフ)] を押して接頭番号を無効にするか、[CUSTOM (カスタム)] を押してコントロール パネルのディスプレイのキーボードから接頭番号を入力します。

6 接頭番号を入力したら、[OK] を押します。

送信先通話中のリダイアル機能の設定

リダイアル設定では、送信先が通話中だったときに番号のリダイアルを行う回数 (0 ～ 9 回) を指定します。リダイアルの間隔は、リダイアル間隔の設定で指定します。

送信先通話中のリダイアル機能を設定するには

1 [メニュー] ボタンを押します。

2 [FAX (ファックス)] を押します。

3 スクロールして [FAX SEND (ファックスの送信)] を押します。

4 スクロールして [REDIAL ON BUSY (通話中の場合のリダイアル)] を押します。

5 スクロールして、リダイアルを行う回数 (デフォルトは 3) を押し、[OK] を押します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

給紙トレイの設定

給紙トレイの設定では、ファックスを印刷する用紙の給紙元となる MFP のトレイを選択します。

給紙トレイを選択するには

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [FAX (ファックス)] を押します。
3. スクロールして [FAX RECEIVE (ファックスの受信)] を押します。
4. スクロールして [FAX PAPER TRAY (ファックス用給紙トレイ)] を押します。
5. スクロールして、トレイの番号 (デフォルトは 1) を押し、[OK] を押します。

排紙ビンの設定

排紙ビンの設定では、印刷されたファックスを受ける MFP の排紙ビンを指定します。

排紙ビンを設定するには

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [FAX (ファックス)] を押します。
3. スクロールして [FAX RECEIVE (ファックスの受信)] を押します。
4. スクロールして [FAX DESTINATION BIN (ファックス用排紙ビン)] を押します。
5. スクロールして、ビンの番号 (デフォルトは 1) を押し、[OK] を押します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

ファックスのトラブルシューティング

ファックスに問題が発生したときに原因を特定するには、以下のチェックリストを使用してください。

- **MFP に付属する電話コードを使用しているか**
 ファックス機能は、RJ11 規格に準拠し、付属の電話コードを使用してテストされています。別の電話コードを代用しないようにしてください。アナログ ファックスを使用するには、アナログの電話コードを使って、アナログ電話回線に接続します。
- **ファックス / 電話の回線コネクタが、ファックスのソケットに差し込まれているか**
 モジュラー ジャックがソケットに正しく差し込まれていることを確認します。コネクタは、ソケットにしっかりと挿入してください。
- **壁面のモジュラー ジャックが機能しているか**
 壁面のモジュラー ジャックに電話を接続し、ダイアル トーンが聞こえるかどうかを確認します。ダイアル トーンが聞こえ、電話をかけることができれば正常です。

使用している電話回線の種類

- **専用回線：**ファックスの送受信に使用する一般的なファックス / 電話回線です。
- **PBX システム：**ビジネス環境で使用される電話システムです。一般家庭の電話やファックスでは、アナログの電話信号が使用されています。PBX システムには、デジタル信号が使用されているものがあるため、この製品を使用できない場合があります。ファックスを送受信できるようにするには、アナログの電話回線に接続されている必要があります。

- **ロールオーバー回線：**電話システム機能の 1 つで、1 番目の回線が通話中のときにかかってきた電話を、次の空き回線に「切り換える」ことができます。ファックスを 1 番目の電話回線に接続してください。指定された呼び出し回数の後、ファックスが電話に応答します。

注記 ロールオーバー回線は、ファックス受信に関する問題の原因となることがあります。HP では、ロールオーバー回線を使用しないことをお勧めします。

電話回線の分配器

並列または「T 型」の電話回線の分配器は、電話信号の品質を低下させることがあるため、使用しないようにしてください。

サージ保護装置

電話回線を通じて入り込む電力からファックスを保護するため、壁面のモジュラー ジャックとファックスの間にサージ保護装置を使用していることがあります。このような装置は、電話信号の品質を低下させ、ファックス通信の問題の原因となることがあります。サージ保護装置を使用しているときにファックスの送受信に関して問題が発生する場合は、ファックスを壁面のモジュラー ジャックに直接接続して、サージ保護装置に問題がないかどうかを調べてください。

電話会社の自動応答サービスまたは留守番電話機

応答するまでの呼び出し回数について、ファックスよりも自動応答サービスの方が少ない値に設定されている場合、自動応答サービスが呼び出しに応答するため、ファックスを受信できません。自動応答サービスよりもファックスの方が少ない回数に設定されている場合は、ファックスがすべての呼び出しに応答するため、呼び出しは自動応答サービスに転送されません。

ファックスのステータスの確認

アナログ ファックスが機能していないと思われる場合は、ファックス アクセサリ ページを印刷してステータスを確認します。このページを印刷するには、以下の手順に従います。

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. スクロールして [INFORMATION PAGE (情報ページ)] を押します。
3. スクロールして [PRINT CONFIGURATION (設定ページを印刷しますか？)] を押します。
4. [Fax Accessory Page (ファックス アクセサリ ページ)] の [Hardware Information (ハードウェア情報)] で、[Modem Status (モデムのステータス)] をチェックします。

次の表に、ステータスと有効な解決法を一覧します。

OPERATIONAL / ENABLED (動作中 / 使用可能)[1] –	アナログ ファックスが設置されており、使用可能な状態になっています。
OPERATIONAL / DISABLED (動作中 / 使用不可)[1] –	ファックスが設置されており、動作中です。ただし、HP Digital Sending ユーティリティで MFP のファックス機能が無効になっているか、LAN ファックスが有効になっています。LAN ファックスが有効になっているときは、アナログ ファックス機能は無効になります。一度に有効にできるファックス機能は 1 つだけです (LAN ファックスまたはアナログ ファックス)。
NON-OPERATIONAL / ENABLED/DISABLED (停止中 / 使用可能 / 使用不可)[1] –	ファームウェアの障害が検出されました。ファームウェアをアップロードする必要があります。
DAMAGED / ENABLED/DISABLED (破損 / 使用可能 / 使用不可)[1] –	ファックスに障害が発生しています。ファックスの設置をもう一度行って、ピンが曲がっていないかどうかを確認してください。再度設置してもステータスが [Damage (破損)] になる場合は、アナログ ファックス カードを交換します。

1 – [ENABLED (使用可能)] は、アナログ ファックスが有効 (オン) になっていることを示しています。[DISABLED (使用不可)] は、LAN ファックスがオンになっており、アナログ ファックスがオフになっていることを示しています。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

ファックス機能が動作しない場合

次の表を使用して、ファックスのエラーを特定し、解決します。

問題	原因	解決方法
ファックスは取り付けられているが、MFP のコントロール パネルのディスプレイにオプションが表示されない。	HP Digital Sending ソフトウェア ユーティリティでアナログ ファックス機能が無効になっています。	HP Digital Sending ソフトウェア ユーティリティを使用して、アナログ ファックス機能を有効にします。
	ファックスが正常に動作していません。	ファックスのステータスを確認します。詳細については、「ファックスのステータスの確認 (90 ページ)」を参照してください。ステータスが [NON-OPERATIONAL (停止中)] である場合は、新しいファームウェアのインストールが必要になることがあります。 カードを装着したばかりでステータスが [DAMAGED (破損)] になっている場合は、カードの装着をやり直してピンが曲がっていないかどうかを確認します。 カードは正しく取り付けられているのにステータスが [DAMAGED (破損)] になっている場合は、カードの交換が必要になることがあります。
	フォーマッタ ボードが故障しています。	HP サービス会社に連絡して修理します。

問題	原因	解決方法
MFP のコントロール パネルのディスプレイに、ファックス メニューが表示されない。	LAN ファックスが有効になっています。	これは正常な動作です。HP Digital Sending ソフトウェアで LAN ファックスを有効にすると、アナログ ファックスは無効になります。このとき、アナログ ファックス用のメニューは表示されません。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

ファックスに関する一般的な問題

次の表を使用して、ファックスの問題を解決します。

問題	原因	推奨される対処方法
ファックスが送信されない。	JBIG モードが有効になっていますが、受信側のファックス機に JBIG 機能がありません。	JBIG をオフにします。詳細については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』の第 4 章を参照してください。
ステータス メッセージ バーに [OUT OF MEMORY (メモリ不足です)] というメッセージが表示される。	MFP の保存ディスクがいっぱいになっています。	ディスクから、いくつかのファイルを削除します。

問題	原因	推奨される対処方法
写真の印刷品質がよくない、または灰色の四角形として印刷される。	**[Page Content (ページ内容)]** モードの設定が正しくありません。	**[Page Content (ページ内容)]** モードを **[Graphics (グラフィック)]** または **[Text and Graphics (文字とグラフィック)]** に設定してみてください。詳細については、「手動で番号を入力してファックスを送信する (70 ページ)」を参照してください。
MFP のキーボードで **[Cancel (キャンセル)]** ボタンを押してファックスの送信をキャンセルしても、ファックスが送信される。	キーボードの **[Cancel (キャンセル)]** ボタンを押しても、ファックスの送信はキャンセルされません。	ファックス送信をキャンセルするには、**[Fax (ファックス)]** メニューを使用します。詳細については、「ファックス送信をキャンセルする (74 ページ)」を参照してください。
電話帳機能が表示されない。	電話帳機能が有効になっていません。	HP MFP Digital Sending Software Configuration Utility を使用して、電話帳機能を有効にします。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

問題	原因	推奨される対処方法
HP Web Jetadmin で、ファックスの設定が見当たらない。	HP Web Jetadmin のファックス設定は、**[Digital Send Settings (デジタル情報送信設定)]** メニューにあります。	**[Digital Send Settings (デジタル情報送信設定)]** メニューをクリックし、**[Send to Fax (ファックスに送信)]** をクリックします。
オーバーレイが有効になっていると、ページの最上部にヘッダーが追加される。	ファックスが転送された場合、オーバーレイが設定されているとページの最上部にオーバーレイ ヘッダーが追加されます。	必要な作業はありません。
名前と番号の組み合わせが、受信者ボックス表示される。	名前と番号の指定方法によっては、それらが両方とも表示されるのは正常です。電話帳を使用すると名前が一覧されます。その他のデータベースを使用すると番号が一覧されます。	必要な作業はありません。

問題	原因	推奨される対処方法
ファックスのスケジュール印刷がオンになっていても、必要でないときにファックス呼出し一覧表が印刷される。	ファックスのスケジュール印刷では、ファックス呼出し一覧表の印刷を管理しません。ファックス呼出し一覧表の設定を変更する必要があります。	ファックス呼出し一覧表の印刷をいつ行うかを指定します。
1 ページのファックスが、2 ページにわたって印刷される。	ファックスの最上部にファックス ヘッダーが追加され、テキストが 2 枚目のページに送られています。	1 ページのファックスが 1 ページに印刷されるようにするには、オーバーレイ ヘッダーを オーバレイ モードに設定します。詳細については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』の第 4 章を参照してください。
ファックス送信の途中で用紙送りが停止する。	ADF で紙詰まりが発生している可能性があります。	詳細については、「自動文書フィーダ (ADF) カバー内部での紙詰まり (253 ページ)」を参照してください。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

問題	原因	推奨される対処方法
ファックスの音量が大きすぎる、または小さすぎる。	音量の設定を調整する必要があります。	音量設定を変更する方法の詳細については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』の第 4 章を参照してください。

ファックスの受信に関する問題

次の表を使用して、ファックスを受信するときに発生した問題を解決します。

問題	原因	解決方法
受信ファックスの呼び出しに、ファックスが応答しない (**ファックスが検出されない**)。	応答するまでの呼び出し回数が正しく設定されていません。	応答するまでの呼び出し回数の設定を確認します。詳細については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』の第 4 章を参照してください。

問題	原因	解決方法
受信ファックスの呼び出しに、ファックスが応答しない (ファックスが検出されない) (つづき)。	電話コードが正しく接続されていないか、電話コードが破損または断線している可能性があります。	接続を確認する方法については、「電話回線へのファックスの接続 (61 ページ)」を参照してください。ファックスに付属する電話コードを使用していることを確認してください。
	電話回線が機能していない可能性があります。	壁面のモジュラー ジャックからファックスへの接続を外し、電話につなぎます。電話をかけてみて、電話回線が機能していることを確認します。
	自動応答サービスが原因で、ファックスが呼び出しに応答できなくなっている可能性があります。	以下のいずれかの作業を行います。 自動応答サービスを停止する。 ファックス専用の電話回線を用意する。 応答するまでの呼び出し回数が、自動応答サービスよりもファックスの方が少なくなるように設定する (詳細については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』の第 4 章を参照してください)。

問題	原因	解決方法
ファックスの送受信の速度が非常に遅い。	グラフィックが多用されているような、非常に複雑な内容のファックスを送受信している可能性があります。	複雑な内容のファックスは、送受信にかかる時間が長くなります。
	受信側のファックス機のモデムの速度が低速である可能性があります。	ファックスは、受信側のファックス機のモデムの最大速度でしか送信されません。
	送信または受信するファックスの解像度が非常に高く設定されています。一般的に、解像度が高いと品質は向上しますが、送信に必要な時間が長くなります。	ファックスを受信している場合は、送信者に連絡して、解像度を下げてファックスを再送信するように伝えます。 ファックスを送信している場合は、解像度を下げ (「送信ファックスの解像度の設定 (82 ページ)」を参照)、**[Page Content (ページ内容)]** モードの設定を変更します (「手動で番号を入力してファックスを送信する (70 ページ)」を参照)。

問題	原因	解決方法
	電話回線の接続の品質が低い場合、エラーに対応するためにファックス間の送信速度が低下します。	ファックスをキャンセルし、再送信します。電話会社に連絡して、電話回線をチェックしてもらいます。
ファックスが MFP **で印刷されない。**	ファックスの給紙元として指定されている給紙トレイに用紙がありません。	用紙をセットします。給紙トレイが空のときに受信したファックスは保存されています。トレイに用紙をセットすると、印刷されます。
	ファックスのスケジュール印刷が設定されています。	ファックスのスケジュール印刷がオンになっている場合は、ロックが解除されるまでファックスは印刷されません。
	MFP のトナーが切れています。	MFP は、トナー切れになった時点で印刷を停止します。受信したファックスはメモリに保存され、トナーを交換したときに印刷されます。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

ファックスの送信に関する問題

次の表を使用して、ファックスを送信するときに発生した問題を解決します。

問題	原因	解決方法
送信中にファックスが停止する。	送信先のファックス機が正常に動作していない可能性があります。	別のファックス機に送信してみてください。
	電話回線が機能していない可能性があります。	壁面のモジュラー ジャックからファックスへの接続を外し、電話につなぎます。電話をかけてみて、電話回線が機能していることを確認します。

問題	原因	解決方法
ファックスの受信は可能だが、送信することができない。	ファックスが PBX システムに接続されている場合は、PBX システムが発するダイアル トーンがファックス側で検出できない可能性があります。	ダイアル トーンの検出の設定を無効にします (「給紙トレイの設定 (86 ページ)」を参照)。
	電話の接続状況の品質が低い可能性があります。	後でもう一度送信します。
	送信先のファックス機が正常に動作していない可能性があります。	別のファックス機に送信してみてください。
	電話回線が機能していない可能性があります。	壁面のモジュラー ジャックからファックスへの接続を外し、電話につなぎます。電話をかけてみて、電話回線が機能していることを確認します。

問題	原因	解決方法
ファックスを送信するときに、何度もダイアルされる。	[Redial On Busy (通話中の場合のリダイアル)] オプションまたは [Redial On No Answer (応答がない場合のリダイアル)] がオンになっていると、ファックス番号が自動的にリダイアルされます。	これは正常な動作です。ファックスの送信が再試行されないようにする場合は、[Redial On Busy (通話中の場合のリダイアル)] を 0 (ゼロ) に設定し (「送信先通話中のリダイアル機能を設定するには (85 ページ)」を参照)、[Redial On No Answer (応答がない場合のリダイアル)] を 0 (ゼロ) に設定します (詳細については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』の第 4 章を参照してください)。

問題	原因	解決方法
送信したファックスが、受信側のファックス機に届かない。	受信側のファックス機の電源が入っていないか、用紙切れなどのエラー状態になっている可能性があります。	受信者に連絡して、ファックス機の電源が入っていることと、ファックスを受信できる状態になっていることを確認するように伝えます。
	通話中の番号へのリダイアルを待機しているため、ファックスがメモリに保存されているか、その前の別のファックスが、送信されるのを待機している可能性があります。	これらのいずれかの理由により、ファックスジョブがメモリに存在する場合は、そのジョブのエントリがファックス ログに示されます。ファックス使用状況ログを印刷し、[Pending (**保留**)] ジョブの [Result (**結果**)] を確認します。

エラー コード

次の表には、ファックスの使用状況ログに示されるエラー コードを一覧します。

値	説明
0-15	**接続エラー**
0 1 2 3 4 5	接続は正常に終了 正常にハンドシェイクされない着信を検出 +FKS または <CAN> から呼び出しが中止 現行のループなし リングバックが検出されたが、応答なし (タイムアウト) リングバックが検出されたが、応答時に CED なし (タイムアウト)
16-31	**呼び出しの確立エラー**
16 17	不特定のフェーズ A エラー 応答なし (T3.0 T1 タイムアウト)

値	説明
32-63	**転送時のネゴシエーション エラー**
32	不特定の転送フェーズ B エラー
33	リモートが受信または送信できない
34	転送 フェーズ B の COMREC エラー
35	無効な COMREC コマンドを受信
36	RSPREC エラー
37	DCS を 3 回送信したが、応答なし
38	DIS/DTC を 3 回受信したが、DCS が認識されない
39	2400 ビット / 秒または +FMS 値での転送に失敗
40	無効な RSPREC 応答を受信
64-79	**データ転送エラー**
64	不特定の転送フェーズ C エラー
65	不特定のイメージ形式エラー
66	イメージ変換エラー
67	DTE から DCE へのデータのアンダーフロー
68	認識されない透過的なデータ コマンド
69	イメージ エラー (行の長さが不適正)
70	イメージ エラー (ページの長さが不適正)
71	イメージ エラー (圧縮コードが不適正)

値	説明
80-111	**転送終了時のエラー**
80 81 82 83 84 85 86 87 88	不特定の転送フェーズ D エラー RSPREC エラー MPS への無応答が 3 回繰り返された MPS への無効な応答 EOP への無応答が 3 回繰り返された EOP への無効な応答 EOM への無応答が 3 回繰り返された EOM への無効な応答 PIN または PIP の後で継続して処理できない
112-143	**受信時のネゴシエーション エラー**
112 113 114 115 116	不特定の受信フェーズ B エラー RSPREC エラー COMREC エラー T.30 T2 タイムアウト (予期したページが受信されない) EOM を受信した後の T.30 T1 タイムアウト

値	説明
144-159	**受信データ エラー**
144 145 146 147	不特定の受信フェーズ C エラー 5 秒後に EOL が見つからない (3.2/T.4) CRC または フレームが不適正 (ECM モード) DCE から DTE へのバッファ オーバーフロー
160-191	**受信終了時のエラー**
160 161 162 163	不特定の受信フェーズ D エラー 無効な RSPREC 応答を受信 無効な COMREC 応答を受信 PIN または PIP の後で継続して処理できない
192-223	**(未定義)**
224-255	**(未定義)**

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

ファックスの製品仕様

環境仕様	
動作環境	温度：10 ～ 32.5°C (50 ～ 91°F) 相対湿度：20 ～ 80% (結露なし)
保管環境	温度：-20 ～ 40°C (-4 ～ 104°F) 相対湿度：95% 未満 (結露なし)
ファックスの仕様	
ファックスの互換性	CCIT/ITU-T Group 3、EIA/TIA Class 1、Class 2.1
電話コネクタ	RJ11
圧縮方法	MH、MR、MMR、および JBIG

サポートされている転送の速度および規格	V.17 – 14,400bps、12,000bps、9,600bps、7,200bps V.33 – 14,400bps、12,000bps V.29 – 9,600bps、7,200bps V.27ter – 4,800bps、2,400bps V.34 – 16,800bps、19,200bps、21,600bps、24,000bps、26,400bps、28,800bps、31,200bps、33,600bps
モデム速度	最大 33.6K ビット / 秒 (bps)
短縮ダイアル	あり
ファックス解像度 (送信および受信)	標準：200 x 100 ドット / インチ (dpi) きれい：200 x 200dpi 高画質：300 x 300dpi 最高画質：200 x 400dpi (受信のみ) 最高画質：400 x 400dpi (受信のみ)



http://www.hp.com/go/clj9500mfp

印刷

5

トレイ 1 のユーザー設定

この章では、MFP のコントロール パネルを使って実行する印刷タスクについて説明します。プリンタ ドライバや印刷システム ソフトウェアの詳細については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』を参照してください。

必要に応じて印刷を実行できるように、以下のいずれかの方法でトレイ 1 を設定します。

- **常にトレイ 1 から印刷する。**[TRAY 1 SIZE=ANY SIZE (トレイ 1 サイズ = 任意のサイズ)] と [TRAY 1 TYPE=ANY TYPE (トレイ 1 タイプ = 任意のタイプ)] (以前の **第 1** モード) に設定すると、アプリケーション プログラムで設定している用紙のサイズやタイプにかかわらず、トレイ 1 から印刷が行われます。トレイ 1 の用紙サイズを特定のサイズに設定すると、印刷速度が低くなることがあります。
- **指定されたときだけ、トレイ 1 から印刷する。**[TRAY 1 SIZE= (トレイ 1 サイズ =)] を [ANY SIZE (任意のサイズ)] 以外のサイズに設定するか、[TRAY 1 TYPE= (トレイ 1 タイプ)] を [ANY TYPE (任意のタイプ)] 以外のタイプ (以前の **カセット** モード) に設定すると、アプリケーション プログラムでトレイ 1 に設定している用紙のサイズやタイプを指定したときにのみ、トレイ 1 から印刷されます。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

セットしている用紙が指定されたときにトレイ 1 から印刷する

[TRAY 1 SIZE= (トレイ 1 サイズ =)] を [ANY SIZE (任意のサイズ)] 以外のサイズに設定し、[TRAY 1 TYPE= (トレイ 1 タイプ)] を [ANY TYPE (任意のタイプ)] 以外のタイプに設定すると、トレイ 1 はトレイ 2、トレイ 3、2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) と同じように扱われます。プリンタは、最初にトレイ 1 にセットされている用紙を確認するのではなく、アプリケーション プログラムで指定したタイプやサイズに一致する用紙がセットされているトレイから給紙します。プリンタ ドライバを使って、トレイのタイプとサイズを設定します。

[TRAY 1 SIZE= (トレイ 1 サイズ =)] を [Any Size (任意のサイズ)] に設定し、[TRAY 1 TYPE= (トレイ 1 タイプ)] を [ANY TYPE (任意のタイプ)] 以外のタイプに設定すると、[PAPER HANDLING (用紙処理)] メニューにオプションが表示されます。このオプションを使って、トレイ 1 のサイズとタイプを設定できます。

トレイ 1 から手差しで印刷する

手差し機能を使用すると、トレイ 1 から封筒やレターヘッドなどの特殊な用紙に印刷できます。[CONFIGURE DEVICE (デバイスの設定)]、[SYSTEM SETUP (システム セットアップ)]、[MANUAL FEED (手差し)] を選択し、[YES (はい)] に設定すると、トレイ 1 から印刷されるようになります。

トレイ 1 に用紙がセットされている場合、**[Paper Handling (用紙処理)]** メニューの [TRAY 1 MODE (トレイ 1 モード)] で [TRAY 1 SIZE=ANY SIZE (トレイ 1 サイズ = 任意のサイズ)] と [TRAY 1 TYPE=ANY TYPE (トレイ 1 タイプ = 任意のタイプ)] に設定します。

ジョブ保存機能の使用

MFP には、ハードディスクにジョブを保存する機能があります。この機能を利用して、後から印刷できます。ジョブ保存機能を使用するには、MFP にハードディスクをインストールし、プリンタ ドライバを正しく設定することが必要です。

注記 プリンタ ドライバで、印刷を実行する前にジョブに対して固有の ID を付加するように設定します。デフォルトの名前を使用すると、同じデフォルト名を持つ以前のジョブが上書きされ、ジョブが削除されてしまう可能性があります。

注記 MFP の電源を切ると、クイックコピー ジョブ、試し刷り後に保留ジョブ、プライベート ジョブはすべて削除されます。

ジョブ保存機能を利用するには

Windows の場合 (すべてのバージョン)

1. プリンタ ドライバを開きます。
2. **[Job Storage (ジョブ保存)]** タブをクリックします。
3. 必要に応じてジョブ保存設定を変更し、**[OK]** をクリックします。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

Macintosh の場合 (OS 9 ドライバ)

OS 9 プリンタ ドライバでは、印刷用ダイアログ ボックスのプルダウン メニューから **[Job Retention (ジョブ保留)]** を選択します。OS 8.6 プリンタ ドライバでは、**[Printer Specific Options(プリンタ固有オプション)]** を選択します。

最近の Mac OS バージョンでのジョブ保存機能の最新情報については、www.hp.com/clj9500mfp をご覧ください。

プライベート ジョブ

プライベート印刷機能では、MFP のコントロール パネルからユーザーが 4 桁の個人識別番号 (PIN) を入力してジョブを解除するまで、ジョブを印刷しないように指定できます。プリンタ ドライバから PIN を指定すると、PIN はプリント ジョブの一部としてプリンタに送信されます。ジョブ名の隣に表示される記号 🔒 は、プライベート ジョブであることを示します。プライベート ジョブは、印刷後に削除されます。

注記 MFP でこの機能を使用するには、ハードディスクが必要です。

保存ジョブ作成の方法については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』を参照してください。

プライベート ジョブを印刷するには

プライベート ジョブの印刷には、MFP コントロール パネルを使用します。

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [RETRIEVE JOB (ジョブ取得)] ボタンを押します。

3 スクロールして [USER NAME (ユーザー名)] を押します。

4 スクロールしてジョブを押します。

5 [PRINT (印刷)] を押し、数値キーパッドからコピー部数を入力します。上向き矢印と下向き矢印を使って部数を指定することもできます。[OK] を押します ([PRINT (印刷)] アイコンの隣には が表示されます)。

6 数値キーパッドを使って PIN を入力し、[OK] を押します。

プライベート ジョブを削除するには

プライベート ジョブは、印刷後、ハードディスクから自動的に削除されます。印刷せずにジョブを削除するには、以下の手順に従います。

1 [メニュー] ボタンを押します。

2 [RETRIEVE JOB (ジョブ取得)] ボタンを押します。

3 スクロールして [USER NAME (ユーザー名)] を押します。

4 スクロールしてジョブを押します。

5 [DELETE (削除)] を押してファイルを削除します。

6 数値キーパッドを使って PIN を入力し、[OK] を押します。

保存ジョブ

MFP には、ハードディスクに印刷ジョブをダウンロードする機能があります。この機能を利用して、後から印刷できます。たとえば、他のユーザーが、人事 / 経理関連フォーム、カレンダー、タイム シートをダウンロードして印刷できるようになります。ジョブの印刷には、MFP コントロール パネルを使用します。

プリント ジョブをハード ディスクに保存するには、プリンタ ドライバの **[Stored Job (保存ジョブ)]** オプションを選択します。

注記 MFP でこの機能を使用するには、ハードディスクが必要です。

保存ジョブを印刷するには

保存ジョブの印刷には、MFP コントロール パネルを使用します。

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. スクロールして [RETRIEVE JOB (ジョブ取得)] を押します。
3. スクロールして [USER NAME (ユーザー名)] を押します。
4. スクロールしてジョブを押します。
5. デフォルトの数だけコピー部数を印刷するには、[CONTINUE (継続)] を押します。画面が変わり、印刷する部数を入力するようにプロンプトが表示されます。部数を変更する場合は、数値キーパッドから入力するか、スクロールして値を選択し、[OK] を押します。

[PRINT (印刷)] の隣に 🔒 が表示される場合は、そのジョブはプライベート ジョブであり、PIN が必要であることを示します。詳細については、「プライベート ジョブ (116 ページ)」を参照してください。

保存ジョブを削除するには

保存ジョブの削除には、MFP コントロール パネルを使用します。

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [RETRIEVE JOB (ジョブ取得)] ボタンを押します。
3. スクロールして [USER NAME (ユーザー名)] を押します。
4. スクロールしてジョブを押します。
5. スクロールして [DELETE (削除)] を選択し、[OK] を押します。

[DELETE (削除)] の隣に 🔒 が表示される場合は、そのジョブはプライベート ジョブであり、PIN が必要であることを示します。詳細については、「プライベート ジョブ (116 ページ)」を参照してください。

クイックコピー ジョブ

クイックコピー機能では、ジョブの部数を指定して印刷し、そのジョブのコピーをプリンタのハード ディスクに保存できます。保存しておいたジョブを使って、後でコピーを印刷できます。この機能を無効にするには、プリンタ ドライバを使用します。

MFP に格納できるクイックコピー ジョブの数は、デフォルトで 32 に設定されています。デフォルト値は、コントロール パネルから変更できます。詳細については、「[System setup (システム セットアップ)] サブメニュー (158 ページ)」を参照してください。

注意 新しいクイックコピー ジョブを保存するための空き容量が足りないと、既存のクイックコピー ジョブの中から古い順に削除されます。ジョブを永続的に保存して、容量不足になっても削除されないようにするには、**[QuickCopy (クイックコピー)]** オプションではなく、**[Stored Job (保存ジョブ]** オプションを使用します。

注記 MFP でこの機能を使用するには、ハードディスクが必要です。

クイックコピー ジョブの追加部数を印刷するには

ハードディスクに保存されているジョブの追加部数の印刷には、MFP コントロール パネルを使用します。

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [RETRIEVE JOB (ジョブ取得)] ボタンを押します。
3. スクロールして [USER NAME (ユーザー名)] を押します。
4. スクロールしてジョブを押します。
5. スクロールして [PRINT (印刷)] または [DELETE (削除)] を押します。[Print (印刷)] を押した場合は、印刷する部数を入力します。

注記 [PRINT (印刷)] の隣に 🔒 が表示される場合は、そのジョブはプライベート ジョブであり、PIN が必要であることを示します。詳細については、「プライベート ジョブ (116 ページ)」を参照してください。

6. [OK] を押して、印刷を開始します。

クイックコピー ジョブを削除するには

不要になったクイックコピー ジョブは、MFP から削除します。新しいクイックコピー ジョブを保存するための空き容量が足りないと、自動的に、既存のクイックコピー ジョブの中から古い順に削除されます。

注記 保存されているクイックコピー ジョブは、コントロール パネルまたは HP Web Jetadmin を使って削除できます。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [RETRIEVE JOB (ジョブ取得)] ボタンを押します。
3. スクロールして [USER NAME (ユーザー名)] を押します。
4. スクロールしてジョブを押します。
5. スクロールして [DELETE (削除)] を押します。

[DELETE (削除)] の隣に 🔒 が表示される場合は、そのジョブはプライベート ジョブであり、PIN が必要であることを示します。詳細については、「プライベート ジョブ (116 ページ)」を参照してください。

試し刷り後に保留ジョブ

試し刷り後に保留ジョブ機能では、ジョブを 1 部試し刷りしてから追加部数を印刷する、という操作を手早く簡単に行うことができます。

ジョブを永続的に保存して、容量不足になっても削除されないようにするには、プリンタ ドライバで **[Stored Job (保存ジョブ]** オプションを選択します。

注記 新しい試し刷り後に保留ジョブを保存するための空き容量が足りないと、既存の試し刷り後に保留ジョブの中から古い順に削除されます。ジョブを永続的に保存して、容量不足になっても削除されないようにするには、**[Proof and Hold (既存の試し刷り後に保留)]** オプションではなく、プリンタ ドライバの **[Stored Job (保存ジョブ]** オプションを使用します。

注記 MFP でこの機能を使用するには、ハードディスクが必要です。

試し刷り後に保留ジョブを印刷するには

試し刷り後に保留ジョブの印刷には、MFP コントロール パネルを使用します。

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [RETRIEVE JOB (ジョブ取得)] ボタンを押します。
3. スクロールして [USER NAME (ユーザー名)] を押します。
4. スクロールしてジョブを押します。
5. 印刷する部数を入力します。

[PRINT (印刷)] の隣に 🔒 が表示される場合は、そのジョブはプライベート ジョブであり、PIN が必要であることを示します。詳細については、「プライベート ジョブ (116 ページ)」を参照してください。

6. [OK] を押して、印刷を開始します。

試し刷り後に保留ジョブを削除するには

MFP に試し刷り後に保留ジョブを送信すると、そのユーザーが作成した直前の「試し刷り後に保留ジョブ」が自動的に削除されます。同じ名前の「試し刷り後に保留ジョブ」は存在せず、空き容量が不足している場合は、その他の既存の「試し刷り後に保留ジョブ」の中から古い順に削除されることがあります。

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [RETRIEVE JOB (ジョブ取得)] ボタンを押します。
3. スクロールして [USER NAME (ユーザー名)] を押します。
4. スクロールしてジョブを押します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

5 [DELETE (削除)] を押します。

[DELETE (削除)] の隣に 🔒 が表示される場合は、そのジョブはプライベート ジョブであり、PIN が必要であることを示します。詳細については、「プライベート ジョブ (116 ページ)」を参照してください。

6 コントロール パネルのディスプレイに [DELETE FILENAME XXX (ファイル名 XXX を削除)] というメッセージが表示されます。そのファイルを削除するには、[YES (はい)] を押します。

コントロール パネルのメニュー

6

コントロール パネルのメニュー構成では、すべてのユーザーが使用するメニューが表示されます。ただし、管理者が使用するメニューは保護されています。通常、各ユーザーはリストの最初の 3 つのメニューを使用します。管理者とサービス担当技術者は、その他のメニュー項目を使用します。これらの項目は、PIN (Personal Identification Number : 個人識別番号) で保護することができます。

日常のほとんどの印刷タスクは、プリンタ ドライバやソフトウェア プログラムを使用してコンピュータから実行されます。MFP のコントロール パネルで設定した内容よりも、プリンタ ドライバやソフトウェアで設定した内容が優先されます。詳細については、ソフトウェアのヘルプ ファイルを参照してください。表示できないメニューや項目がある場合は、MFP では使えないオプションであるか、ネットワーク管理者が機能をロックしている可能性があります (後者の場合、コントロール パネルには、[ACCESS DENIED MENUS LOCKED (アクセスできません メニューがロック状態)] と表示されます)。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

注記 プリンタ ドライバやソフトウェアで設定した内容が、MFP のコントロール パネルで設定した内容よりも優先されます。

コントロール パネルでは、コントロール パネルのメニュー項目の構成と現在の設定を示すメニュー マップを印刷することができます (「[Information (情報)] メニュー (130 ページ)」を参照)。

MFP にインストールされているオプションによっては、追加のメニュー項目がコントロール パネルに表示されることがあります。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

この章には、MFP に用意されているすべてのメニュー項目と、**指定可能な値**についての情報を記載します (デフォルト値は、「項目」の欄に一覧します)。

注記 HP 製の留め具機能付きデバイスの詳細については、デバイスに同梱のユーザーズ ガイドを参照してください。

コントロール パネル メニューを使用するには

1. [メニュー] ボタンを押して、コントロール パネルのメニューを開きます。
2. スクロールして、目的のメニュー項目を押します (サブメニューを選択するには、矢印を使ってスクロールし、サブメニューを押します)。

注記 サブメニューがある場合、メニュー項目の隣に矢印が表示されます。

3. スクロールして目的の値を選択します。選択した値の横にはアスタリスク (*) が表示され、新たなデフォルト値に設定されたことを表します。
4. [BACK (戻る)] を押すと、ツリー構造のメニューでは 1 つ上位のメニューに戻ることができます。その他の場合は、入力した数値をクリアできます。
5. [EXIT (終了)] を押して、メニューを終了します。

この章に記載するトピックは、次のとおりです。

- [Retrieve Job (ジョブ取得)] メニュー：デバイスに保存されているジョブが表示されます。ジョブは、ユーザーおよびジョブ名別に一覧されます。
- [Information (情報)] メニュー：印刷可能なメニュー マップと、その他の情報ページがあります。
- [Paper Handling (用紙処理)] メニュー：各トレイの用紙のタイプ (サイズが認識されない場合は、サイズ) を設定するために使用します。
- [Configure device (デバイスの設定)] メニュー：管理者は、デフォルト値と I/O ポートの設定、診断、MFP のリセットを行うことができます。
- [Diagnostics (診断)] メニューには、管理者およびサービス担当技術者が設定の定義、使用状況の確認、問題のトラブルシューティングに活用することが可能な、MFP についての情報があります。

[Retrieve Job (ジョブ取得)] メニュー

注記 MFP のハード ディスクや RAM にプライベート ジョブ、保存ジョブ、クイックコピー ジョブ、試し刷り後に保留ジョブが保存されていない場合は、メニューを選択したときに [NO STORED JOB (保存されているジョブはありません)] というメッセージが表示されます。

1. ユーザー名が一覧されます。
2. ユーザー名を選択します。選択すると、そのユーザー用に保存されているジョブが一覧されます。
3. ジョブ名を選択し、そのジョブを印刷または削除します。PIN を入力してから印刷または削除する必要があるジョブの場合は、[PRINT (印刷)] または [DELETE (削除)] コマンドの隣に 🔒 と表示されます。このようなジョブでは、PIN の入力が必要です。
4. **[PRINT (印刷)]** を選択すると、部数 (1 ～ 32,000) の指定を求めるプロンプトが表示されます。

[Retrieve Job (ジョブ取得)] メニューには、以下のメニュー項目があります。

メニュー項目	説明
USER 1 (X1) (ユーザー 1 (X1))	指定したユーザー名に対して保存されているプライベート ジョブ、保存ジョブ、クイックコピー ジョブ、試し刷り後に保留ジョブの名前を確認できます。(X1) は、そのユーザーに対して保存されている印刷ジョブの数を示します。
USER 2 (X2) (ユーザー 2 (X2))	
USER 3 (X3) (ユーザー 3 (X3))	
USER 4 (X4) (ユーザー 4 (X4))	
USER 5 (X5) (ユーザー 5 (X5))	
USER 6 (X6) (ユーザー 6 (X6))	

メニュー項目	説明
<USER NAME (ユーザー名)> ALL PRIVATE JOBS (全プライベート ジョブ) JOB 1 (ジョブ 1) JOB 2 (ジョブ 2) JOB 3 (ジョブ 3) JOB 4 (ジョブ 4)	操作する印刷ジョブを選択できます。ALL PRIVATE JOBS (全プライベート ジョブ) オプションを選択すると、指定したユーザーに対する、PIN の入力が必要な印刷ジョブがすべて一覧されます。
<JOB NAME (ジョブ名)> PRINT (印刷) DELETE (削除)	選択したジョブを印刷 / 削除します。 PIN を入力してから印刷または削除する必要があるジョブの場合は、[PRINT (印刷)] または [DELETE (削除)] コマンドの隣に 🔒 と表示されます。このようなジョブでは、PIN の入力が必要です。 [PRINT (印刷)] を選択すると、部数 (1 ～ 32,000) の指定を求めるプロンプトが表示されます。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

[Information (情報)] メニュー

[Information (情報)] ページを印刷するには、スクロールして [Information (情報)] ページを表示し、[OK] を押します。

メニュー項目	説明
PRINT MENU MAP (メニュー マップの印刷)	コントロール パネルのメニュー項目の構成と現在の設定を示すメニュー マップを作成します。
PRINT CONFIGURATION PAGE (設定ページの印刷)	すべての消耗品のステータスを一覧するページを作成します。 ページの作成が完了すると、MFP は [READY (印字可)] の状態に戻ります。
PRINT SUPPLIES STATUS PAGE (サプライ品のステータス ページの印刷)	MFP の各サプライ品について、残りの印刷可能ページ数を示すページを作成します。 ページの作成が完了すると、MFP は [READY (印字可)] の状態に戻ります。
SUPPLIES STATUS (サプライ品のステータス)	サプライ品の有効性や、全消耗品のステータスを一覧するページを作成します。
PRINT USAGE PAGE (使用状況ページの印刷)	費用計算に使用できる情報が含まれるページを作成します。この項目は、ハード ディスクが設置されている場合にのみ使用できます。 ページの作成が完了すると、MFP は [READY (印字可)] の状態に戻ります。

メニュー項目	説明
PRINT DEMO（デモ印刷）	プリンタ機能を一覧するデモ用のテスト ページを作成します。
PRINT RGB SAMPLES（RGB サンプルの印刷）	RGB 値と対応づけられるカラー パレットを作成します。
PRINT CMYK SAMPLES（CMYK サンプルの印刷）	CMYK 値と対応づけられるカラー パレットを作成します。
PRINT FILE DIRECTORY（ファイル ディレクトリの印刷）	装着されているすべてのマス ストレージ デバイスについての情報が含まれるディレクトリ ページを作成します。 ページの作成が完了すると、MFP は [READY（印字可）] の状態に戻ります。
PRINT PCL FONT LIST（PCL フォント リストの印刷）	MFP に用意されている PCL フォントの書体リストを作成します。 ページの作成が完了すると、MFP は [READY（印字可）] の状態に戻ります。
PRINT PS FONT LIST（PS フォントリストの印刷）	MFP に用意されている PS フォントの書体リストを作成します。 ページの作成が完了すると、MFP は [READY（印字可）] の状態に戻ります。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

[Paper Handling (用紙処理)] メニュー

コントロール パネルで、用紙処理が正しく設定されていると、プリンタ ドライバやソフトウェア プログラムから用紙のタイプとサイズを選択して印刷することができます。

このメニューの項目の一部 (両面印刷や手差しなど) は、特定のソフトウェア プログラム、またはプリンタ ドライバ (適切なドライバがインストールされている場合) から使用できます。プリンタ ドライバとソフトウェア プログラムの設定は、コントロール パネルの設定よりも優先されます。

注記 アスタリスク (*) が横に表示されている値は、出荷時のデフォルト設定値であることを示します。

メニュー項目	値	説明
TRAY <N> SIZE=*ANY SIZE（トレイ <N> サイズ =* 任意のサイズ）	*ANY SIZE（任意のサイズ） LETTER（レター） LETTER ROTATED（レター-R） LEGAL（リーガル） EXECUTIVE（エグゼクティブ） STATEMENT（ステートメント） 8.5X13 11X17 12X18 A3 A4 A4 ROTATED（A4-R） A5 RA3 B5（ISO） B5（JIS） B4（JIS） EXECUTIVE（JIS）（エグゼクティブ（JIS）） DPOSTCARD（JIS） 8K 16K ENVELOPE #10（10 号封筒） ENVELOPE MONARCH（MONARCH 封筒） ENVELOPE C5（C5 封筒） ENVELOPE DL（DL 封筒） ENVELOPE B5（B5 封筒） CUSTOM（カスタム） ANY CUSTOM（任意カスタム）	トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) の用紙サイズを設定します。ここで、<N> はトレイ番号を示します。 **注記** ENVELOPE #10（10 号封筒）、ENVELOPE MONARCH（MONARCH 封筒）、ENVELOPE C5（C5 封筒）、ENVELOPE DL（DL 封筒）、STATEMENT（ステートメント）、12X18、RA3、ENVELOPE B5（B5 封筒）は、トレイ 1 のみに表示されます。 **注記** 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) で使用できるのは、LETTER（レター）、LETTER ROTATED（レター-R）、A4、A4 ROTATED（A4-R）だけです。

メニュー項目	値	説明
TRAY <N> TYPE=*ANY TYPE (トレイ <N> タイプ =* 任意のタイプ)	*ANY (任意) PLAIN (普通紙) PREPRINTED (印刷済用紙) LETTERHEAD (レターヘッド) TRANSPARENCY (OHP フィルム) PREPUNCHED (穴あき用紙) LABELS (ラベル紙) BOND (ボンド紙) RECYCLED (再生紙) COLOR (カラー) LIGHT<75 G/M2 (薄手 < 75 G/M2) HEAVY 105-119 G/M2 (厚手 105-119 G/M2) CARD STOCK>163 (カードストック > 163) GLOSSY 75-105 G/M2 (光沢紙 75-105 G/M2) HEAVY GLOSSY (厚手光沢紙) NON HP HVY GLOSSY (他社製厚手光沢紙) HIGH GLOSS IMAGES (高光沢イメージ) TOUGH PAPER (耐久紙) ENVELOPE (封筒)	各トレイの用紙のタイプを指定します。ここで、<N> はトレイ番号を示します。

メニュー項目	値	説明
TRAY <N> CUSTOM （トレイ <N> カスタム）	UNIT OF MEASURE（計測単位） X DIMENSION（X の寸法） Y DIMENSION（Y の寸法）	CUSTOM/STANDARD スイッチ CUSTOM の位置にあるときに、用紙サイズの一覧から CUSTOM（カスタム）を選択すると、このメッセージが表示されます。 これらの値はポップアップ メニューに表示されます。ポップアップ メニューから、計測単位としてミリメートルかインチを指定し、その単位に基づいて用紙のカスタム サイズ (X と Y) を指定します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

[Configure device (デバイスの設定)] メニュー

このメニューには、すべての MFP 管理機能が備えられています。

[Originals (原稿)] サブメニュー

このサブメニューでは、コピー原稿のタイプについて、コピー機能に関するデフォルト設定を行います。

注記 アスタリスク (*) が横に表示されている値は、出荷時のデフォルト設定値であることを示します。

メニュー項目	値	説明
PAPER SIZE（用紙サイズ）	*AUTO（自動） LETTER（レター） LEDGER（レジャー） LEGAL（リーガル） EXEC（エグゼクティブ） A3 A4 A5 B4 B5 BOOK（書籍）	原稿の用紙サイズを指定します。 MFP には自動用紙認識機能が備えられているため、原稿の用紙サイズが自動的に判別されます。自動的に認識されない場合は、用紙サイズの一覧から選択します。
NUMBER OF SIDES （両面／片面）	*1 2	スキャンする原稿の面 (片面 / 両面) を指定します。 2 を選択してスキャナのガラス面に向けて原稿を置くと、ページを裏返すようにプロンプトが表示されます。
ORIENTATION（印刷の向き）	*PORTRAIT（縦） LANDSCAPE（横）	原稿の向きについて、縦向きにする (短辺を上部に向ける) か、横向きにする (長辺を上部に向ける) かを指定します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

メニュー項目	値	説明
CONTENT（ページ内容）	TEXT（文字） PHOTO（写真） GLOSSY PHOTO（光沢のある写真） MIXED（文字と写真）	原稿に含まれるイメージのタイプを指定します。文字品質を優先する場合は [Text (文字)]、ハーフトーングラフィックスを優先する場合は [photo (写真)]、写真を優先する場合は [glossy photo (光沢のある写真)]、原稿に文字とグラフィックスが混在している場合は [mixed (文字と写真)] を選択します。
TEXT/PHOTO MIX（文字／写真）	0-8	[CONTENT（ページ内容）] を [mixed (文字と写真)] とした場合、文字と写真のどちらを優先するかを指定します (このメニュー項目は、[MIXED（文字と写真）] をデフォルトに設定した場合にのみ表示されます)。9 段階で設定できます。 0= 文字を優先 8= 写真を優先
HEAVY PAPER（厚紙）	ON（オン） *OFF（オフ）	スキャン対象が厚紙であるかどうかを指定します。[HEAVY PAPER（厚紙）] を [ON（オン）] に設定すると、スキャン領域で紙が移動できるように、用紙を引っ張る力が調整されます。重量が 100 g/m^2 (26 ポンドのボンド紙) を超える用紙の場合、この設定内容が出力結果の品質に影響を及ぼします。

[Copying (コピー)] サブメニュー

このサブメニューでは、コピーして出力される用紙の特徴について、コピー機能に関するデフォルト設定を行います。

注記 アスタリスク (*) が横に表示されている値は、出荷時のデフォルト設定値であることを示します。

メニュー項目	値	説明
COLOR MODE (カラー モード)	*BLACK COPIES (モノクロ コピー) COLOR COPIES (カラー コピー)	MFP を起動したときの、デフォルトのコピー モード (モノクロ / カラー) を指定します。
NUMBER OF SIDES (両面 / 片面)	*1 2	原稿イメージを、コピーして出力される用紙の片面に印刷するか、両面に印刷するかを指定します。
COLLATE (丁合い)	*ON (オン) OFF (オフ)	コピーして出力する用紙の丁合いをとるかどうかを指定します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

メニュー項目	値	説明
COPIES（部数）	1-999	コピーする部数を選択せずに [START (開始)] を押したときに生成される部数を指定します。 出荷時のデフォルト設定値は 1 です。

メニュー項目	値	説明
STAPLES（ステイプル）	値は、取り付けられている留め具機能付きデバイスによって異なります。	ステイプルが必要な場合は、このメニュー項目を使って、ステイプル留めを行う場所と数を指定します。 取り付けられているデバイスがスタッカまたは 8 ピン メールボックスの場合、このオプションは表示されません。 ステイプラ / スタッカが取り付けられている場合は、次の値から選択します。 *NONE（なし） ONE（1 箇所）(左上隅) CORNER（隅）(左上隅) TWO（2 箇所） THREE（3 箇所） SIX（6 箇所） CUSTOM（カスタム）(ステイプラ / スタッカが [custom (カスタム)] に設定されている場合にのみ使用可能) OPPOSITE CORNER（反対側の隅） **注記** 使用する用紙のサイズ、向き、給紙方法によって、目的どおりのステイプル留めとなるように試みが必要となる場合があります。 マルチファンクション フィニッシャが取り付けられている場合は、次の値から選択します。 *NONE（なし） ONE（片面） TWO（2 箇所） SADDLE STITCH（サドル ステッチ）

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

[Enhancement (調整)] サブメニュー

このサブメニューでは、コピー調整機能に関するデフォルト設定を行います。

注記 アスタリスク (*) が横に表示されている値は、出荷時のデフォルト設定値であることを示します。

メニュー項目	値	説明
SHARPNESS（鮮明度）	0-4	鮮明度を指定します。 0= 最小 4= 最大 出荷時のデフォルト設定値は 2 です。

メニュー項目	値	説明
BACKGROUND REMOVAL （背景の除去）	0-8	コピー時に排除する、原稿の背景の程度を指定します。両面に印刷されている原稿をコピーする場合で片面に印刷されている内容が別の面から透けて見えることのないようにする場合や、原稿がカラー用紙に印刷されているためにコピー品質が低くなる場合などに役に立ちます。 0= 最小 (背景が見える程度を高くする) 8= 最大 (背景が見える程度を低くする) 出荷時のデフォルト設定値は 2 です。

[Sending (送信)] サブメニュー

このサブメニューでは、送信機能に関する設定を行います。

メニュー項目	値	説明
E-MAIL（電子メール）	SCANNED PREFERENCE=COLOR （スキャン設定 = カラー）	電子メールのデフォルト値を設定します。次の表に一覧する [E-mail (電子メール)] サブメニューを参照してください。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

[E-mail (電子メール)] サブメニュー

このサブメニューでは、電子メールに関する設定を行います。

注記 アスタリスク (*) が横に表示されている値は、出荷時のデフォルト設定値であることを示します。

メニュー項目	値	説明
SCAN PREFERENCE (スキャン設定)	BLACK AND WHITE (モノクロ) *COLOR (カラー)	MFP を起動したときの、デフォルトのスキャン モード (モノクロ / カラー) を指定します。
FILE TYPE (ファイル タイプ)	*PDF MTIFF TIFF JPEG	電子メールの添付ファイル形式を設定します。
FILE SIZE (ファイル サイズ)	SMALL (小) *STANDARD (標準) LARGE (大)	原稿の圧縮値を指定します。

メニュー項目	値	説明
RESOLUTION（解像度）	75 DPI *150 DPI 200 DPI 300 DPI	スキャンするイメージの解像度を指定します。
E-MAIL（電子メール）	FIND SEND GATEWAYS（送信ゲートウェイ検索）	電子メール送信に使用できる SMTP および LDAP ゲートウェイ用のネットワークを自動的に検索します。
	SMTP GATEWAY（SMTP ゲートウェイ）	電子メール送信に使用する SMTP ゲートウェイの IP アドレスを指定します。
	LDAP GATEWAY（LDAP ゲートウェイ）	電子メール送信に使用する LDAP ゲートウェイの IP アドレスを指定します。
	TEST SEND GATEWAYS（送信ゲートウェイテスト）	設定したゲートウェイが正しく機能するかどうかをテストします。正しく機能しているときは、コントロールパネルのディスプレイに [GATEWAYS OK（ゲートウェイは正常に機能しています）] というメッセージが表示されます。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

[Printing (印刷)] サブメニュー

このメニューの一部の項目は、ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバ (適切なドライバがインストールされている場合) から使用することができます。プリンタ ドライバとソフトウェア プログラムの設定は、コントロール パネルの設定よりも優先されます。詳細については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』を参照してください。

注記 アスタリスク (*) が横に表示されている値は、出荷時のデフォルト設定値であることを示します。

メニュー項目	値	説明
COPIES (部数)	1 ～ 32,000	デフォルトの部数を設定するには、1 ～ 32,000 の任意の数を選択します。部数の指定には、数値キーパッドを使用します。 出荷時のデフォルト設定値は 1 です。

メニュー項目	値	説明
DEFAULT PAPER SIZE（デフォルトの用紙サイズ）	*LETTER（レター） LETTER ROTATED（レター-R） LEGAL（リーガル） EXECUTIVE（エグゼクティブ） STATEMENT（ステートメント） 8.5X13 11X17 12X18 A3 A4 A4 ROTATED (A4-R) A5 RA3 B5 (JIS) B4 (JIS) EXECUTIVE (JIS)（エグゼクティブ (JIS)） DPOSTCARD (JIS) 8K 16K ENVELOPE #10（10 号封筒） ENVELOPE MONARCH（MONARCH 封筒） ENVELOPE C5（C5 封筒） ENVELOPE DL（DL 封筒） ENVELOPE B5（B5 封筒） CUSTOM（カスタム）	用紙サイズが指定されていない印刷ジョブに対して、印刷する用紙や封筒のデフォルト サイズを指定します (利用可能なサイズをスクロールしていくと、表示が用紙から封筒に変わります)。 **注記** この値は、用紙サイズが印刷上部に送信されない場合にのみ使用されます。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

メニュー項目	値	説明
DEFAULT CUSTOM PAPER SIZE（デフォルトのカスタム用紙サイズ）	UNIT OF MEASURE（計測単位） X DIMENSION（X の寸法） Y DIMENSION（Y の寸法）	設置されている任意のトレイについて、カスタムの用紙サイズを設定します。ここで、<N> はトレイ番号を示します。このメニューが表示されるのは、選択したトレイの CUSTOM/STANDARD スイッチが「CUSTOM」サイズの位置にあるときだけです。トレイの定規ラベルを使用して、カスタムの用紙サイズの X と Y の寸法を選択します。
PAPER DESTINATION（排紙先）	UPPER BIN（上部ビン） LOWER BIN（下部ビン） BIN 1（ビン 1） BIN 2（ビン 2） BIN 3（ビン 3） BIN 4（ビン 4） BIN 5（ビン 5） BIN 6（ビン 6） BIN 7（ビン 7） BIN 8（ビン 8） BOOKLET BIN（ブックレット ビン）	排紙先を指定します。メニューには、装着されているビンだけが一覧されます。値は、取り付けられている留め具機能付きデバイスによって異なります。

メニュー項目	値	説明
DUPLEX（両面印刷）	*OFF（オフ） ON（オン）	この項目が表示されるのは、オプションの両面印刷ユニットが装着されているときだけです。用紙の両面に印刷するときは値を [ON（オン）] に設定し、片面に印刷するときは値を [OFF（オフ）] に設定します。 **注記** [DUPLEX (両面印刷)] オプションの設定は、プリンタ ドライバまたはソフトウェア プログラムから行うことをお勧めします (ドライバとソフトウェアの設定は、コントロール パネルの設定よりも優先されます)。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

メニュー項目	値	説明
DUPLEX BINDING （両面綴じ込み）	*LONG EDGE（ロング エッジ） SHORT EDGE（ショート エッジ）	両面印刷で綴じ込む辺を変更できます。このメニュー項目が表示されるのは、両面印刷ユニットがプリンタに装着されており、[DUPLEX=ON（両面印刷 = オン）] に設定されているときです。 **注記** [DUPLEX BINDING (両面綴じ込み)] オプションの設定は、プリンタ ドライバまたはソフトウェア プログラムから行うことをお勧めします (ドライバとソフトウェアの設定は、コントロール パネルの設定よりも優先されます)。

メニュー項目	値	説明
OVERRIDE A4/LETTER (A4/ レター置き換え)	*YES (はい) NO (いいえ)	A4 のジョブが送信されたが、A4 サイズの用紙が MFP にセットされていないときに、レター サイズの用紙に印刷するために使用します (または、レターのジョブが送信されたが、レター用紙が MFP にセットされていないときに、A4 サイズの用紙に印刷するために使用します)。 **注記** このメニュー項目は、A3 および 11 x 17 サイズの用紙にも適用されます。
MANUAL FEED (手差し)	*OFF (オフ) ON (オン)	トレイから自動で給紙するのではなく、トレイ 1 から手動で給紙します。 [MANUAL FEED=ON (手差し = オン)] に設定されている場合にトレイ 1 が空であると、処理が停止し、[MANUALLY FEED [PAPER SIZE] (手差し [用紙サイズ])] というメッセージが表示されます。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

メニュー項目	値	説明
COURIER FONT（COURIER フォント）	*REGULAR（標準） DARK（濃い）	使用する Courier フォントのバージョンを選択します。 [REGULAR（標準）]：HP LaserJet 4 シリーズ プリンタに用意されている内部 Courier フォントです。 [DARK（濃い）]：HP LaserJet III シリーズ プリンタに用意されている内部 Courier フォントです。
WIDE A4（ワイド A4）	*NO（いいえ） YES（はい）	A4 サイズの用紙の 1 行に印刷できる文字数を変更します。 [YES（はい）]：10 ピッチの文字を、1 行に最大 80 文字印刷できます。 [NO（いいえ）]：10 ピッチの文字を、1 行に最大 78 文字印刷できます。
PRINT PS ERRORS（PS エラーの印刷）	*OFF（オフ） ON（オン）	PS エラーの発生時に PS エラー ページを印刷するには、[ON（オン）] を選択します。
PRINT PDF ERRORS（PDF エラーの印刷）	*OFF（オフ） ON（オン）	PDF エラーの発生時に PDF エラー ページを印刷するには、[ON（オン）] を選択します。

[Print quality (印刷品質)] サブメニュー

このメニューの一部の項目は、ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバ (適切なドライバがインストールされている場合) から使用することができます。プリンタ ドライバとソフトウェア プログラムの設定は、コントロール パネルの設定よりも優先されます。詳細については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』を参照してください。

注記 アスタリスク (*) が横に表示されている値は、出荷時のデフォルト設定値であることを示します。

メニュー項目	値	説明
ADJUST COLOR (カラー調節)	HIGHLIGHTS (ハイライト) MIDTONES (中間トーン) SHADOWS (影) RESTORE COLOR VALUES (カラー値の復元)	各色濃度 (シアン、マゼンタ、イエロー、黒) について、ハーフトーンの設定を変更します。色濃度は、-5 ～ +5 の範囲で設定します。マイナスの値を指定すると、トーン カーブが明るく (薄く) なります。プラスの値を設定すると、トーン カーブが暗く (濃く) なります。出荷時のデフォルト設定値は 0 です。

メニュー項目	値	説明
SET REGISTRATION 〈登録の設定〉	PRINT TEST PAGE 〈テスト ページの印刷〉 SOURCE 〈ソース〉 ADJUST TRAY 1 〈トレイ 1 の調節〉 ADJUST TRAY 2 〈トレイ 2 の調節〉 ADJUST TRAY 3 〈トレイ 3 の調節〉 ADJUST TRAY 4 〈トレイ 4 の調節〉	上下左右のマージンの位置合わせをシフトし、イメージをページの中央に配置します。裏面に印刷されているイメージを使って、表面のイメージの位置調整をすることもできます。 詳しい手順は、ソースを選択して [PRINT TEST PAGE 〈テスト ページの印刷〉] を選択すると、テスト ページに 印刷されます。

メニュー項目	値	説明
PRINT MODES（プリント モード）	AUTO SENSE MODE（自動感知モード） AUTO SENSE OFF（自動感知オフ） LIGHT MODE（薄手モード） HEAVY MODE（厚手モード） CARDSTOCK MODE（カードストック モード） TRANSPARENCY MODE（OHP フィルム モード） ENVELOPE MODE（封筒モード） LABEL MODE（ラベル紙モード） GLOSSY MODE（光沢紙モード） IMAGE MODE（イメージ モード） HVY GLOSSY MODE（厚手光沢紙 モード） NON HP HVY GLOSSY MODE（他社製厚手光沢紙モード） BEST GLOSSY MODE（光沢紙ベスト モード） BEST HP HVY GLOSSY MODE（厚手光沢紙ベスト モード） BEST NON HP HVY GLOSSY MODE（他社製厚手光沢紙ベスト モード） BEST TOUGH PAPER MODE（耐久紙 ベスト モード） TONER MODE（トナー モード） TOUGH PAPER MODE（耐久紙モード） BLISTERS MODE（ブリスタ モード）	**使用する用紙タイプについて、モードを設定します。以下の用紙タイプでは、[値] に一覧した任意のモードを設定できます。** PLAIN（普通紙） PREPRINTED（印刷済用紙） LETTERHEAD（レターヘッド） TRANSPARENCY（OHP フィルム） PREPUNCHED（穴あき用紙） LABELS（ラベル紙） BOND（ボンド紙） RECYCLED（再生紙） COLOR（カラー） LIGHT<75 G/M2（薄手 < 75 G/M2） HEAVY 106-163 G/M2（厚手 106-163 G/M2） CARDSTOCK>163 G/M2（カードストック >163 G/M2） GLOSSY 75-105 G/M2（光沢紙 75-105 G/M2） HEAVY GLOSSY（厚手光沢紙） NON HP HEAVY（他社製厚手） HVY GLOSS（厚手光沢） TOUGH PAPER（耐久紙） ENVELOPE（封筒） RESTORE MODES（モードの復元）

メニュー項目	値	説明
OPTIMIZE（最適化）	TRANSFER UP 1 （トランスファー アップ 1） TRANSFER UP 2 （トランスファー アップ 2） TRANSFER DOWN 1 （トランスファー ダウン 1） TRANSFER DOWN 2 （トランスファー ダウン 2） HIGH COVERAGE 1 （印刷量（多）1） HIGH COVERAGE 2 （印刷量（多）2） HIGH COVERAGE 3 （印刷量（多）3） LEADING EDGE UP （リーディング エッジ アップ） LEADING EDGE DOWN （リーディング エッジ ダウン） RESTORE OPTIMIZE （最適化モードの復元）	用紙タイプではなく、印刷ジョブのエンジン パラメータの数を最適化します。各項目は、[OFF（オフ）] または [ON（オン）] に設定できます。各項目のデフォルト値は、[OFF（オフ）] です。[RESTORE OPTIMIZE（最適化モードの復元）] オプションを使用すると、すべてのオプションが出荷時のデフォルト設定 ([OFF（オフ）]) にリセットされます。詳細については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』の第 8 章を参照してください。

メニュー項目	値	説明
QUICK CALIBRATE NOW 〈 今すぐクイック校正 〉	(選択する値はありません)	DMax および DHalf カラートーンを調節する場合に使用します。
FULL CALIBRATE NOW 〈 今すぐ完全に校正 〉	(選択する値はありません)	DMax、DHalf、CPR (Color-Plane Registration : カラーレジストレーション) を調節する場合に使用します。
PROCESS CLEANING PAGE 〈 クリーニング ページの処理 〉	(選択する値はありません)	この項目が表示されるのは、クリーニング ページが作成されたときだけです。 [CONTINUE (継続)] を押して、クリーニング ページの処理を行います。進捗状況バーにより、処理の進捗状況が表示されます。

[System setup (システム セットアップ)] サブメニュー

このメニューの項目では、MFP の機能を変更します。印刷の目的に合わせて MFP を設定してください。

注記 アスタリスク (*) が横に表示されている値は、出荷時のデフォルト設定値であることを示します。

メニュー項目	値	説明
DATE/TIME (日付 / 時刻)	DATE (日付) DATE FORMAT (日付形式) TIME (時刻) TIME FORMAT (時刻形式)	コントロール パネル ディスプレイを使って、日付 (年月日) と時刻を設定します。
JOB STORAGE LIMIT (ジョブ保存限界)	1 ～ 100	ハード ディスクに保存できるジョブの数を指定します。 出荷時のデフォルト設定値は 32 です。

メニュー項目	値	説明
JOB HELD TIMEOUT（ジョブ保留タイムアウト）	*OFF（オフ） 1 HOUR（1 時間） 4 HOURS（4 時間） 1 DAY（1 日） 1 WEEK（1 週）	クイックコピー ジョブ、試し刷り後に保留ジョブ、プライベート ジョブ、保存ジョブについて、キューから自動的に削除されるまでの時間を設定します。
SHOW ADDRESS（アドレス表示）	*AUTO（自動） OFF（オフ）	コントロール パネルに、[READY（印字可）] というメッセージとともにプリンタの IP アドレスを表示するかどうかを指定します。[AUTO（自動）] を選択すると、MFP がネットワークに接続された場合に IP アドレスが表示されます。
OPTIMUM SPEED/COST（最適速度／コスト）	*AUTO（自動） SPEED（速度） COST PER PAGE（ページ毎のコスト）	カラー モードとモノクロ モードの切り替え方法を制御します。[AUTO（自動）] に設定すると、印刷されるジョブに基づいてモードが切り替えられます。[SPEED（速度）] に設定すると、印刷速度は向上しますが、モード切替時の費用対効果が下がります。[COST PER PAGE（ページ毎のコスト）] に設定すると、印刷速度は低下しますが、モード切替時の費用対効果は最も高くなります。

メニュー項目	値	説明
TRAY BEHAVIOR（トレイの設定）	*USE REQUESTED TRAY（要求されたトレイを使用） MANUALLY FEED PROMPT（手差しプロンプト） PS DEFER MEDIA（PS メディア遅延）	トレイの動作を指定します。オプションを選択すると、以下のような、それぞれのサブメニューが開きます。 USE REQUESTED TRAY（要求されたトレイを使用）: • EXCLUSIVELY（優先）: 使用するトレイを指定すると、別のトレイが自動的に選択されることはありません。 • FIRST（最初）: 指定したトレイが空であると、別のトレイから給紙が行われます。 MANUALLY FEED PROMPT（手差しプロンプト） • ALWAYS（常に使用）: トレイに用紙がセットされていても、用紙を手差しするようにプロンプトが表示されます。 • UNLESS LOADED（セットしてから使用）: トレイ 1 が空の場合にのみ、プロンプトが表示されます。 PS DEFER MEDIA（PS メディア遅延） • ENABLED（有効）: PostScript 用紙処理機能を使用しません。 • DISABLED（無効）: PostScript 用紙処理機能を使用します。

メニュー項目	値	説明
SLEEP DELAY (スリープ遅延)	1 MINUTE (1 分) 15 MINUTES (15 分) 30 MINUTES (30 分) *45 MINUTES (45 分) 60 MINUTES (60 分) 90 MINUTES (90 分) 2 HOURS (2 時間) 4 HOURS (4 時間)	スリープ モードになるまでのアイドル時間を設定します。 スリープ モードでは、未使用時のプリンタの消費電力が最小限になり、MFP の電子部品の寿命が延びます (ディスプレイのバックライトが消灯します)。 プライベート ジョブを送信したり、コントロール パネルのキーを押したり、用紙トレイや最上部カバーを開けたりすると、スリープ モードは自動的に解除されます。 **注記** スリープ モードになるとディスプレイのバックライトが消灯しますが、ディスプレイの表示は消えません。

メニュー項目	値	説明
COPY/SEND SETTINGS (コピー / 送信の設定)	INACTIVITY TIMEOUT (活動停止タイムアウト) AUTO SETTINGS REST (自動リセット) TIMEOUT AFTER SEND (送信後タイムアウト) HOLD OFF PRINT JOB (印刷ジョブ遅延) HOLD OFF TIME (遅延時間) SCAN AHEAD (スキャン優先) AUTO JOB INTERUPT (ジョブ自動中断) INTERRUPT COPY JOB (コピー ジョブの中断) AUDIBLE FEEDBACK (サウンド)	• INACTIVITY TIMEOUT (活動停止タイムアウト): コピー、送信、ファックスについての設定で、定義された設定内容をリセットするまでの時間。秒単位に 10 ～ 300 の範囲で指定します。デフォルトは 60 です。 • AUTO SETTINGS REST (自動リセット): [開始] ボタンを押すと、コピー、送信、ファックスについての設定がリセットされます。有効な値は [OFF (オフ)] と [ON (オン)] です。デフォルトは [OFF (オフ)] です。 • TIMEOUT AFTER SEND (送信後タイムアウト): 送信についての設定で、出荷時のデフォルト設定にリセットするまでの時間。値は 10 ～ 300 の範囲で指定します。デフォルトは 10 です。 • HOLD OFF PRINT JOB (印刷ジョブ遅延): [ON (オン)] に設定すると、MFP コントロール パネルの操作中、印刷ジョブは保留されます。 • HOLD OFF TIME (遅延時間): コピー / 送信ジョブが完了した後、印刷ジョブを保留する時間を指定します。 • SCAN AHEAD (スキャン優先): MFP が別のジョブを印刷中であっても、コピー ジョブのスキャンを実行できます。スキャンされたジョブは、印刷まで保留されます。[SCAN AHEAD=OFF (スキャン優先 = オフ)] に設定すると、印刷ジョブの完了を待ってスキャンが実行されます。 • AUTO JOB INTERUPT (ジョブ自動中断): コピー ジョブが発生すると、実行中のネットワーク印刷ジョブが存在する場合、ページ単位の印刷を待って自動的にジョブを中断します。[OFF (オフ)] に設定すると、ネットワーク印刷ジョブの完了を待ってコピー ジョブが実行されます。 • INTERRUPT COPY JOB (コピー ジョブの中断): 別のコピー ジョブを実行するため、現在のコピー ジョブを中断します。[開始] ボタンを押すと、現在のコピー ジョブを中断してよいかどうかを確認するメッセージが表示されます。[OFF (オフ)] に設定すると、別のコピー ジョブを実行するために現在のコピー ジョブを中断することはできません。 • AUDIBLE FEEDBACK (サウンド): キーを押したときや、タッチスクリーンの対話型項目領域を押したときに、サウンドで確認します。

メニュー項目	値	説明
PERSONALITY（パーソナリティ）	*AUTO（自動） PCL PDF XHTML MIME PS	デフォルトの製品言語 (パーソナリティ) を選択します。指定可能な値は、MFP にインストールされている有効な言語によって異なります。 通常は、製品言語を変更しないでください (デフォルトは [AUTO（自動）] です)。特定の製品言語に変更した場合、別の言語に自動的に切り替わることはありません。このようなときは、特定のソフトウェア コマンドを発行することが必要です。
CLEARABLE WARNINGS（解除可能な警告）	*JOB（ジョブ） ON（オン）	解除可能な警告がコントロール パネルに表示される時間を設定します。 [ON（オン）]：警告メッセージは [CONTINUE（継続）] が押されるまでコントロール パネルに表示されます。 [JOB（ジョブ）]：警告メッセージは、ジョブが発生した時点からジョブの終了まで、コントロール パネルに表示されます。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

メニュー項目	値	説明
AUTO CONTINUE （自動継続）	*ON（オン） OFF（オフ）	エラー発生時の MFP の動作を指定します。 [ON（オン）]: エラーが原因で印刷できなくなった場合、メッセージが表示され、10 秒間オフラインになってからオンラインに戻ります。 [OFF（オフ）]: エラーが原因で印刷できなくなった場合、メッセージがディスプレイに表示されたままになり、[CONTINUE (継続)] を押さないと印刷されません。 **注記** ステイプラの針がなくなったときに印刷を停止するには、コントロール パネルの **[System setup (システム セットアップ)]** メニューで [AUTO CONTINUE=OFF（自動継続 = オフ）] に設定します。

メニュー項目	値	説明
SUPPLIES LOW（サプライ品残量少）	CONTINUE（継続） STOP（停止）	トナーの残量が少なくなったときの MFP の動作を指定します。プリント カートリッジのトナーがなくなりかけると、まず [CARTRIDGE LOW（カートリッジ残量少）] というメッセージが表示されます (5 % の残量で約 2,400 ページ印刷することができます)。 [CONTINUE（継続）]: [CARTRIDGE LOW（カートリッジ残量少）] と表示されている間、印刷が続行されます。 [STOP（停止）]: MFP はオフラインになり、何らかの操作が行われるまで待機します。
COLOR SUPPLY OUT（カラー サプライ品切れ）	*STOP（停止） AUTOCONTINUE BLACK（黒で自動継続）	カラー サプライ品がなくなったときの MFP の動作を指定します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

メニュー項目	値	説明
JAM RECOVERY （紙詰まり解除）	*AUTO（自動） OFF（オフ） ON（オン）	紙詰まりが発生したときの MFP の動作を指定します。 [AUTO（自動）]: MFP の紙詰まりの解除後に、最適なモードが自動的に選択されます (通常は [ON（オン）] です)。これがデフォルトの設定です。 [ON（オン）]: 紙詰まりの解除後に、ページが自動的に再印刷されます。 [OFF（オフ）]: 紙詰まりを解除しても、ページは再印刷されません。この設定では、印刷パフォーマンスが向上することがあります。

メニュー項目	値	説明
LANGUAGE（言語）	*ENGLISH（英語） CZECH（チェコ語） DANISH（デンマーク語） DUTCH（オランダ語） FINNISH（フィンランド語） FRENCH（フランス語） GERMAN（ドイツ語） HUNGARIAN（ハンガリー語） ITALIAN（イタリア語） NORWEGIAN（ノルウェー語） POLISH（ポーランド語） PORTUGUESE（ポルトガル語） RUSSIAN（ロシア語） SPANISH（スペイン語） SWEDISH（スウェーデン語） TURKISH（トルコ語）	一覧したすべての言語が、有効な値として一覧されます。サポートされているすべての言語が表示されます。 目的の言語が表示されるまでスクロールして、言語を選択します。



http://www.hp.com/go/clj9500mfp

用紙の指定と使用

7

MFP で最良の印刷品質を実現するためには、次の 2 つの条件を整える必要があります。

- MFP が対応している上質な用紙を使用する
- その用紙に応じて適切なタイプを設定する

上質な用紙の指定

MFP は、カット紙 (再生紙を含む)、封筒、ラベル紙、OHP フィルム、カスタム サイズ用紙など、さまざまな用紙に対応しています。重量、きめの細かさ、水分含有量などの性質は、MFP の性能と印刷品質に影響する重要な要因です。

コントロール パネルやプリンタ ドライバを使ってタイプとサイズを指定して印刷すると、厚紙や光沢紙での印刷品質が大幅に向上します。ただし、設定内容が適切でないと、印刷品質は低くなります。ラベル紙や OHP フィルムなど、特殊な印刷用紙を使うときは、必ずタイプを設定してください。また、封筒を使うときは、必ずサイズを設定してください。

MFP では、本書のガイドラインを満たすさまざまな用紙や印刷用紙を使用することができます。このガイドラインに準拠しない用紙は、以下のような問題の原因となることがあります。

- 印刷品質が低い
- 紙詰まりや複数枚の給紙が発生する
- MFP の耐久性が低下し、修理が必要になる

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

いくつかの用紙タイプを対象に、テストを実施し、高品質な印刷を実現して MFP の設定にも対応することが証明されています。最良の印刷品質を実現するために採用した用紙タイプと設定方法については、「推奨される用紙 (175 ページ)」を参照してください。最適な結果を得るため、HP MFP において最適なパフォーマンスを実現するように設計された HP 製の用紙を使用してください。

本書のすべてのガイドラインに準拠している用紙でも、満足な結果が得られない場合もあります。原因として、不適切な取り扱い、許容範囲外の温度レベルや湿度レベル、HP が関与できないその他の変動要素などが挙げられます。

用紙を大量に購入する前に、その用紙がこのユーザーズ ガイド (「推奨される用紙 (175 ページ)」) で指定されている要件を満たしていることを確認してください。また、大量に購入する前に、何枚かのサンプルを使ってテストするようにしてください。詳細については、HP の Web サイト (www.hp.com/go/ljpaper) を参照してください。

HP 製以外の用紙

MFP では、仕様を満たすものであれば HP 製以外の用紙も使用できます (「対応する用紙のタイプ (174 ページ)」と「給紙および排紙に対応する用紙サイズ (184 ページ)」を参照)。仕様を満たす用紙であれば、HP 製以外の用紙であっても MFP を損傷することはありませんし、保証が無効になることもありません。

注意 HP の仕様に準拠しない用紙を使用すると、MFP の問題の原因となり、修理が必要になることがあります。この場合の修理は、HP の保証またはサービス契約の対象にはなりません。

用紙の注文

HP 製の用紙は、Web サイト www.hpshopping.com からご利用いただくか、お近くの HP サプライ品販売店でお買い求めください。

用紙のサイズとタイプの設定

給紙トレイに用紙をセットするときは、必ず、その用紙のサイズとタイプを設定するようにしてください (「トレイ 1 の用紙サイズを設定または変更するには (28 ページ)」を参照)。MFP では、用紙タイプに基づいて、最良の印刷品質を実現するために内部設定の自動調整が行われます。用紙のサイズやタイプの設定には、コントロール パネルかプリンタ ドライバを使用します。プリンタ ドライバの使用方法については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』の第 1 章を参照してください。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

標準サイズの用紙

標準サイズの用紙については、給紙トレイにはこれらの用紙向けにマークが標されています。コントロール パネルでは、[PAPER HANDLING (用紙処理)] メニューを開くと標準サイズの用紙が一覧されます。また、コントロール パネルやプリンタ ドライバを使って用紙サイズを設定するときのオプションとしても表示されます。給紙トレイににマークのない用紙や、コントロール パネルの [PAPER HANDLING (用紙処理)] メニューに表示されない用紙は、カスタム サイズの用紙です。標準サイズの用紙は、次のとおりです。

- レター
- レター-R
- 11 x 17
- エグゼクティブ
- リーガル
- A4
- ステートメント
- 8.5 x 13
- 12 x 18
- A4-R
- A3
- A5
- B4
- JIS B4
- B5
- RA3
- 8K
- 16K
- JIS B5
- JPostD
- Monarch 封筒 (トレイ 1 のみ)
- C5 封筒 (トレイ 1 のみ)
- DL 封筒 (トレイ 1 のみ)
- 商用 10 号封筒 (トレイ 1 のみ)
- B5 封筒 (トレイ 1 のみ)

注記

トレイ 2 やトレイ 3 で標準サイズの用紙を使う場合には、給紙トレイの CUSTOM/STANDARD スイッチを「STANDARD」にセットします。その他の用紙を使う場合には、スイッチを「CUSTOM」にセットします。

カスタム サイズの用紙

カスタム サイズの用紙については、給紙トレイにはマークはありません。コントロール パネルやプリンタ ドライバにも一覧されません。

注記

トレイ 1 でカスタム サイズの用紙を使う場合には、**[Tray 1 Size (トレイ 1 サイズ)]** メニューから [CUSTOM 〈 カスタム 〉] を選択します。

トレイ 2、トレイ 3、2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) でカスタム サイズの用紙を使う場合には、給紙トレイの CUSTOM/STANDARD スイッチを「CUSTOM」にセットします。

2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) は、カスタム サイズの用紙に対応していません。

カスタム サイズの用紙の寸法は、コントロール パネルから入力します。トレイ 1 を使用する場合、**[Tray 1 Size (トレイ 1 サイズ)]** メニューの [CUSTOM 〈 カスタム 〉] を選択すると、**[Custom (カスタム)]** メニューが表示されます。トレイ 2 またはトレイ 3 を使用する場合、給紙トレイの CUSTOM/STANDARD スイッチを「CUSTOM」にセットしてトレイを閉じると、**[Custom (カスタム)]** メニューが開きます。

用紙の X 寸法と Y 寸法を入力します。X 寸法は、トレイ前面から背面までの長さです。Y 寸法は、トレイ左面から右面までの長さです。

カスタム サイズの用紙設定の詳細については、「トレイ 2 およびトレイ 3 のカスタム サイズの用紙を設定または変更するには (29 ページ)」を参照してください。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

対応する用紙のタイプ

コントロール パネルやプリンタ ドライバから選択できる用紙タイプは、次のとおりです。

- 普通紙
- 印刷済用紙
- レターヘッド
- OHP フィルム
- 穴あき用紙
- ボンド紙
- 再生紙
- カラー
- 薄手 <75g/m^2
- 厚手 106-163g/m^2
- カードストック
- 光沢紙 75-105g/m^2
- 厚手光沢紙
- 他社製厚手光沢紙
- 高光沢イメージ
- 耐久紙

注記 MFP では、トナーを熱と圧力で用紙に溶着させます。カラー用紙または印刷済み用紙に使用されているインクが、MFP の溶着温度 (200°C (392°F) で 0.1 秒間) に耐えられることを確認してください。

推奨される用紙

次のページに、推奨される用紙タイプを一覧します。これらの用紙タイプは、以下の基準を満たしています。

- MFP でテストを実施した
- 高品質が確認された
- MFP の設定に対応する

推奨される用紙の注文

次のページの一覧表に、用紙サイズの後ろに括弧で囲んで製品番号を記載しています。用紙を注文するときには、この製品番号を使用してください。

HP 製の用紙は、Web サイト www.hpshopping.com からご利用いただくか、お近くの HP サプライ品販売店でお買い求めください。

注記 用紙タイプの設定は、トレイに用紙をセットするときはコントロール パネルで行います (「用紙のサイズとタイプの設定 (171 ページ)」を参照)。印刷ジョブを行うときはプリンタ ドライバで設定してください (「用紙のサイズとタイプの設定 (171 ページ)」を参照)。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

推奨される用紙

推奨される用紙	タイプ	特徴
HP 高光沢レーザー プリンタ用紙 レター-R (Q2419A) 11 x 17 (タブロイド) (Q2420A) A4 (Q2421A) A3 (Q2422A)	HEAVY（厚手） または HIGH GLOSS IMAGES（高光沢イメージ）	120g/m^2 (32 ポンドのボンド紙)、200 枚、両面高光沢コート、白色度 95 % 用途：パンフレット、カタログ、事業計画書、写真、イメージ
HP プレミアム表紙用紙 レター (Q2413A) A4 (Q2414A)	CARDSTOCK（カードストック） >164G/M2	200g/m^2 (75 ポンドのカバー紙)、100 枚、両面スーパースムース、つや消し仕上げ、白色度 96 % 用途：はがき、文書の表紙

推奨される用紙

推奨される用紙	タイプ	特徴
HP カラー レーザー プリンタ用紙 レター (HPL245R) 11 x 17 (タブロイド) (HPL2417)	PLAIN (普通紙)	90g/m^2 (24 ポンドのボンド紙)、500 枚、両面スムース、つや消し仕上げ、白色度 96 % 用途：ニュースレター、カラー文書
HP カラー レーザー プリンタ用紙 105g/m^2 (28 ポンドのボンド紙) レター (HPL285R) 11 x 17 (タブロイド) (HPL2817)	PLAIN (普通紙)	105g/m^2 (28 ポンドのボンド紙)、500 枚、両面スムース、つや消し仕上げ、白色度 96 % 用途：ニュースレター、カラー文書

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

推奨される用紙

推奨される用紙	タイプ	特徴
HP ソフト光沢レーザープリンタ用紙 レター (C4179A) A4 (C4179B) 注記 HP ソフト光沢レーザープリンタ用紙 は、HP Color LaserJet 9500 シリーズ プリンタおよび MFP 用に特別に設計されています。	HEAVY GLOSSY (厚手光沢紙)	120g/m^2 (32 ポンドのボンド紙)、200 枚、両面サテン仕上げコート、白色度 96 % 用途：小冊子、配布資料、営業パンフレット、提案書、カラーイメージ

推奨される用紙

推奨される用紙	タイプ	特徴
HP ソフト光沢レーザープリンタ用紙 105g/m^2 (28 ポンドのボンド紙) レター (Q2415A) 11 x 17 (タブロイド) (Q2416A) A4 (Q2417A) A3 (Q2418A)	GLOSSY (光沢紙) 75-105G/M2	105g/m^2 (28 ポンドのボンド紙)、500 枚、両面サテン仕上げコート、白色度 96 % 用途：小冊子、配布資料、営業パンフレット、提案書、カラーイメージ
HP プレミアム チョイス レーザージェット用紙 レター (HPU1132) 11 x 17 (タブロイド) (HPU1732) A4 (CHP410) A4 (アジア版) (Q2397A) A3 (アジア版) (Q2396A)	HEAVY (厚手) 106-163G/M2	120g/m^2 (32 ポンドのボンド紙)、500 枚 (11 x 17 の場合は 250 枚)、両面つや消し仕上げ、白色度 98 % 用途：提案書、図表

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

推奨される用紙

推奨される用紙	タイプ	特徴
HP プレミアム チョイス レーザージェット用紙 160g/m^2 (42 ポンドのボンド紙) A4 (ヨーロッパ版) (CHP413) A3 (ヨーロッパ版) (CHP421)	HEAVY (厚手) 106-163G/M2	160g/m^2 (42 ポンドのボンド紙)、250 枚、両面つや消し仕上げ、白色度 98 % 用途：提案書、図表
HP レーザージェット用紙 レター (HPJ1124) 穴あき用紙 (3 つ) (HPJ113H) リーガル (HPJ1424) 11 x 17 (タブロイド) (HPJ1724) A4 (ヨーロッパ版) (CHP310)	PLAIN (普通紙)	90g/m^2 (24 ポンドのボンド紙)、500 枚、両面つや消し仕上げ、白色度 96 % 用途：レポート、ユーザー マニュアル、レターヘッド、通信文書

推奨される用紙

推奨される用紙	タイプ	特徴
HP オフィス用再生紙 レター (HPE1120) 穴あき用紙 (3 つ) (HPE113H) リーガル (HPE1420)	PLAIN（普通紙）	75g/m^2 (20 ポンドのボンド紙)、500 枚、両面つや消し仕上げ、古紙配合率 30% (米国大統領命令 13101 に準拠)、白色度 87 % 用途：トレーニング マニュアル、オフィスでの一般的な印刷物
HP 耐久紙 レター (Q1298A) A4 (Q1298B)	TOUGH PAPER（耐久紙）	0.127 mm (5 mil) 厚さ (44 ポンドのボンド紙に相当)、50 枚、両面サテン仕上げコート、防水加工、裂け目防止加工 用途：掲示、地図、レストラン メニュー、防水加工文書、裂け目防止加工文書
HP カラー レーザージェット OHP フィルム レター (C2934A) A4 (C2936A)	TRANSPARENCY（OHP フィルム）	0.127 mm (5 mil) 厚さ、50 枚、両面プレミアム コート 用途：OHP フィルム

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

用紙タイプの判定

「174 ページ」に記載のない用紙については、以下の基準を使ってタイプを判断してください。

注記 用紙タイプの設定は、トレイに用紙をセットするときはコントロール パネルで行います。印刷ジョブを行うときはプリンタ ドライバで設定します。詳細については、「用紙のサイズとタイプの設定 (171 ページ)」を参照してください。

重量	仕上げ	タイプ
75g/m^2 (20 ポンドのボンド紙) 未満	すべて	LIGHT<75 G/M2 (薄手 < 75G/M2)
75g/m^2 (20 ポンドのボンド紙) ～ 105g/m^2 (28 ポンドのボンド紙)	つや消し	PLAIN (普通紙)
75g/m^2 (20 ポンドのボンド紙) ～ 105g/m^2 (28 ポンドのボンド紙)	光沢	GLOSSY 75-105 G/M2 (光沢紙 75-105G/M2)
106g/m^2 (29 ポンドのボンド紙) ～ 163g/m^2 (43 ポンドのボンド紙)	つや消し	HEAVY 106-163 G/M2 (厚手 106-163G/M2)

重量	仕上げ	タイプ
106g/m^2 (29 ポンドのボンド紙) ～ 163g/m^2 (43 ポンドのボンド紙)	光沢	HP HEAVY GLOSSY (HP 厚手光沢紙) (HP 製の用紙を使用する場合) NON HP HEAVY GLOSSY (他社製厚手光沢紙) (HP 製以外の用紙を使用する場合)
164g/m^2 (44 ポンドのボンド紙) 以上	すべて	CARDSTOCK>164 G/M2 (カードストック > 164G/M2)

重量の判定

用紙の重量は、用紙の梱包に記載されている表示を確認してください。重量の記載がない場合は、用紙の厚みとたわみを確認します。一般に、厚みがありたわみ性が低い用紙ほど、重量は重くなります。

つや消しと光沢

用紙の仕上げは、用紙の梱包に記載されている表示を確認してください。仕上げの記載がない場合は、用紙のなめらかさと光沢 (つや) を確認します。なめらかで光沢のある用紙の場合、光沢紙を使用すると最良の印刷品質を得ることができます (光沢紙のタイプは、重量に応じて選択します)。なめらかさや光沢のない用紙の場合は、つや消し仕上げであると考えられます。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

給紙および排紙に対応する用紙サイズ

注記 HP 製の留め具機能付きデバイスの詳細については、デバイスに同梱の『ユーザーズ リファレンス ガイド』を参照してください。

トレイまたはビン	容量	用紙	重量
ADF 給紙トレイ	最大 100 枚 (10 mm 高さ (レター /A4)、 5 mm 高さ (レジャー /A3)	• 標準サイズ： レター、レター-R、リーガル、エグゼクティブ、ステートメント、8.5 x 13、11 x 17、A3、A4、A4-R、A5、B5、B4、JPostD、8K、16K、 10 号封筒、Monarch 封筒、C5 封筒、DL 封筒、B5 封筒、カスタム	• 64 ～ 220 g/m^2 (17 ～ 58 ポンドのボンド紙)

トレイまたはビン	容量	用紙	重量
トレイ 1	最大 100 枚 (10mm 高さ、5mm 高さ (厚さが 200g/m^2 [53 ポンドのボンド紙] 以上の用紙)	• 標準サイズ： レター、リーガル、エグゼクティブ、A3、A4、A5、11 x 17、B5、B4、JPostD、8K、16K • カスタム サイズ： 最小：98 mm x 210 mm (3.9 インチ x 8.25 インチ) 最大：306 mm x 470 mm (12 インチ x 18.5 インチ)	• 64 ～ 220g/m^2 (17 ～ 58 ポンドのボンド紙) • 両面印刷： 64 ～ 200g/m^2 (17 ～ 53 ポンドのボンド紙)
	最大 10 枚 (封筒) (10 mm 高さ)	• 封筒のサイズ： 商用 10 号、C5、DL、Monarch、B5 • 最小カスタム サイズ： 98 mm x 210 mm (3.85 インチ x 8.25 インチ) • 最大カスタム サイズ： 254 mm x 330 mm (10 インチ x 13 インチ) **注記** 封筒とラベル紙への印刷は、必ず、トレイ 1 から行ってください。	

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

トレイまたはビン	容量	用紙	重量
トレイ 2 または トレイ 3	最大 500 枚	標準サイズ： レター、レター-R、リーガル、エグゼクティブ ステートメント、8.5 x 13、11 x 17、A3、A4、A4-R、A5、B5、B4、JPostD、8K、16K、10 号封筒、Monarch 封筒、C5 封筒、DL 封筒、B5 封筒、 カスタム	64 ～ 200g/m^2 (17 ～ 53 ポンドのボンド紙)
2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4)	最大 2,000 枚	標準サイズ： レターと A4 のみ	64 ～ 200g/m^2 (17 ～ 53 ポンドのボンド紙)
両面印刷ユニット	(該当なし)	• 標準サイズ： レター、リーガル、エグゼクティブ、A3、A4、A5、11 x 17、B4、B5、8K、16K • 封筒、ラベル紙、OHP フィルムの両面印刷には対応していません。	64 ～ 200g/m^2 (17 ～ 53 ポンドのボンド紙)

トレイまたはビン	容量	用紙	重量
3,000 枚収納スタッカ	最大 3,000 枚 (レターまたは A4) 最大 1,500 枚 (レジャーまたは A3)	• 下向きビンの標準サイズ： レター、リーガル、エグゼクティブ、A3、A4、A5、11 x 17、B5、B4、8K、16K 上向きビンの標準サイズ： レター、レター-R、リーガル、エグゼクティブ、ステートメント、8.5 x 13、11 x 17、A3、A4、A4-R、A5、B5、B4、JPostD、8K、16K、10 号封筒、Monarch 封筒、C5 封筒、DL 封筒、B5 封筒、カスタム • カスタム サイズ (上向き)： 長辺 210 ～ 470 mm (8.25 ～ 18.5 インチ)、 短辺 98 ～ 306 mm (3.9 ～ 12 インチ)	• 64 ～ 200g/m^2 (17 ～ 53 ポンドのボンド紙) (下向きビン) • 64 ～ 220g/m^2 (17 ～ 58 ポンドのボンド紙) (上向きビン)

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

トレイまたはビン	容量	用紙	重量
3,000 枚収納ステイプラ / スタッカ	最大 3,000 枚収納、最大 50 枚のステイプル留め	• 下向きビンの標準サイズ： レター、リーガル、エグゼクティブ、A3、A4、A5、11 x 17、B5、B4、8K、16K 上向きビンの標準サイズ： レター、レター-R、リーガル、エグゼクティブ、ステートメント、8.5 x 13、11 x 17、A3、A4、A4-R、A5、B5、B4、JPostD、8K、16K、10 号封筒、Monarch 封筒、C5 封筒、DL 封筒、B5 封筒、カスタム • カスタム サイズ (上向き)： 長辺 210 ～ 470 mm (8.25 ～ 18.5 インチ)、 短辺 98 ～ 306 mm (3.9 ～ 12 インチ)	• 64 ～ 200g/m^2 (17 ～ 53 ポンドのボンド紙) (下向きビン) • 64 ～ 220g/m^2 (17 ～ 58 ポンドのボンド紙) (上向きビン)

トレイまたはビン	容量	用紙	重量
マルチファンクションフィニッシャ	最大 1,000 枚収納、最大 50 枚のステイプル留め	• 下向きビンの標準サイズ： レター、リーガル、エグゼクティブ、A3、A4、A5、11 x 17、B5、B4、8K、16K 上向きビンの標準サイズ： レター、レター-R、リーガル、エグゼクティブ、ステートメント、8.5 x 13、11 x 17、A3、A4、A4-R、A5、B5、B4、JPostD、8K、16K、10 号封筒、Monarch 封筒、C5 封筒、DL 封筒、B5 封筒、カスタム • カスタム サイズ (上向き)： 長辺 210 ～ 470 mm (8.25 ～ 18.5 インチ)、 短辺 98 ～ 306 mm (3.9 ～ 12 インチ)	• 64 ～ 200g/m^2 (17 ～ 53 ポンドのボンド紙) (下向きビン) • 64 ～ 220g/m^2 (17 ～ 58 ポンドのボンド紙) (上向きビン)

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

トレイまたはビン	容量	用紙	重量
8 ビン メールボックス	最大 2,000 枚収納 (最大 250 枚 / ビン)	• 下向きビンの標準サイズ： レター、リーガル、エグゼクティブ、A3、A4、A5、B5、B4、レジャー 上向きビンの標準サイズ： レター、レター-R、リーガル、エグゼクティブ、ステートメント、8.5 x 13、11 x 17、A3、A4、A4-R、A5、B5、B4、JPostD、8K、16K、10 号封筒、Monarch 封筒、C5 封筒、DL 封筒、B5 封筒、カスタム • カスタム サイズ (上向き)： 最小：98 mm x 210 mm (3.9 インチ x 8.25 インチ) 最大：305 mm x 470 mm (12 インチ x 18.5 インチ)	• 64 ～ 135g/m^2 (17 ～ 36 ポンドのボンド紙) (下向きビン) • 64 ～ 216g/m^2 (17 ～ 58 ポンドのボンド紙) (上向きビン)

コピーと印刷の品質に関するトラブルシューティング (用紙関連)

次の表は、使った用紙に関連すると考えられるコピーと印刷の品質についてのトラブルシューティングを一覧したものです。ここに記載のないコピー品質や印刷品質のトラブルが発生した場合や、対処しても問題が解決されない場合は、「印刷品質のトラブルシューティング (291 ページ)」を参照してください。

コピーと印刷の品質に関するトラブルシューティング (用紙関連)

問題	推奨される対処方法
用紙の端が汚れる	薄くて粗い用紙やコート紙 (光沢紙または非常になめらかな紙) で生じることがあります。濃い色または薄い色で現れます。 • MFP が対応する用紙を使用します (「対応する用紙のタイプ (174 ページ)」を参照)。 • 用紙は、使用前は梱包を開封せずに保管します。 • 適切な印刷モードに設定していることを確認します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

コピーと印刷の品質に関するトラブルシューティング (用紙関連)

問題	推奨される対処方法
カラー印刷にむらがある	粗い用紙や不適切なタイプの用紙で生じることがあります。 • MFP が対応する用紙を使用します (「対応する用紙のタイプ (174 ページ)」を参照)。 • 適切な用紙タイプをセットしていることを確認します。確信の持てない場合は、より厚みのある用紙タイプを使用します (「用紙タイプの判定 (182 ページ)」を参照)。 • 対処しても問題が解決されない場合は、データの転送速度を調整してみてください。
トナーが認識されない	一般に、用紙に対するタイプの設定が不適切な場合に生じます。 • 適切な用紙タイプをセットしていることを確認します (「用紙タイプの判定 (182 ページ)」を参照)。 • MFP が対応する用紙を使用します (「対応する用紙のタイプ (174 ページ)」を参照)。 • 用紙は、使用前は梱包を開封せずに保管します。 • 対処しても問題が解決されない場合は、データの転送速度を調整してみてください。

コピーと印刷の品質に関するトラブルシューティング (用紙関連)

問題	推奨される対処方法
用紙が変形する	コート紙の用紙とコーティングの間に湿気が生じると、フューザを追加するときに用紙が膨張して変形することがあります。 • MFP が対応する用紙を使用します (「対応する用紙のタイプ (174 ページ)」を参照)。 • 用紙は、使用前は梱包を開封せずに保管します。
複数のページにわたって汚れが生じる	一般に、高密度領域に濃い色で現れます。非常に乾燥した状態で生じます。 • 適切な用紙タイプをセットしていることを確認します (「用紙タイプの判定 (182 ページ)」を参照)。 • 用紙は、使用前は梱包を開封せずに保管します。
トナーに気泡が生じる	用紙に対して、トナーが適切に付着していません。 • 適切な用紙タイプをセットしていることを確認します (「用紙タイプの判定 (182 ページ)」を参照)。 • MFP が対応する用紙を使用します (「対応する用紙のタイプ (174 ページ)」を参照)。 • 適切な印刷モードに設定していることを確認します。

コピーと印刷の品質に関するトラブルシューティング (用紙関連)

問題	推奨される対処方法
ページの裏面にトナーが付着する	次のような条件下で生じます。 • パンチ用紙を使用した場合で、トナーが穴から漏れています。ページに印刷した部分が、パンチ穴と重なっていないか確認してください。 • 使用している用紙について、不適切なカスタム サイズを設定しています。用紙のサイズを測り、コントロール パネルからサイズを設定してください (「用紙のサイズとタイプの設定 (171 ページ)」を参照)。 • 紙詰まりが生じた後、詰まった用紙に付着していたトナーが MFP の内部に残っています。ページを何枚か印刷して、余分なトナーを取り除いてください。
トナーのにじみが生じる	用紙に対するタイプの設定が不適切であること、または印刷済み用紙に使用されているインクがフューザの温度で溶解したことが原因です。 • 適切な用紙タイプをセットしていることを確認します (「用紙タイプの判定 (182 ページ)」を参照)。 • MFP が対応する用紙を使用します (「対応する用紙のタイプ (174 ページ)」を参照)。 • 印刷済み用紙に使用されている用紙とインクが、MFP の最高温度である 200°C (392°F) に耐性のあることを確認してください。

コピーと印刷の品質に関するトラブルシューティング (用紙関連)

問題	推奨される対処方法
過度にカールする	用紙に印刷した部分 (トナーが付着した部分) によって、用紙が丸みを帯びることがあります。数分が経過すると、用紙は徐々に元の状態に戻っていきます。湿度が高い場合には、元の状態に戻るまでに最大 60 分程度を要することがあります。60 分を過ぎても元の状態に戻らない場合は、MFP が対応する用紙を使用していることを確認してください (「対応する用紙のタイプ (174 ページ)」を参照)。
白線や小さな色抜けがある	設定されている用紙タイプよりも厚みのある用紙を使っています。または粗めの紙を使用しています。 • MFP が対応する用紙を使用します (「対応する用紙のタイプ (174 ページ)」を参照)。 • 適切な用紙タイプをセットしていることを確認します (「用紙タイプの判定 (182 ページ)」を参照)。 • 左側の排紙ビンに出力します。 • 対処しても問題が解決されない場合は、「印刷品質のトラブルシューティング (291 ページ)」を参照してください。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

コピーと印刷の品質に関するトラブルシューティング (用紙関連)

問題	推奨される対処方法
MFP から複数枚の用紙が給紙される	コート紙は、互いに付着することがあります。これは複数の用紙が給紙される原因になります。また、給紙トレイに収納能力以上の用紙をセットすると、同じような状況が生じる原因になります。 • MFP が対応する用紙を使用します (「対応する用紙のタイプ (174 ページ)」を参照)。 • 用紙は、使用前は梱包を開封せずに保管します。 • 給紙トレイに、最大収納枚数以下の用紙をセットしていることを確認します (「給紙トレイへの用紙のセット (10 ページ)」を参照)。 • 用紙を扇状に広げ 1 枚ずつ分けて、用紙どうしが重なるのを防ぎます。 • 1 つのトレイに、異なるサイズやタイプの用紙をセットしないようにします。
紙詰まり	用紙関連の詰まりは、MFP が対応していない用紙を使った場合や、使用前から損傷している用紙を使った場合に発生することがあります。 • MFP が対応する用紙を使用します (「対応する用紙のタイプ (174 ページ)」を参照)。 • 用紙は、使用前は梱包を開封せずに保管します。 • 折れ、しわ、破れ、損傷のある用紙はセットしないようにします。 • 詳細については、「紙詰まりの除去 (251 ページ)」を参照してください。

コピーと印刷の品質に関するトラブルシューティング (用紙関連)

問題	推奨される対処方法
エラー メッセージ	MFP のコントロール パネルにエラー メッセージが表示される場合、用紙の設定内容に矛盾があることを示します。 • 適切な用紙タイプをセットしていることを確認します (「用紙タイプの判定 (182 ページ)」を参照)。 • 給紙トレイの用紙ガイドが、用紙の束に軽く触れていることを確認します。カスタム サイズの用紙を使用するときは、用紙のサイズが正しく設定されていることをコントロール パネルから確認します (「用紙のサイズとタイプの設定 (171 ページ)」を参照)。 • エラー メッセージの詳細については、「MFP に表示されるメッセージの解釈 (289 ページ)」を参照してください。



http://www.hp.com/go/clj9500mfp

管理と保守

8

サプライ品の管理

サプライ品の残量レベルの確認

サプライ品の残量レベルを確認するには、MFP コントロール パネル、内蔵 Web サーバ、HP Web Jetadmin、または HP Toolbox を使用します。

MFP コントロール パネルの使用

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. [INFORMATION (情報)] を押します。
3. [PRINT SUPPLIES STATUS PAGE (サプライ品のステータス ページの印刷)] を押します。
4. サプライ品のステータス ページについては、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』を参照してください。

または

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

5 [ステータス] ボタンを押します。

注記 MFP のサプライ品の寿命については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』を参照してください。

サプライ品の注文

HP Color LaserJet 9500mfp のサプライ品は、HP から入手できます。製品番号と製品情報については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』を参照してください。

サプライ品は、www.hp.com/go/ljsupplies からオンラインで注文するか、以下のいずれかの方法で注文してください。

内蔵 Web サーバからの直接注文

ネットワーク環境で、内蔵 Web サーバから印刷サプライ品を直接注文するには、以下の手順に従います。

1 Web ブラウザで、MFP ホーム ページの IP アドレスを入力します。これにより、デバイスのステータス ページに移動します。

2 **[Other Links (その他のリンク)]** の **[Order Supplies (サプライ品の注文)]** をクリックします。新しいブラウザ ウィンドウが開き、プライバシー契約が表示されます。契約を承認すると、サプライ品の注文 Web サイトが表示されます。

3 注文する製品番号を選択し、画面の指示に従います。

インターネットを使ったサプライ品の注文機能による注文

インターネットを使ったサプライ品の注文 (IESO) 機能によりサプライ品を注文できます。次のうち、注文する場所から地理的に最も近い位置にある URL を使用してください。

- 北米：www.hp.com/sbso/product/supplies
- カナダ：www.hp.ca/catalog/supplies
- 欧州および中東：www.hp.com/go/supplies
- アジア太平洋：www.hp.com/paper

サプライ品の保管

プリント カートリッジの保管

プリント カートリッジを保管する場合、以下のガイドラインに従います。

- プリント カートリッジは、使用するまではパッケージから取り出さないようにしてください。
- カートリッジは、水平な場所に保管してください。

カートリッジは、温度範囲が 0 ～ 35°C (32 ～ 95°F)、相対湿度範囲が 35 ～ 85% の場所に保管します。

イメージ ドラムの保管

イメージ ドラムを保管する場合、以下のガイドラインに従います。

- イメージ ドラムは、使用するまではパッケージから取り出さないようにしてください。

注意 損傷を防ぐため、イメージ ドラムに、数分以上にわたって光が当たることのないようにします。

- イメージ ドラムは、水平な場所に保管してください。
- イメージ ドラムは、温度範囲が 0 ～ 35°C (32 ～ 95°F)、相対湿度範囲が 35 ～ 85% の乾燥した暗い場所に保管します。
- イメージ ドラムは、磁気に近づけないようにしてください。

イメージ転写キットの保管

- イメージ転写キットは、使用するまではパッケージから取り出さないようにしてください。ベルトに触れると、印刷品質が低下する場合があります。
- イメージ転写キットは、乾燥した涼しい場所に保管してください。温度や湿度が急激に変化すると、ベルトに結露が発生して印刷品質が低下する場合があります。
- イメージ転写キットは、水平な場所に保管してください。

サプライ品の交換とリサイクル

ここでは、サプライ品の使用、交換、リサイクルについて説明します。

プリント カートリッジ

HP 純正プリント カートリッジを使用する場合、カートリッジの使用期間全体にわたり以下のサプライ品情報を確認できます。

- カートリッジの残り寿命
- 残りの印刷可能ページ数 (概算)
- 印刷済みのページ数
- その他のサプライ品情報

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

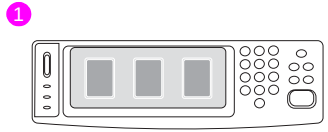
HP Color LaserJet 9500mfp 用の HP 純正プリント カートリッジには、以下の製品番号が割り当てられています。

プリント カートリッジ	製品番号
黒	C8550A
シアン	C8551A
イエロー	C8552A
マゼンタ	C8553A

プリント カートリッジの寿命は、ページ上のトナー付着領域の割合に直接比例します。各カラー プリント カートリッジの印刷枚数は、トナー付着領域が 5% の場合 (文字のみを含むページの場合) はレター サイズまたは A4 サイズの用紙で約 25,000 ページ、2.5% の場合 (一部に文字を含むページの場合) は約 50,000 ページ、10% の場合 (文字と写真を含むページの場合) は約 12,500 ページです。

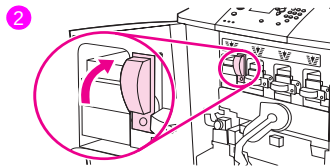
コントロール パネル ディスプレイに `[ORDER <COLOR> CARTRIDGE (< カラー > カートリッジを注文してください )]` というメッセージが最初に表示された時点で、交換用のプリント カートリッジを注文することをお勧めします。

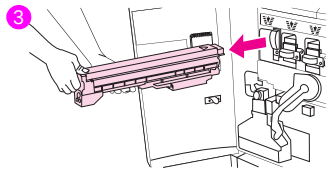
プリント カートリッジの交換



MFP では、イエロー、マゼンタ、シアン、黒という 4 色のプリント カートリッジを使用します。プリント カートリッジを取り付けるには、以下の手順に従います。ここでは、例としてイエローのプリント カートリッジを交換する場合を取り上げます。

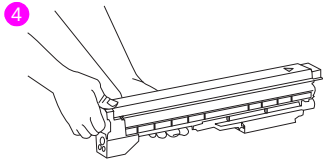
1. コントロール パネル ディスプレイに `[REPLACE <COLOR> CARTRIDGE <<COLOR> カートリッジを交換してください >]` というメッセージが表示されたら、プリント カートリッジを交換します。空のカートリッジに対応するゲージが点滅します。
2. MFP のフロント ドアを開き、交換する空のカートリッジに対応する青いレバーの位置を確認します。そのレバーを右に回します。
3. 空のプリント カートリッジを MFP から引き出します。

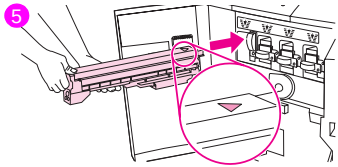


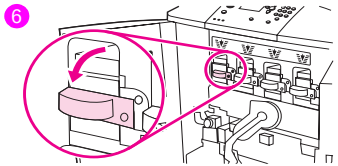


注記

トナーが衣類に付着した場合は、乾いた布で拭き取り、冷水で衣類を洗ってください。温水を使用すると、トナーが繊維に固着します。







4 新しいカートリッジをパッケージから取り出します。

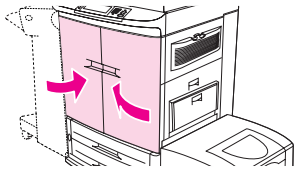
注記
カートリッジのシールをはがす必要はありません。

5 カートリッジ上側の矢印のラベルを、空スロット上の矢印のラベルにそろえます。カートリッジをカチッと音がするまでスロットに差し込みます。

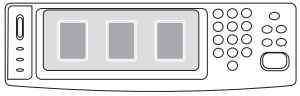
注記
カートリッジが正しく固定されない場合は、取り付けようとしているカートリッジの色とスロットの場所が合っているかどうかを確認してください。

6 青いレバーをカチッと音がするまで左に回します。

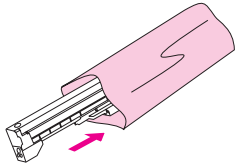
7



8



9



7 交換の必要な各カートリッジで手順 2 ～ 6 を繰り返し、フロント ドアを閉じます。

8 コントロール パネル ディスプレイに [READY (印字可)] と表示されることを確認します。交換したカートリッジのゲージには、カートリッジが新品であることが示されます。

9 使用済みのカートリッジを、新しいカートリッジの入っていたパッケージに入れて密封します。リサイクル情報については、新しいカートリッジに同梱のリサイクル ガイドを参照してください。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

イメージ ドラムの使用

各カラー イメージ ドラムの印刷枚数は、レター サイズまたは A4 サイズの用紙で約 40,000 ページです。HP の新しいイメージ ドラムを使用する場合、ドラムの使用期間全体にわたり以下のサプライ品情報を確認できます。

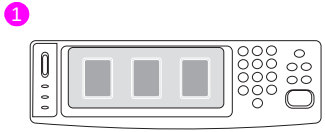
- イメージ ドラムの残り寿命
- 残りの印刷可能ページ数 (概算)
- 印刷済みのページ数
- その他のサプライ品情報

HP Color LaserJet 9500mfp 用の HP 純正イメージ ドラムには、以下の製品番号が割り当てられています。

イメージ ドラム	製品番号
黒	C8560A
シアン	C8561A
イエロー	C8562A
マゼンタ	C8563A

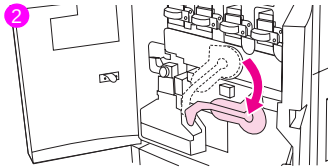
コントロール パネルに [ORDER <COLOR> DRUM (<COLOR> ドラムを注文してください)] というメッセージが最初に表示された時点で、交換用のイメージ ドラムを注文することをお勧めします。イメージ ドラムを注文するには、「サプライ品の注文 (200 ページ)」を参照してください。

イメージ ドラムの交換



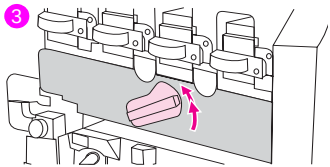
イメージ ドラムには、イエロー、マゼンタ、シアン、黒という 4 色があります。ドラムを取り付けるには、以下の手順に従います。ここでは、例としてイエローのドラムを交換する場合を取り上げます。

1 コントロール パネル ディスプレイに `[REPLACE <COLOR> DRUM (<COLOR> ドラムを交換してください )]` というメッセージが表示されたら、イメージ ドラムを交換します。使用済みのドラムに対応するゲージが点滅します。

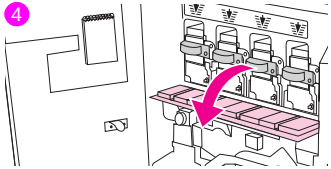


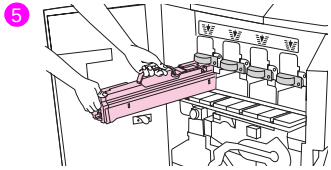
2 MFP のフロント ドアを開き、緑色の大きいレバーを下に倒します。

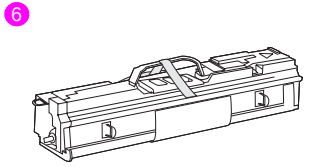
注記
この作業を始める前に、身に付けているアクセサリ類を外してください。身に付けたまま作業すると、MFP 内の部品に引っ掛かることがあります。



3 青いダイアルをカチッと音がするまで上に回し、イメージ ドラム ドアを開きます。







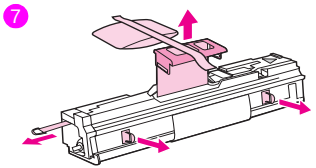
4 ドアを完全に開きます。

5 使用済みのドラムの一部を MFP から引き出します。ドラム上側の青いハンドルをつかみ、ドラムを取り出します。

注記
トナーが衣類や手に付着した場合は、冷水で洗い流してください。

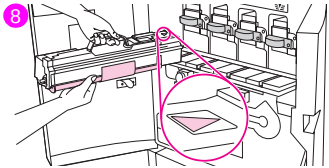
6 新しいドラムをパッケージから取り出し、パッケージは保存しておきます。

注意
ドラム ユニット下側の保護スライド カバーは、まだ外さないでください。また、カートリッジ内部の緑色の部品には手を触れないようにしてください。



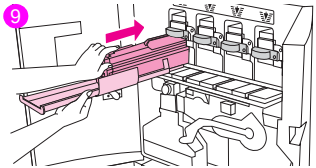
7 水平な場所にドラムを置きます。(1) ドラムの端にあるオレンジ色のリングを引っ張り、シールを抜き取ります。(2) ドラム上側のオレンジ色のテープを引っ張り、保護シートを取り除きます。(3) ドラムの側面にある 2 つのオレンジ色のリングを引っ張ります。

注記
ドラムは振らないでください。

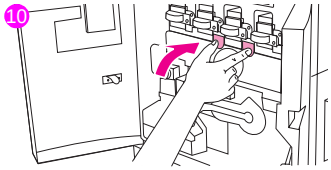


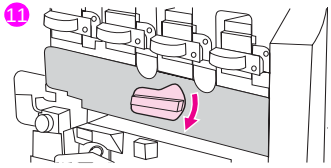
8 ドアの上にある 4 個の青いレバーが水平位置になっていることを確認します。新しいドラムの矢印の先を空のスロットにそろえます。ドラムの端をドアに載せます。

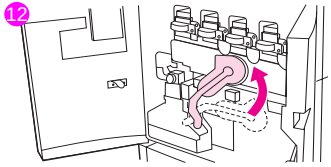
9 グレーの保護カバーを片方の手でしっかりと固定し、もう片方の手でドラムを MFP に押し込みます。



注記
ドラムがスロットに正しく固定されない場合は、取り付けようとしているドラムの色とスロットの場所が合っているかどうかを確認してください。



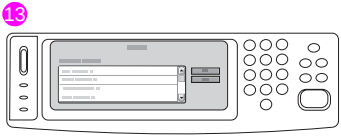




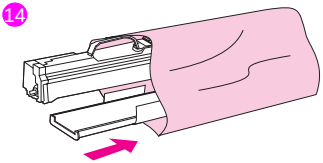
10 交換の必要な各ドラムで手順 5 ～ 9 を繰り返します。イメージ ドラム ドアの上側のタブをカチッと音がして固定されるまで押してドアを閉じます。

11 青いダイアルを止まるまで下に回します。

12 緑色の大きいレバーを引き上げます。フロント ドアを閉じます。



13 コントロール パネル ディスプレイに [READY (印字可)] と表示されます。交換したイメージ ドラムのゲージには、ドラムが新品であることが示されます。



14 使用済みのドラムと保護スライド カバーを、新しいドラムの入っていたパッケージに入れて密封します。リサイクル情報については、新しいドラムに同梱のリサイクル ガイドを参照してください。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

イメージ転写キット

イメージ転写キットには、転写ローラー、転写ベルト、フィルタ 1 個、トナー ワイプ 1 個、小さいトレイ ローラー 2 個、大きいトレイ ローラー 7 個が含まれます。

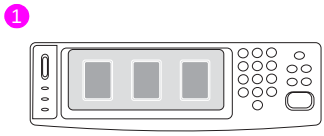
イメージ転写キットは、200,000 ページを印刷するごとに交換する必要があります。カウンタが 200,000 ページに到達すると、キットが交換されてコントロール パネルのカウントがリセットされるまで、MFP の印刷は停止します。

コントロール パネル ディスプレイに [ORDER TRANSFER KIT (転写キットを注文してください)] というメッセージが最初に表示された時点で、交換用のイメージ転写キットを注文することをお勧めします。

HP Color LaserJet 9500mfp 用のイメージ転写キットの製品番号は、C8555A です。

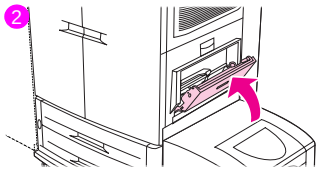
イメージ転写キットを注文するには、「サプライ品の注文 (200 ページ)」を参照してください。

イメージ転写キットの交換



イメージ転写キットを取り付けるには、以下の手順に従います。

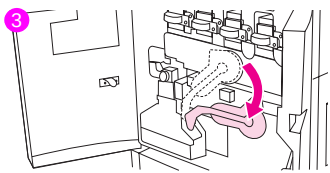
注記
MFP 内の部品に引っ掛かることがあるため、身に付けているアクセサリ類は外してください。

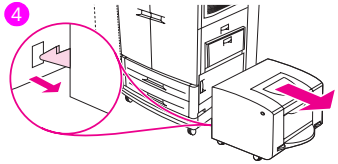


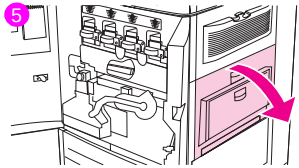
1 コントロール パネル ディスプレイに [REPLACE TRANSFER KIT 〈転写キットを交換してください〉] というメッセージが表示されたら、イメージ転写キットを交換します。

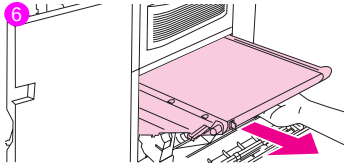
2 トレイ 1 が開いている場合、トレイにセットされているすべての用紙を取り除き、トレイを閉じます。

3 MFP のフロント ドアを開き、緑色の大きいレバーを下に倒します。









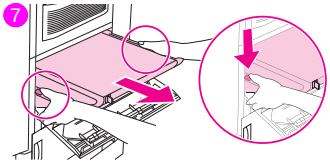
4 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) をスライドさせて、MFP から外します。

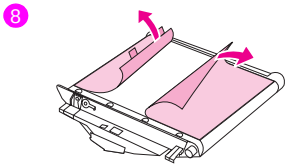
5 MFP 右側の上のドアを開きます。

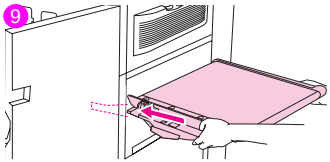
注記
転写ベルトにトナーが残っていることがあるため、ベルトを外す前にベルトの置き場所に紙を敷いておいてください。トナーが衣類に付着した場合は、乾いた布で拭き取り、冷水で衣類を洗ってください。温水を使用すると、トナーが繊維に固着します。

6 ベルト下側の青いハンドルを、ベルトが止まるまで引っ張ります。

警告
転写ベルトは重いので注意してください。





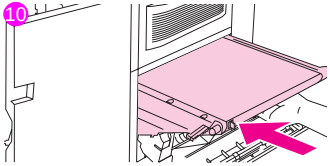


7 ベルトの両側をつかみ、各側面にある青いレバーを押して MFP からベルトを引き出します。

8 新しいベルトをパッケージから取り出し、パッケージは保存しておきます。転写ベルトの保護フィルムを静かにはがします。

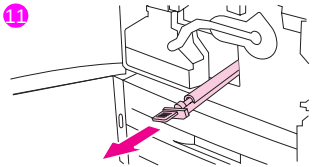
注意
新しい転写ベルトの光沢のある黒色面には触れないでください。

9 ベルトの両側をつかみ、ベルトの青い矢印を MFP 内部の青い矢印にそろえます。ベルトを半分だけ MFP に挿入します。



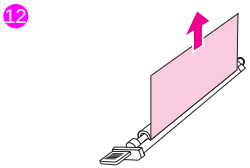
10 片方の手をベルトの手前中央に置き、ベルトをスライドさせて MFP 全体を押し込みます。右側ドアを閉じます。

注記
右側ドアが閉じない場合は、転写ベルトが MFP に完全に押し込まれていることを確認してください。

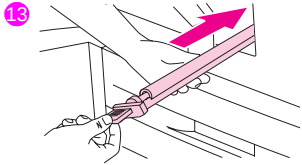


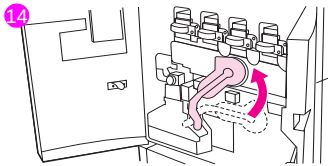
11 MFP の正面で、緑色の大きいレバーのすぐ下にある青い転写ローラーハンドルを見つけます。そのハンドルをつかみ、使用済みのローラーを MFP から引き出します。

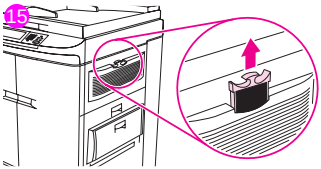
12 新しいローラーをパッケージから取り出し、清潔で平らな場所に置きます。保護シートを慎重に取り外します。



注意
黒い発泡ローラーには触れないでください。また、ローラーを MFP に挿入するときにベルトの底面をこすらないように注意してください。





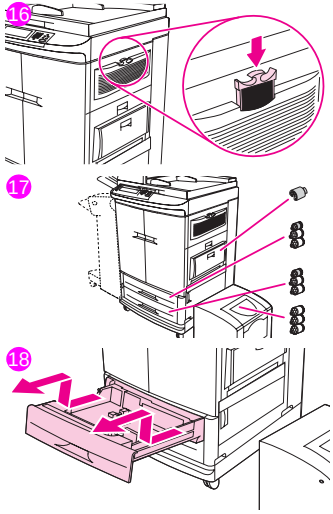


13 片方の手でローラーの底面を支え、45× 傾けてローラーをスロットに合わせます。完全に止まるまでローラーをスロットに差し込みます。

14 緑色のレバーを引き上げます。すべてのドアを閉じます。

注記
レバーがうまく動かない場合は、転写ローラーと転写ベルトが MFP に完全に押し込まれていることを確認してください。

15 MFP の右側で、青いタブを引っ張り、古いフィルタをスロットから取り外します。



16 新しいフィルタをパッケージから取り出し、スロットに挿入します。

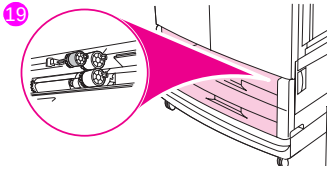
注記
フィルタを付けない状態で印刷をしないようにしてください。

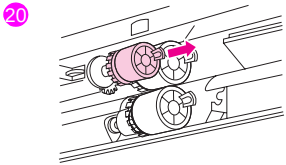
17 新しいトレイ ローラーをパッケージから取り出します。ローラーのゴムの表面には触れないようにしてください。

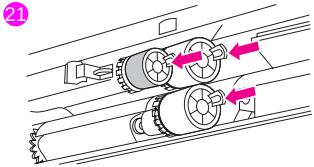
注記
すべてのトレイ ローラーを一度に交換します。

18 MFP からトレイ 2 を止まるところまで引き出します。トレイ 2 を少し持ち上げて引き抜きます。次に、トレイ 3 を取り外します。各トレイがどこにあったかを覚えておきます。

注記
トレイの左背面にある青いスイッチは動かさないようにしてください。トレイから用紙を取り出す必要はありません。





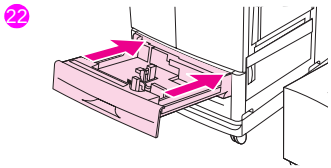


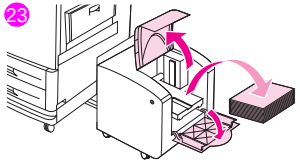
19 トレイ 3 で、開口部の右内側にある小さいローラー 1 個と大きいローラー 2 個の位置を確認します。

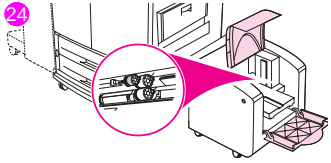
20 各ローラーの端にあるプラスチックのタブをつまみ、ローラーを取り外します。3 個のローラーすべてを外します。

21 新しいローラーの両側をしっかりと押さえ、対応するロッドにカチッと音がするまで差し込みます。手順 18 ～ 20 を使用してトレイ 2 のローラーも交換します。

注記
2 つのトレイで、小さいローラーが左側にあることを確認します。



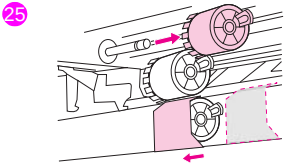


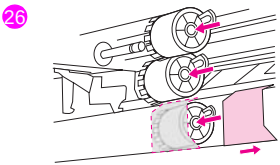


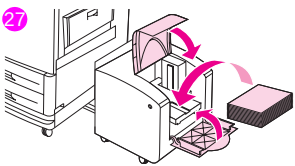
22 トレイ 2 と MFP 内側のレールを合わせ、トレイを MFP に押し込みます。
トレイ 3 と MFP 内側のレールを合わせ、トレイを MFP に押し込みます。

23 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) からすべての用紙を取り除きます。

24 開口部の内側にある 3 個の大きいローラーの位置を確認します。



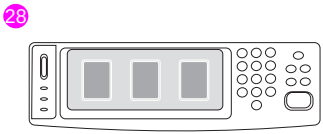


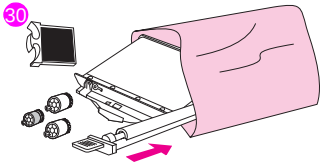


25 左側のローラーの取り外しタブをつまみ、ロッドから取り外します。次に、その右側のローラーを取り外します。青いカバーを左にスライドさせ、一番下のローラーを取り外します。

26 一番下の新しいローラーの両側をしっかりと押さえ、カチッと音がするまでロッドに差し込みます。右側のローラーを取り付け、左側のローラーを取り付けます。青いカバーを右にスライドさせます。

27 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) に用紙を戻し、用紙がガイドにしっかりと収まっていることを確認してから、トレイを MFP に向けて動かします。トレイの 2 個のプラスチック フックが MFP 台にロックされます。





28 コントロール パネル ディスプレイに [NEW TRANSFER KIT (新しい転写キット)] というメッセージが表示されたら、上向き矢印または下向き矢印を使ってスクロールし、[YES (はい)] を選択して [OK] を押します。キットのカウントは、自動的にリセットされます。

29 [NEW TRANSFER KIT (新しい転写キット)] というメッセージが表示されない場合は、[メニュー] ボタンを押してメニューを表示します。上向き矢印と下向き矢印を使ってスクロールし、[CONFIGURE DEVICE (デバイスの設定)]、[RESETS (リセット)]、[RESET SUPPLIES (サプライ品のリセット)] の順に選択します。スクロールして [NEW TRANSFER KIT (新しい転写キット)] を選択し、[YES (はい)] を押してカウントをリセットします。

注記
[NO (いいえ)] を選択するか、何も操作しないと、キットを交換して [YES (はい)] を選択するまで、MFP はオフラインのままとなります。

30 使用済みの部品を、新しいキットの入っていたパッケージに入れます。リサイクル情報については、新しいイメージ転写キットに同梱のリサイクル ガイドを参照してください。

イメージ クリーニング キット

イメージ クリーニング キットには、転写クリーナ 1 個、フィルタ 1 個、トナー ワイプ 1 個、トナー回収ボトル 1 個が含まれます。

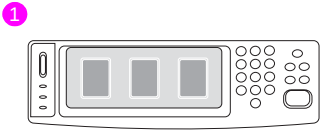
イメージ クリーニング キット全体は、通常、50,000 ページを印刷するごとに交換します。ただし、印刷時のトナー付着領域が、ページごとに各色が 5% を大幅に上回るか下回る場合、状況によっては 50,000 ページに到達するより早く交換する必要があります。

コントロール パネル ディスプレイに `[ORDER CLEANING KIT ( クリーニング キットを注文してください )]` というメッセージが最初に表示された時点で、交換用のクリーニング キットを注文することをお勧めします。イメージ クリーニング キットを最大限に利用するには、コントロール パネル ディスプレイに `[REPLACE CLEANING KIT ( クリーニング キットを交換してください )]` というメッセージが表示されるまでは、キットを交換しないようにしてください。

HP Color LaserJet 9500mfp 用のクリーニング キットの製品番号は、C8554A です。

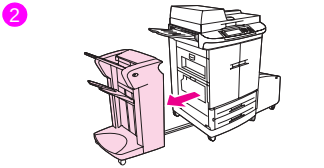
イメージ クリーニング キットを注文するには、「サプライ品の注文 (200 ページ)」を参照してください。

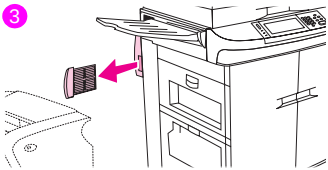
イメージ クリーニング キットの交換

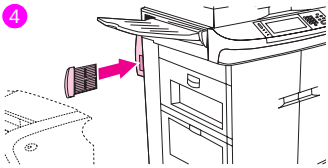


イメージ クリーニング キットを取り付けるには、以下の手順に従います。

1. コントロール パネル ディスプレイに [REPLACE CLEANING KIT (クリーニング キットを交換してください)] というメッセージが表示されたら、クリーニング キットを交換します。使用済みのクリーニング キットのゲージが点滅します。
2. 新しい部品をパッケージから取り出し、パッケージは保存しておきます。留め具機能付きデバイスが MFP の左側にある場合、MFP から取り外します。
3. MFP の左背面の端にある青いタブを使用して、スロットからフィルタを引き出します。

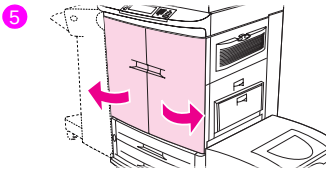






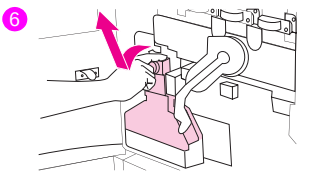
4 新しいフィルタをパッケージから取り出し、スロットに挿入します。

注記
フィルタを付けない状態で印刷をしないようにしてください。

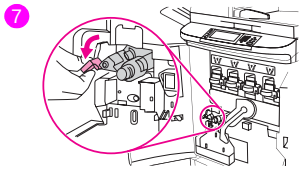


5 フロント ドアを開きます。

6 トナー回収ボトルの透明な上部をつかみ、ボトルを手前に引っ張って持ち上げ、ホルダから外します。ボトルは、リサイクル用に別の場所に保管します。



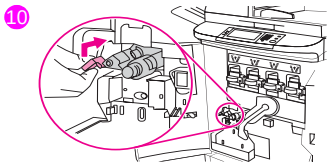
注記
トナーが衣類や手に付着した場合は、冷水で洗い流してください。



7 青い転写クリーナ ハンドルを左に回して下げます。

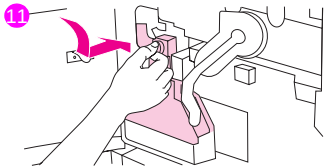
8 青いハンドルを使用してクリーナを MFP から引き出します。

9 新しいクリーナの上側のガイドを MFP の刻み目に合わせます。緑色のレバーが上向きになっていることを確認してください。カチッと音がして止まるまでクリーナを MFP にしっかりと差し込みます。



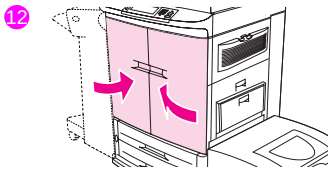
10 青い転写クリーナ ハンドルを上に回し、カチッと音がするまで右に押し込みます。

注記
ハンドルが固定されない場合は、転写クリーナが完全に差し込まれていることを確認してください。



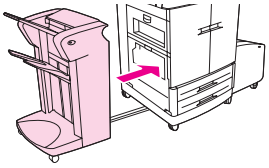
11 新しいトナー回収ボトルを取り付け、カチッと音がするまで MFP に押し込みます。

注記
ボトルが固定されない場合は、青い転写クリーナ ハンドルと緑色のレバーが上向きになっていることを確認してください。

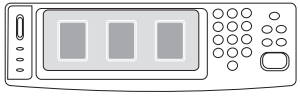


12 フロント ドアを閉じます。

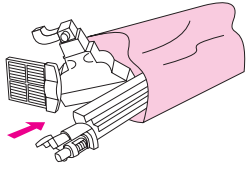
13



14



15



13 留め具機能付きデバイスを元の位置に戻します。

14 次のいずれかの手順を行います。
コントロール パネル ディスプレイに [NEW CLEANING KIT (新しいクリーニング キット)] というメッセージが表示されたら、上向き矢印または下向き矢印を使ってスクロールし、[YES (はい)] を選択して [OK] を押します。キットのカウントは、自動的にリセットされます。

[NEW CLEANING KIT (新しいクリーニング キット)] というメッセージが表示されない場合は、[メニュー] ボタンを押します。上向き矢印と下向き矢印を使ってスクロールし、[CONFIGURE DEVICE (デバイスの設定)]、[RESETS (リセット)]、[RESET SUPPLIES (サプライ品のリセット)] の順に選択します。スクロールして [NEW CLEANING KIT (新しいクリーニング キット)] を選択し、[YES (はい)] を押してカウントをリセットします。

注記
クリーニング キットが寿命に達したときに、[NO (いいえ)] を選択するか、何も操作しないと、キットを交換して [YES (はい)] を選択するまで、MFP はオフラインのままとなります。

15 使用済みのキットを、新しいキットの入っていたパッケージに入れて密封します。リサイクル情報については、新しいイメージ クリーニング キットに同梱のリサイクル ガイドを参照してください。

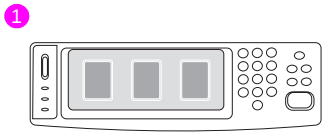
イメージ フューザ キット

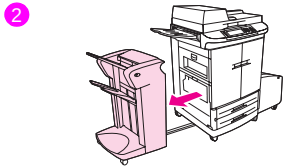
イメージ フューザ キットは、100,000 ページを印刷するごとに交換する必要があります。カウンタが 100,000 ページに到達すると、キットが交換されてコントロール パネルのカウントがリセットされるまで、MFP の印刷は停止します。

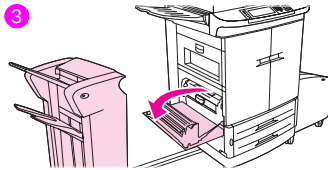
コントロール パネル ディスプレイに [ORDER FUSER KIT (フューザ キットを注文してください)] というメッセージが最初に表示された時点で、交換用のイメージ フューザ キットを注文することをお勧めします。

HP Color LaserJet 9500mfp 用のイメージ フューザ キットの製品番号は、C8556A です。

イメージ フューザ キットを注文するには、「サプライ品の注文 (200 ページ)」を参照してください。



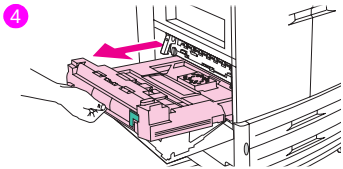




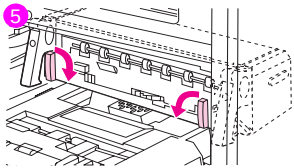
イメージ フューザ キットの交換

イメージ フューザ キットには、フューザ 1 個が含まれます。

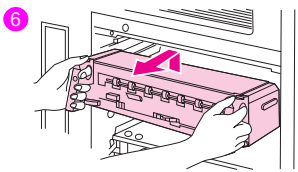
1. コントロール パネル ディスプレイに [REPLACE FUSER KIT (フューザ キットを交換してください)] というメッセージが表示されたら、イメージ フューザを交換します。
2. 留め具機能付きデバイスが MFP の左側にある場合、MFP から取り外します。
3. MFP 左側の下のドアを開きます。



4 両面印刷ユニットが取り付けられている場合、緑色の両面印刷ユニット取り外しタブを押し下げます。中央のハンドルをつかみ、止まるまで両面印刷ユニットを引き出します。両面印刷ユニットを完全に取り外す必要はありません。



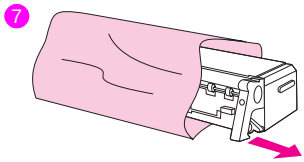
5 2 個の青いフューザ レバーを内側に水平になるまで回します。レバーを放すときに指を挟まないように注意してください。

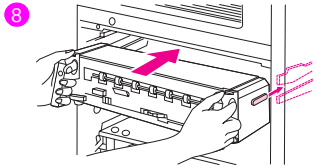


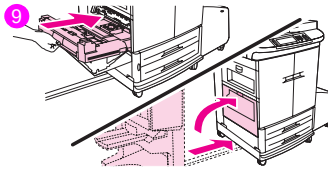
6 黒いフューザ ハンドルを使用してフューザを MFP から部分的に引き出します。ハンドルをしっかりとつかみ、止まるまでフューザを引き出します。次にフューザを持ち上げて MFP から取り外します。

警告

フューザは重いので注意してください。また、高温になっている場合があります。







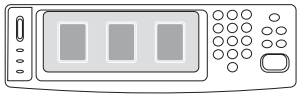
7 新しいフューザをパッケージから取り出します。

8 フューザを MFP 内側の黒いガイド レールに合わせます。フューザの両側を押さえながら、MFP に完全に押し込みます。青いレバーをカチッと音がするまで外側に回します。

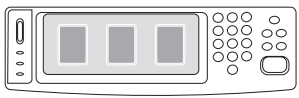
9 両面印刷ユニットをカチッと音がするまで MFP に差し込みます。左側ドアを閉じます。取り外していた留め具機能付きデバイスを元の位置に戻します。

注記
ドアが閉じない場合は、青いフューザ レバーが垂直になっていることを確認してください。

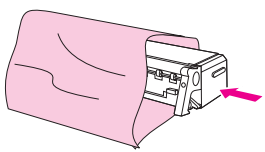
10



11



12



10 コントロール パネル ディスプレイに [NEW FUSER KIT (新しいフューザ キット)] というメッセージが表示されたら、上向き矢印または下向き矢印を使ってスクロールし、[YES (はい)] を選択して [OK] を押します。キットのカウントは、自動的にリセットされます。

11 [NEW FUSER KIT (新しいフューザ キット)] というメッセージが表示されない場合は、[メニュー] ボタンを押してメニューを表示します。上向き矢印と下向き矢印を使ってスクロールし、[CONFIGURE DEVICE (デバイスの設定)]、[RESETS (リセット)]、[RESET SUPPLIES (サプライ品のリセット)] の順に選択します。スクロールして [NEW FUSER KIT (新しいフューザ キット)] を選択し、[YES (はい)] を押してカウントをリセットします。

注記
[NO (いいえ)] を選択するか、何も操作しないと、キットを交換して [YES (はい)] を選択するまで、MFP はオフラインのままとなります。

12 使用済みのフューザを、新しいフューザの入っていたパッケージに入れます。リサイクル情報については、新しいフューザ キットに同梱のリサイクル ガイドを参照してください。

クリーニングの手順

印刷品質とコピー品質の問題のいくつかは、MFP の部品を交換しなくても、特定の MFP コンポーネントをクリーニングすることで解決します。

ADF のクリーニング

ADF のクリーニングは、ADF の汚れが目立つ場合や、縞が発生するなどコピー品質の低下が認められる場合にのみ行います。

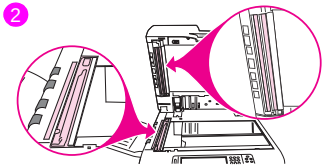
ガラスをクリーニングするには

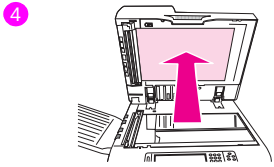
- ガラスのクリーニングは、汚れが目立つ場合や、縞が発生するなどコピー品質の低下が認められる場合にのみ行います。
- ガラス面を、糸くずの出ない清潔で湿った布で軽く拭きます。布は、アンモニア系のクリーニング液で湿らせます。

注意 ガラスに直接液体をかけることやスプレーすることは避けてください。

ガラス面は強く押さないでください。ガラスが割れる可能性があります。







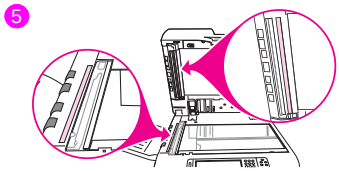
ADF 給紙システムをクリーニングするには

1 ADF を開きます。

2 上と下にある ADF 帯状ガラスの位置を確認します。

3 帯状ガラスを、糸くずの出ない清潔で湿った布で軽く拭きます。布は、アンモニア系のクリーニング液で湿らせます。

4 ADF の白いビニール製の裏板を確認します。

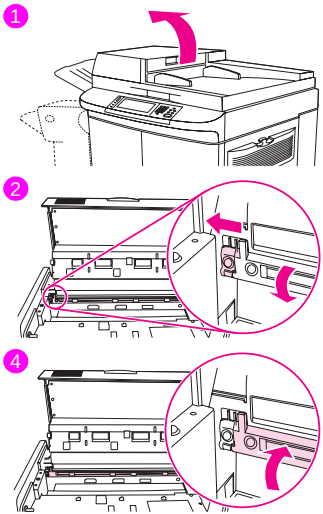




5 白いビニール製の帯状キャリブレーションを確認します。

6 ADF の裏板と帯状キャリブレーションを、糸くずの出ない清潔で湿った布で拭きます。布は、アンモニア系のクリーニング液で湿らせます。

7 ADF を閉じます。



上面の ADF 帯状ガラスをクリーニングするには

コピー品質が改善しない場合は、状況により上面の ADF 帯状ガラスをクリーニングする必要があります。

注意
この部分のクリーニングは、コピー時に縞が発生するなどの問題が認められる場合や、帯状ガラス内部にほこりが付着している場合にのみ行います。この部分を必要以上にクリーニングすると、MFP 内部にほこりが入り込む可能性があります。

1 ADF カバーを開きます。

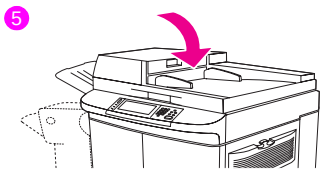
2 上面の ADF 帯状ガラスを取り外すラッチの位置を確認します。ラッチを左に押して下げ、帯状ガラスの内側が見えるようにします。

3 ガラスを糸くずの出ない乾いた布で軽く拭きます。

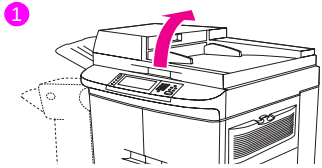
注意
この部分には、乾いた布を使用してください。溶剤、クリーニング液、水、圧縮空気などは使用しないでください。使用すると、MFP に深刻な損傷を与える可能性があります。

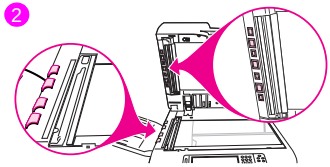
4 ラッチを引き上げ、帯状ガラスを元の位置に戻します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp



5 ADF カバーを閉じます。







ADF ローラーをクリーニングするには

給紙が不適切な場合や、ADF からの排紙時に原稿が汚れる場合は、ADF のローラーをクリーニングする必要があります。

1 ADF を開きます。

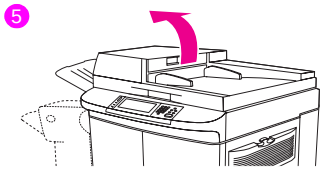
注意
ローラーのクリーニングは、不適切な給紙や原稿の汚れが発生し、ローラーにほこりが付着している場合にのみ行います。ローラーを必要以上にクリーニングすると、MFP 内部にほこりが入り込む可能性があります。

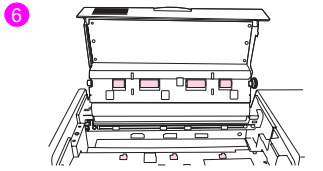
2 帯状ガラスの近くにあるローラーの位置を確認します。

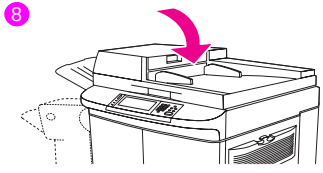
3 ローラーを、水で湿らせた糸くずの出ない清潔な布で軽く拭きます。

注意
ローラーに直接水をかけることは避けてください。直接水をかけると、MFP に損傷を与える可能性があります。

4 ADF を閉じます。







5 ADF カバーを開きます。

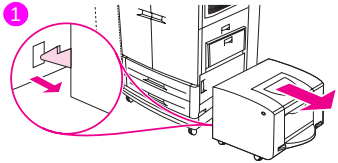
6 ローラーの位置を確認します。

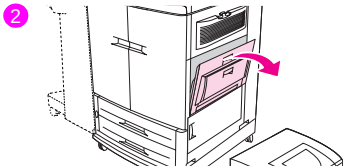
7 ローラーを、水で湿らせた糸くずの出ない清潔な布で拭きます。

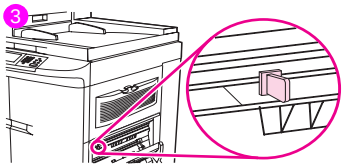
注意
ローラーに直接水をかけることは避けてください。直接水をかけると、MFP に損傷を与える可能性があります。

8 ADF カバーを閉じます。

9 給紙ガイドを閉じ、外側表面を布で拭きます。



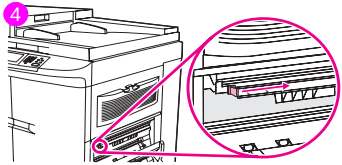


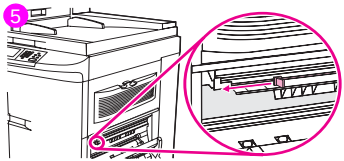


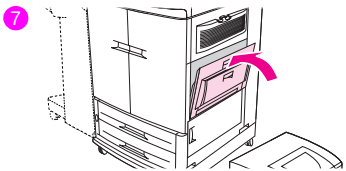
ポスト チャージャのクリーニング

印刷したページのハーフトーン領域に薄い縞が見られる場合、転写ベルトのポスト チャージャをクリーニングします。

1. 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) をスライドさせて、MFP から外します。
2. 右側上部ドアを開きます。
3. イメージ転写ベルトの左正面にあるポスト チャージャ クリーナの青いハンドルを確認します。





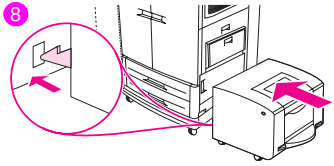


4 ポスト チャージャ クリーナを止まるまで静かに右にスライドさせます。スプリングが圧縮されます。

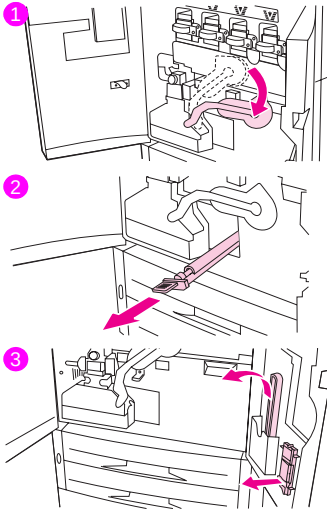
5 クリーナを左にスライドさせて元の位置に戻します。

6 手順 3 と 4 を繰り返してもう一度ポスト チャージャをクリーニングします。

7 右側上部ドアを閉じます。ドアが閉じない場合は、ポスト チャージャ クリーナの青いハンドルがイメージ転写ベルトの左端にあることを確認してください。



8 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) をスライドさせて MFP の方向に押します。トレイの 2 個のプラスチック フックが MFP 台にロックされます。



フューザ インプットのクリーニング

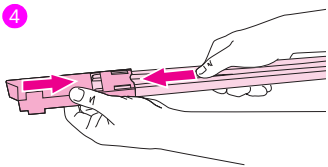
トナーと用紙の破片がフューザ インプットにたまり、印刷品質に影響を及ぼすことがあります。フューザ インプットをクリーニングするには、以下の手順に従います。

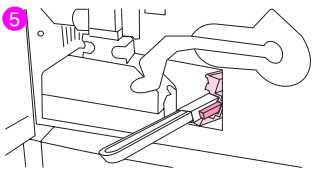
1 MFP のフロント ドアを開き、緑色の大きいレバーを下に倒します。

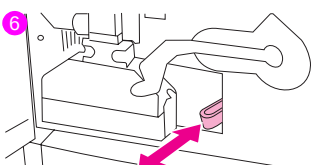
2 MFP の正面で、緑色の大きいレバーのすぐ下にある青い転写ローラー ハンドルを見つけます。そのハンドルをつかみ、ローラーを MFP から引き出します。清潔で平らな場所にローラーを置きます。

注意
黒い発泡ローラーには触れないでください。また、ローラーを MFP から取り出すときにイメージ転写ベルトの底面をこすらないように注意してください。

3 右側のフロント ドア内にある緑色のトングと青いブラシを取り出します。







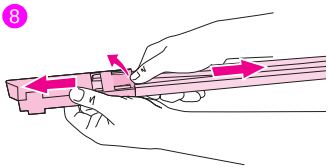
4 カチッと音がするまでブラシの開いた端をトング上でスライドさせます。

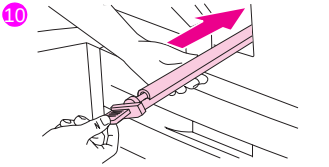
5 ブラシが 45° の角度になるようにトングを支え、ブラシを転写ローラー スロットに合わせます。ブラシをスロットに挿入します。

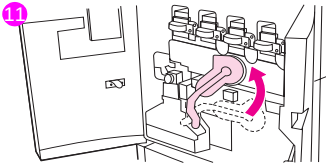
6 止まるまでブラシを転写ローラー スロットに挿入したら、今度はブラシをスロットぎりぎりまで手前に引き出します。

注意
ブラシを上や横に引っ張らないようにしてください。ブラシは MFP に対してまっすぐに押し入れ、引き出します。

7 手順 6 を 3 回繰り返したら、ブラシを MFP から取り出します。







8 ブラシの裏面にある留め具を持ち上げ、ブラシをトングから引き出して外します。

9 トングとブラシを右側のドア内に戻します。

10 片方の手で転写ローラーの底面を支え、45° 傾けてローラーをスロットに合わせます。止まるまでローラーをスロットに差し込みます。

注意
黒い発泡ローラーには触れないでください。また、ローラーを MFP に挿入するときにイメージ転写ベルトの底面をこすらないように注意してください。

11 緑色のレバーを引き上げ、フロント ドアを閉じます。

注記
レバーがうまく動かない場合は、転写ローラーが MFP に完全に押し込まれていることを確認してください。「MFP のハードウェアの問題 (303 ページ)」も参照してください。

MFP の再配置

MFP の再配置については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』を参照してください。



http://www.hp.com/go/clj9500mfp

トラブルシューティング

9

紙詰まりの除去

MFP のコントロール パネルに紙詰まりのメッセージが表示されたときは、ディスプレイに示された場所を参考に、紙詰まりの場所を確認します。紙詰まりメッセージで示された場所とは別の場所についても確認が必要になることがあります。

詰まった用紙を除去すると、MFP でウォーム アップが行われ、残りのすべてのページが自動的に除去されます。除去できないページがあった場合は、MFP のコントロール パネルのディスプレイに、残りのページを除去する場所が示されます。

場所を特定したら、紙詰まりを解決する手順に進みます。詰まった用紙を取り除くときは、破れないように十分注意してください。用紙の切れ端が MFP に残ると、後で紙詰まりの原因になります。紙詰まりの問題が繰り返し発生する場合は、「紙詰まりが繰り返し発生する場合の対処方法 (287 ページ)」を参照してください。

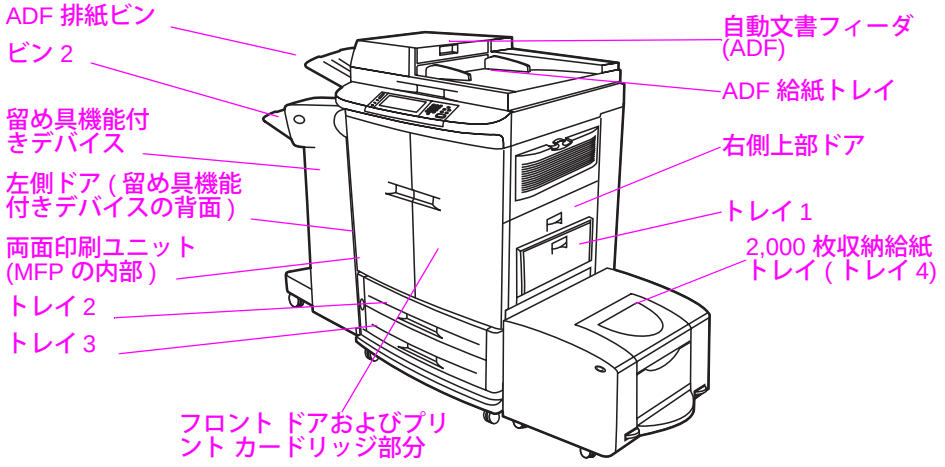
注記

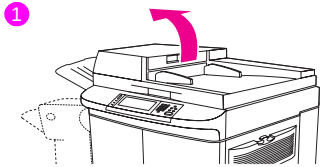
紙詰まりがフューザ領域 (左側ドアの後ろの下の部分を含む) で発生したときは、クリーニング ページが自動的に送り出されて用紙経路を通過し、こぼれたトナーが除去されます。

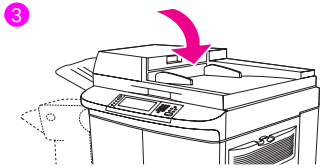
紙詰まりが発生した後に、こぼれたトナーが MFP の内部に残り、印刷品質が低下する場合があります。ページを何枚か印刷すると、トナーの汚れはなくなります。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

紙詰まりを除去する場所





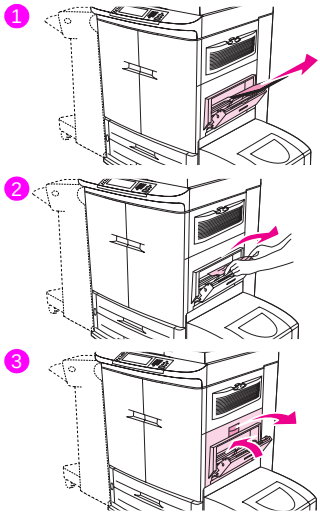


自動文書フィーダ (ADF) カバー内部での紙詰まり

1 ADF カバーを開きます。

2 この部分に詰まっている用紙を取り除きます。用紙の切れ端をすべて取り除いたことを確認します。

3 ADF カバーを閉じます。



紙詰まりの除去 (給紙トレイ部分)

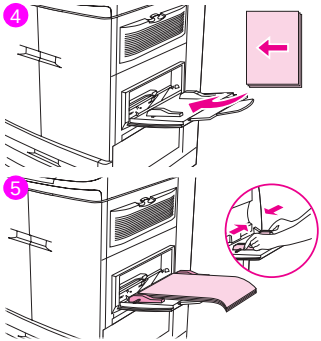
トレイ 1 での紙詰まり

トレイ 1 での紙詰まりを除去するには、以下の手順に従います。

1 トレイ 1 にセットされている用紙をすべて取り出します。

2 詰まっている用紙が見える場合は、その用紙を引っ張って MFP から取り除きます。用紙の切れ端をすべて取り除いたことを確認します。

3 右側上部ドアを開閉して、MFP をリセットします。

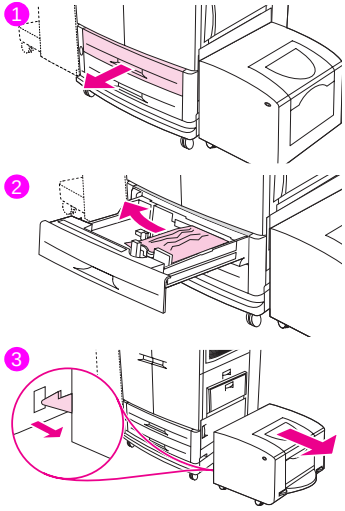


4 トレイ 1 に用紙をセットします。

5 用紙ガイドをスライドさせてトレイのマークの位置に合わせ、適切なサイズに調整します (詳細については、「トレイ 1 に用紙をセットするには (11 ページ)」を参照してください)。

トレイ 1 から給紙するときに問題が発生する場合は、使用している用紙について、サポートされている用紙の仕様に適合していること、状態が良好であること、トレイに正しくセットされていることを確認します。問題が解決しない場合は、トレイ 2 またはトレイ 3 から給紙します。

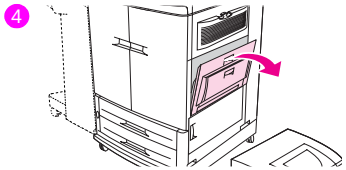
http://www.hp.com/go/clj9500mfp

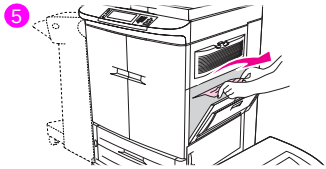


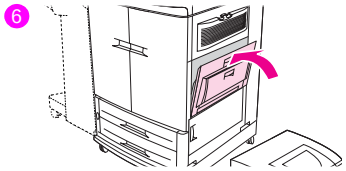
トレイ 2 およびトレイ 3 での紙詰まり

トレイ 2 またはトレイ 3 での紙詰まりを除去するには、以下の手順に従います。

1. トレイを完全に開きます (止まるまで引き出します)。用紙が破れる音が聞こえた場合は、開くのを中断し、詰まっている用紙を探します。トレイの後ろの右上部分を確認します。できるだけ破れないようにするには、詰まっている用紙を左に引っ張って取り除きます。
2. 詰まっている他の用紙を、左に引っ張って取り除きます。用紙の切れ端をすべて取り除いたことを確認します。
3. 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) をスライドさせて、MFP から外します。



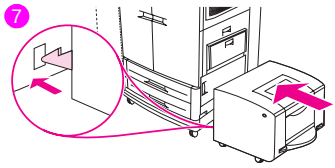




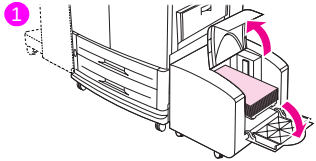
4 右側上部ドアを開きます。

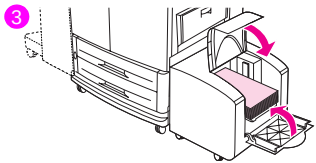
5 詰まっている用紙が見える場合は、その用紙を引っ張って MFP から取り除きます。用紙の切れ端をすべて取り除いたことを確認します。

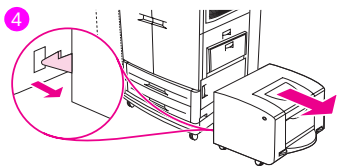
6 右側上部ドアを閉じます。



7 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) をスライドさせて MFP の方向に押します。トレイの 2 個のプラスチック フックが MFP 台にロックされます。







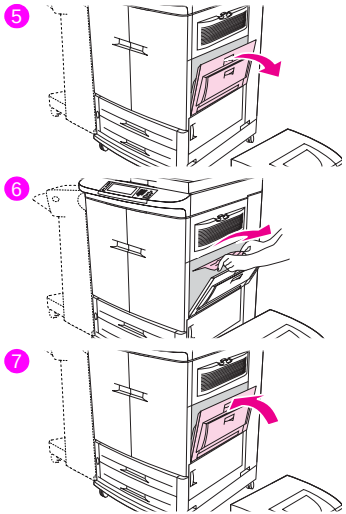
2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) での紙詰まり

1 上部のドアを開き、2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) の下部のドアを開きます。

2 この部分に詰まっている用紙を取り除きます。用紙の切れ端をすべて取り除いたことを確認します。

3 下部のドアを閉じ、次に上部のドアを閉じます。

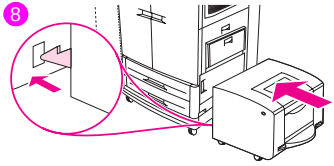
4 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) をスライドさせて、MFP から外します。2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) と MFP との間に詰まっている用紙がないかどうかを確認します。



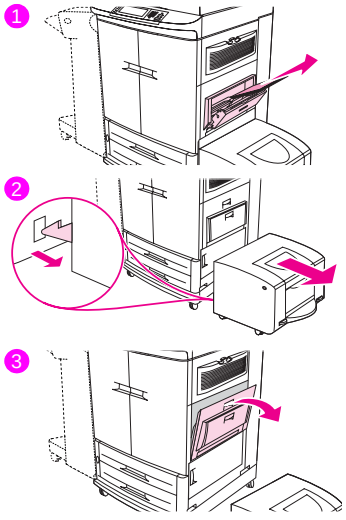
5 右側上部ドアを開きます。

6 詰まっている用紙が見える場合は、その用紙を引っ張って MFP から取り除きます。用紙の切れ端をすべて取り除いたことを確認します。

7 右側上部ドアを閉じます。



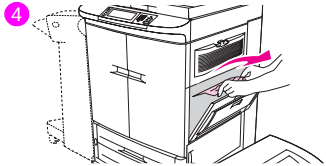
8 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) をスライドさせて MFP の方向に押します。トレイの 2 個のプラスチック フックが MFP 台にロックされます。

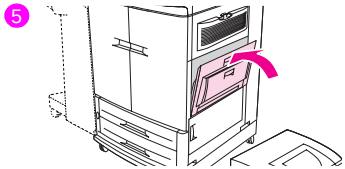


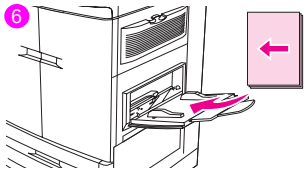
右側上部ドア内部の紙詰まり

右側上部ドアの裏の紙詰まりを除去するには、以下の手順に従います。

1. トレイ 1 にセットされている用紙をすべて取り出します。
2. 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) をスライドさせて、MFP から外します。
3. 右側上部ドアを開きます。



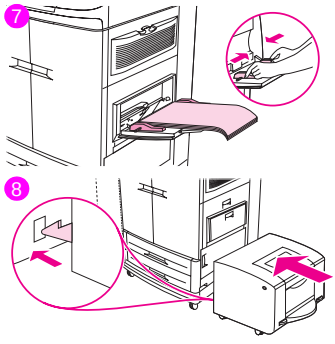




4 詰まっている用紙が見える場合は、その用紙を引っ張って MFP から取り除きます。用紙の切れ端をすべて取り除いたことを確認します。

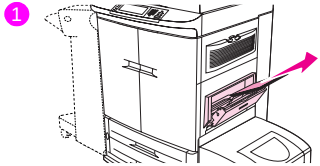
5 右側上部ドアを閉じます。

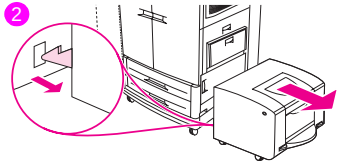
6 トレイ 1 に用紙をセットし直します。

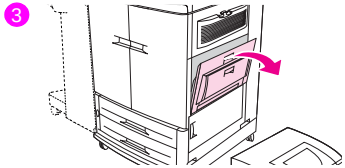


7 用紙ガイドをスライドさせてトレイのマークの位置に合わせ、適切なサイズに調整します (詳細については、「トレイ 1 に用紙をセットするには (11 ページ)」を参照してください)。

8 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) をスライドさせて MFP の方向に押します。トレイの 2 個のプラスチック フックが MFP 台にロックされます。







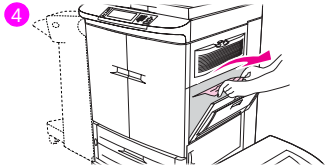
右側上部ドアまたはフロント ドアでの紙詰まり

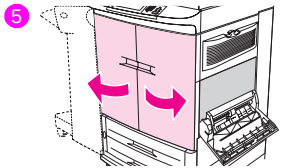
右側上部ドアまたはフロント ドア部分での紙詰まりを除去するには、以下の手順に従います。

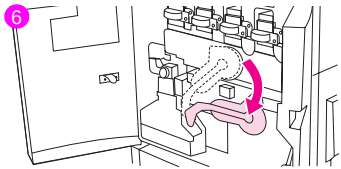
1 トレイ 1 にセットされている用紙をすべて取り出します。

2 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) をスライドさせて、MFP から外します。

3 右側上部ドアを開きます。



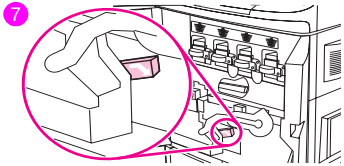


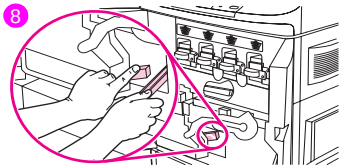


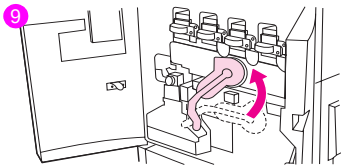
4 詰まっている用紙が見える場合は、その用紙を引っ張って MFP から取り除きます。用紙の切れ端をすべて取り除いたことを確認し、手順 9 に進みます。詰まっている用紙が見えない場合は、右側上部ドアを開いたままにして、手順 5 に進みます。

5 フロント ドアを開きます。

6 緑色のレバーを下げます。



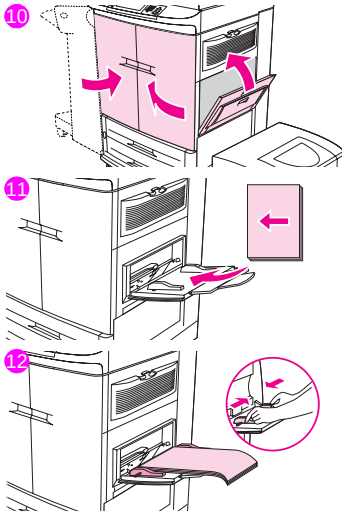




7 白色の矢印のあるレバーを下に押します。

8 レバーを下に押したまま、トング (右フロント ドアの内側のポケットにあります) を MFP の内部に差し入れ、詰まっている用紙を取り除きます。用紙の切れ端をすべて取り除いたことを確認します。

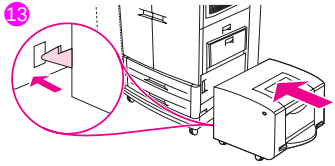
9 緑色のレバーを上げて元の位置に戻します。



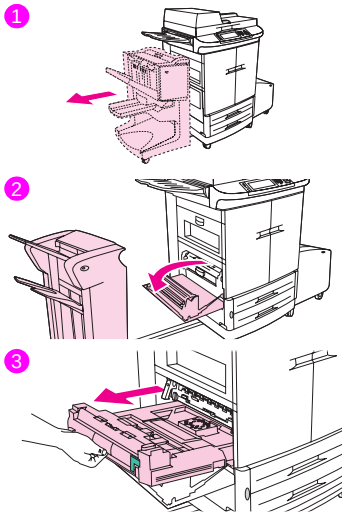
10 すべてのドアを閉じます。

11 トレイ 1 に用紙をセットし直します。

12 用紙ガイドをスライドさせてトレイのマークの位置に合わせ、適切なサイズに調整します (詳細については、「トレイ 1 に用紙をセットするには (11 ページ)」 を参照してください)。



13 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) をスライドさせて MFP の方向に押します。トレイの 2 個のプラスチック フックが MFP 台にロックされます。



紙詰まりの除去 (両面印刷ユニット)

両面印刷ユニット内部の紙詰まり

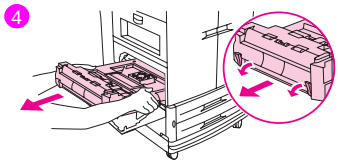
両面印刷ユニットでの紙詰まりを除去するには、以下の手順に従います。

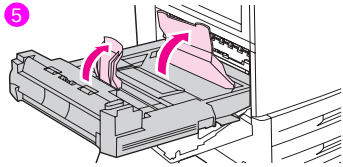
1 留め具機能付きデバイスを移動して MFP から外し、左側下部ドアを開けられる状態にします。MFP の左側に立ち、留め具機能付きデバイスを手前にまっすぐ引き出します。

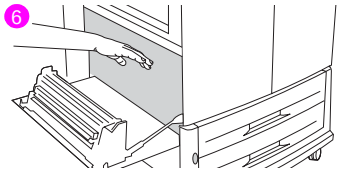
2 左側下部ドアを開きます。

警告
両面印刷ユニットの上にあるフューザ領域に触れないようにしてください。高温になっている場合があります。

3 緑色のレバーを押して、ユニットが止まるところまで引き出して、両面印刷ユニットを取り外します。



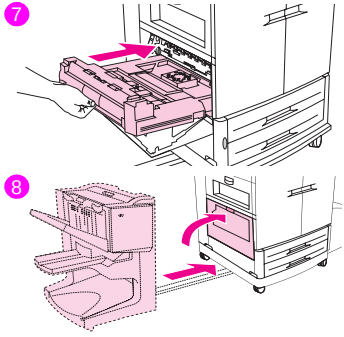




4 両面印刷ユニットを完全に取り外します。

5 両面印刷ユニットにある緑色の 2 個のレバーを持ち上げ、下にある用紙をすべて取り除きます。

6 両面印刷ユニットの奥に手を入れ、用紙をすべて取り除きます。

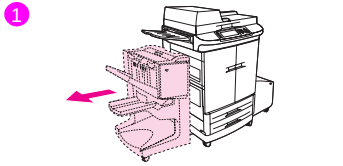


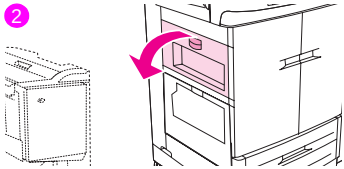
7 両面印刷ユニットをスライドさせて MFP に挿入し、所定の位置に固定します。

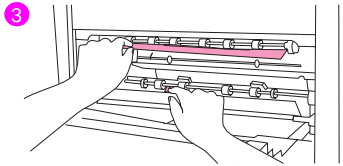
8 左側下部ドアを閉じます。留め具機能付きデバイスを元の位置までスライドさせます。

注記

紙詰まりがフューザ領域 (左側下部ドアの部分を含む) で発生したときは、クリーニング ページが自動的に送り出されて用紙経路を通過し、こぼれたトナーが除去されます。





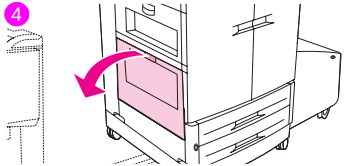


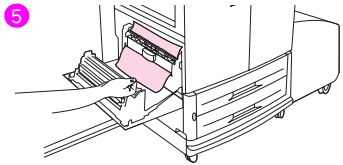
排紙部分の紙詰まりの除去

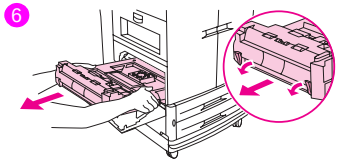
左側下部ドアのフューザ領域の紙詰まり

左側下部ドア (フューザ領域) の紙詰まりを除去するには、以下の手順に従います。

1. 留め具機能付きデバイスを移動して MFP から外し、左側下部ドアを開けられる状態にします。MFP の左側に立ち、留め具機能付きデバイスを手前にまっすぐ引き出します。
2. 左側上部ドアを開きます。
3. 詰まっている用紙が見える場合は、その用紙を MFP から取り除きます。次に、左側上部ドアを閉じ、印刷を続行します。詰まっている用紙が見えない場合は、手順 4 に進みます。





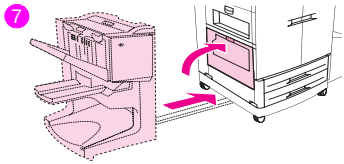


4 左側下部ドアを開きます。

警告
近くにあるフューザ領域に触れないようにしてください。高温になっている場合があります。

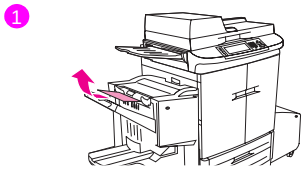
5 緑色のつまみを持ち上げ、詰まっている用紙または損傷した用紙を取り除きます。用紙の切れ端をすべて取り除いたことを確認します。

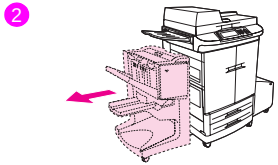
6 緑色のつまみを押して両面印刷ユニットをスライドさせ、少し引き出します。この部分から、詰まっている用紙または損傷した用紙を引っ張って MFP から取り除きます。

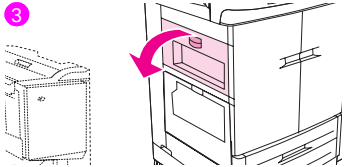


7 左側下部ドアを閉じます。留め具機能付きデバイスを押して元の位置に戻します。

注記
紙詰まりがフューザ領域 (左側下部ドアの部分を含む) で発生したときは、クリーニング ページが自動的に送り出されて用紙経路を通過し、こぼれたトナーが除去されます。



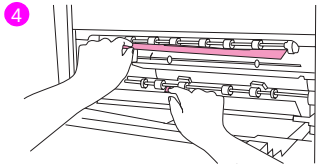




上部排紙ビンでの紙詰まり

上部排紙ビンでの紙詰まりを除去するには、以下の手順に従います。

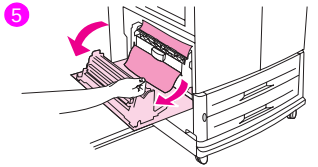
1. 排紙部分に紙詰まりがあるときは、破れないように注意しながら、ゆっくりと MFP から用紙を引き出します。詰まっている用紙が排紙部分で確認できない場合は、手順 2 に進みます。
2. 留め具機能付きデバイスを移動して MFP から外し、左側下部ドアを開けられる状態にします。MFP の左側に立ち、留め具機能付きデバイスを手前にまっすぐ引き出します。
3. 左側上部ドアを開きます。



4 詰まっている用紙が見える場合は、上または下にゆっくりと慎重に引っ張って取り除いてから、手順 6 に進みます。詰まっている用紙が見えない場合は、手順 5 に進みます。

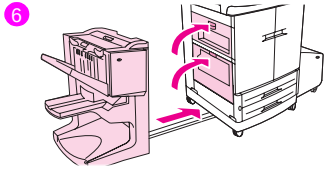
5 左側下部ドアを開き、この部分に詰まっている用紙を取り除きます。

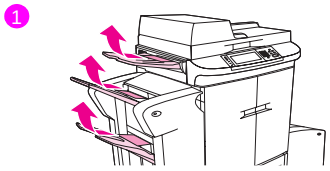
6 開いたドアをすべて閉じます。留め具機能付きデバイスを押して元の位置に戻します。

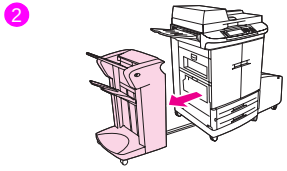


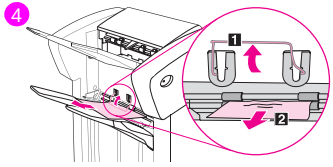
注記

紙詰まりがフューザ領域 (左側下部ドアの部分を含む) で発生したときは、クリーニング ページが自動的に送り出されて用紙経路を通過し、こぼれたトナーが除去されます。







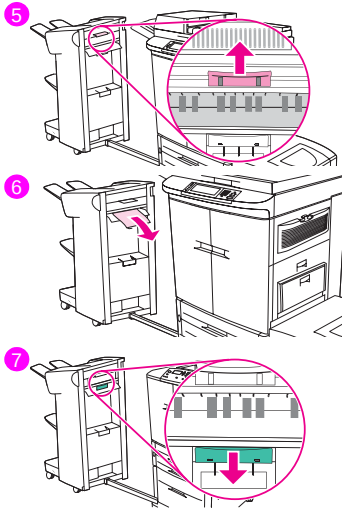


スタッカまたはステイプラ / スタッカでの紙詰まり

1. 排紙ビンに紙詰まりがあるときは、破れないように注意しながら、ゆっくりと MFP から用紙を引き出します。
2. 留め具機能付きデバイスを MFP から取り外します。MFP の左側に立ち、留め具機能付きデバイスを手前にまっすぐ引き出します。
3. この部分に詰まっている用紙を取り除きます。
4. スタッカのビン 2 のワイヤを持ち上げ、この部分から用紙を慎重に取り出します。ステイプラ / スタッカを使用している場合は、アキュームレータ領域からはみ出ている用紙を慎重に取り出します。

注記
ビン 2 にワイヤがあるのはスタッカだけです。

すべての用紙を用紙経路から取り除いてください。複数の用紙が用紙経路に詰まっている場合があります。

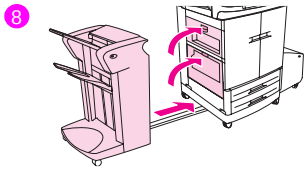


5 フリッパ領域の緑色のハンドルを探し、このハンドルを持ち上げます。

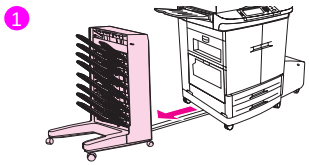
6 フリッパ領域に詰まっている用紙を慎重に取り出します。

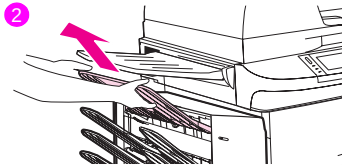
警告
フリッパ領域には触れないようにしてください。高温になっている場合があります。

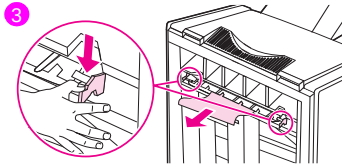
7 用紙経路モジュールの緑色のハンドルを探し、このハンドルを引き下げます。



8 用紙経路モジュールに詰まっている用紙を慎重に取り出します。開いたドアをすべて閉じます。留め具機能付きデバイスを押して元の位置に戻します。

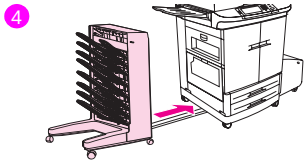






8 ビン メールボックス (上向きビン) での紙詰まり

1. 留め具機能付きデバイスを MFP から取り外します。MFP の左側に立ち、留め具機能付きデバイスを手前にまっすぐ引き出します。
2. 上向きビンを、注意しながら取り外します。
3. 排紙モジュールのハンドルを引き下げ、この部分に詰まっている用紙を取り除きます。



4 8 ビン メールボックスを押して所定の位置に戻し、上向きビンを元通りに取り付けます。

注記
詳細については、留め具機能付きデバイスに同梱のユーザーズ ガイドを参照してください。

マルチファンクション フィニッシャでの紙詰まり

1



2

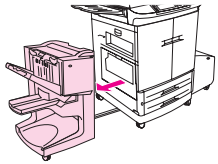


3

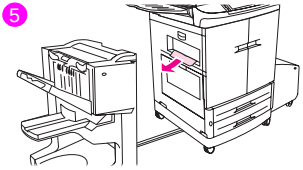


1. マルチファンクション フィニッシャのカバーを開きます。
2. 用紙が破れないように注意しながら、ゆっくりとまっすぐに、マルチファンクション フィニッシャから用紙を引き出します。
3. マルチファンクション フィニッシャのカバーを閉じます。

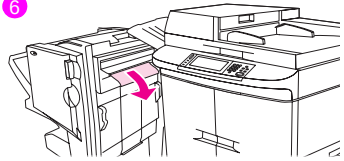
4



5



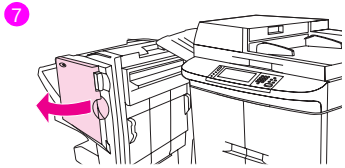
6



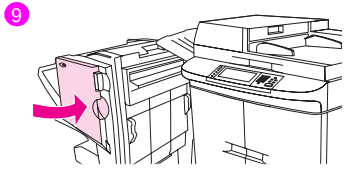
4 マルチファンクション フィニッシャを MFP から外します。MFP の左側に立ち、マルチファンクション フィニッシャを手前にまっすぐ引き出します。

5 MFP の排紙部分から、用紙を慎重に取り除きます。

6 マルチファンクション フィニッシャの給紙部分から、用紙を慎重に取り除きます。



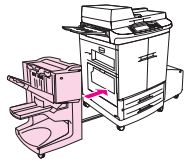




7 ステイプラ ユニットのドアを開きます。

8 ブックレット部分の詰まりを解決するには、下部にある緑色のつまみを時計回りに回して、ブックレットを取り除きます。

9 ステイプラ ユニットのドアを閉じます。



10 マルチファンクション フィニッシャを押して元の位置に戻します。

紙詰まりが繰り返し発生する場合の対処方法

状況	解決方法
MFP で紙詰まりの問題が繰り返し発生する	**1** 用紙の仕様を確認します (詳細については、「推奨される用紙 (175 ページ)」を参照してください)。仕様外の用紙を使用すると、問題が生じることがあります。 **2** 用紙がトレイに正しくセットされ、すべての用紙ガイドが正しく設定されていることを確認します (詳細については、「用紙の指定と使用 (169 ページ)」を参照してください)。 **3** 用紙サイズに合わせて用紙トレイが設定されていることと、トレイにセットされている用紙が多すぎないことを確認します。 **4** トレイにセットされている用紙の束を裏返します。パンチ用紙またはレターヘッド用紙を使用している場合は、トレイ 1 から印刷します。 **5** 破れた用紙、使い古しの用紙、不揃いの用紙、または一度印刷した用紙は使用しないようにしてください。推奨される用紙およびその他の用紙については、「推奨される用紙 (175 ページ)」を参照してください。 **6** 破損した用紙や詰まった用紙が MFP に残っていないことを確認します。 **7** MFP から留め具機能付きデバイスに用紙が送られるときに発生する紙詰まりが繰り返される場合は、MFP と留め具機能付きデバイスの設置面が平坦になっていない可能性があります。留め具機能付きデバイスのキャスターの上にある青色の水準器を使用して、留め具機能付きデバイスを同じ高さにします。詳細については、留め具機能付きデバイスの設置ガイドを参照してください。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

状況	解決方法
ADF で紙詰まりの問題が繰り返し発生する	**1** ADF にセットする用紙は、30 枚未満にします。 **2** 原稿の状態が良好であることを確認します。 **3** 原稿が ADF に正しくセットされ、用紙ガイドが正しく設定されていることを確認します。 **4** スキャナのガラス面に原稿を置いてコピーします。

注記

トレイ 1 での紙詰まりが解決しない場合は、トレイ 2 またはトレイ 3 から給紙します。ただし、封筒などの一部の用紙はトレイ 1 からしか給紙できません。

引き続き紙詰まりが発生する場合は、HP カスタマ サポートにお問い合わせください (CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』の付録 B を参照するか、www.hp.com/go/clj9500mfp をご覧ください)。

MFP に表示されるメッセージの解釈

メッセージは、MFP のコントロール パネル ディスプレイに表示され、MFP の通常のステータス (`[PROCESSING JOB ( ジョブを処理しています )]` など) や、注意が必要なエラー状態 (`[CLOSE FRONT DOOR ( フロント ドアを閉じます )]` など) が示されます。エラー メッセージの一覧、各メッセージの説明または解決方法、および推奨される作業については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』を参照してください。**?** を押すと、MFP のコントロール パネルで詳細なヘルプを使用することができます。

注記 MFP の一部のメッセージは、`[AUTO CONTINUE ( 自動継続 )]` および `[CLEARABLE WARNINGS ( 解除可能な警告 )]` の設定の影響を受けます。これらの設定は、コントロール パネルの **[Configure Device (デバイスの設定)]** メニューの **[System Setup (システム セットアップ)]** サブメニューにあります (詳細については、「[System setup (システム セットアップ)] サブメニュー (158 ページ)」を参照してください)。

MFP のヘルプ システムの使い方

MFP には、コントロール パネルにヘルプ システムが装備されており、ほとんどのエラーを解決するための説明が示されます。コントロール パネルのメッセージの中には、ヘルプ システムの使用についての指示が交互に表示されるものもあります。

エラー メッセージに「?」が表示されるときや、「`FOR HELP PRESS ? (? を押してヘルプ )`」が交互に表示されるときは、**?** を押すとヘルプが表示されます。

ヘルプ システムを終了するには、`[EXIT ( 終了 )]` を押します。



http://www.hp.com/go/clj9500mfp

メッセージが消えない場合

- トレイをセットすることを求めたり、前の印刷ジョブが MFP に残っていることを知らせたりするメッセージでは、[CONTINUE (継続)] を押して印刷するか、[STOP (停止)] を押してジョブをクリアすると、メッセージが消去されます。
- このような操作を行ってもメッセージが消えない場合は、正規 HP サービス会社またはサポート会社までご連絡ください (詳細については、HP Web サイト (www.hp.com/go/clj9500mfp) をご覧ください)。

印刷品質のトラブルシューティング

印刷品質の問題に対処するときの最初の手順は、問題が、コピーしたページまたは印刷したページに特有のものであるかどうかを判断することです。印刷したページで発生する問題は、ほとんどの場合コピーしたページでも発生しますが、コピーしたページで発生する問題が、印刷したページでも常に発生するとは限りません。印刷品質の問題がコピー時に発生するときは、同じ問題が印刷時に発生するかどうかを調べると参考になります。MFP には、いくつかのページが実装されており、このページを印刷して印刷品質の問題を解決することができます。詳細については、「印刷品質のトラブルシューティングの手順 (293 ページ)」を参照してください。

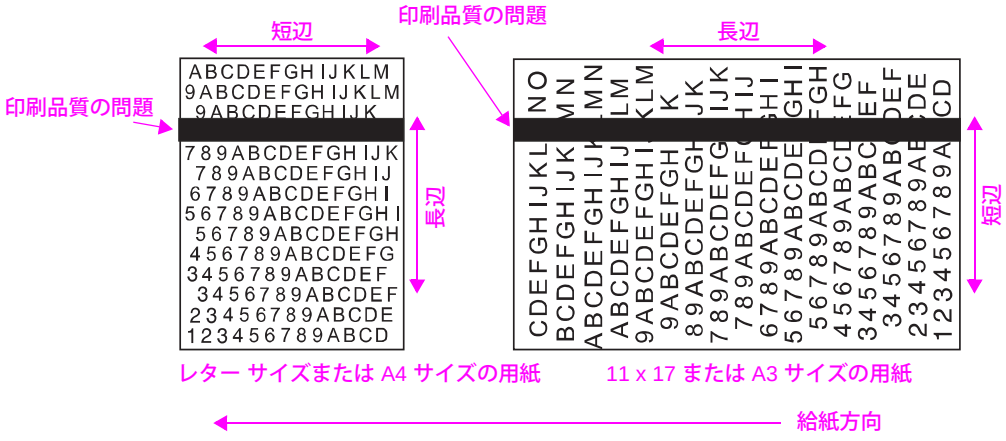
コピーしたページでのみ問題が発生する場合、通常は MFP のコピー部と ADF の部品を清掃するか (第 9 章の「クリーニングの手順 (236 ページ)」を参照してください) 、原稿の品質のチェックまたはコピー品質の調整に関する設定の変更を行うと解決することができます。

印刷したページとコピーしたページの両方で問題が生じる場合は、以下の手順に従います。

印刷品質の問題は、用紙が MFP を通過する方向 (給紙方向) に平行な向きに発生または反復します。次の図は、レター サイズまたは A4 サイズの用紙の両方で発生した印刷品質の問題と、11 x 17 または A3 サイズの用紙 (または、その他の任意のサイズの用紙) で発生した問題を示しています。

通常、トレイ内での用紙の向きは、レター サイズまたは A4 サイズの場合は長辺から給紙されるようになっており、11 x 17 または A3 サイズの場合は短辺から給紙されるようになっています。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp



印刷品質のトラブルシューティングの手順

印刷品質の問題や印刷不良が発生した場合は、以下の手順に従います。

- 使い切ったサプライ品を交換します。サプライ品を使い切ると、[REPLACE <SUPPLY> (< サプライ品 >を交換してください >)] というメッセージがコントロール パネルに表示され、さらに、ゲージに空のバーが表示されて使い切ったサプライ品の輪郭が点滅します。サプライ品を交換しないと、印刷は停止し、[REPLACE <SUPPLY> (< サプライ品 >を交換してください >)] というメッセージが表示されたままになります。詳細については、「印刷品質のトラブルシューティング (291 ページ)」を参照してください。

 [HELP (ヘルプ)] を押すと、サプライ品を交換する詳細な手順が表示されます。サプライ品の交換方法の詳細については、「プリント カートリッジの交換 (205 ページ)」、「イメージ ドラムの交換 (209 ページ)」、「イメージ転写キットの交換 (215 ページ)」、「イメージ クリーニング キットの交換 (226 ページ)」、または「イメージ フューザ キットの交換 (232 ページ)」を参照してください。

 サプライ品を注文するには、「サプライ品の注文 (200 ページ)」を参照してください。
- 現在の印刷ジョブまたは別の印刷ジョブのページを、さらに 10 枚印刷します。MFP では、いくつかの印刷品質の問題が自動的に補正されます。

上記の手順を行っても問題が解決しない場合は、「継続して発生する印刷品質のトラブルシューティング (294 ページ)」を参照してください。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

継続して発生する印刷品質のトラブルシューティング

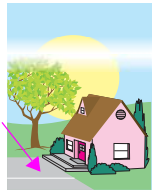
「印刷品質のトラブルシューティングの手順 (293 ページ)」に記載されている手順をすべて行っても印刷品質の問題が解決しない場合は、以下の手順に従います。

1. 下記の印刷品質の問題のチャート図を使用して、発生した問題を特定します。
2. 特定した問題の下に示されているページを開き、そのページに記載されている解決方法を使用して印刷品質の問題を解決します。
3. その手順で問題が解決しない場合は、印刷品質に関するトラブルシューティング ページを印刷し、最初のページに記載されている診断手順に従って問題の切り分けを行い、原因のあるコンポーネントを特定します。
4. 問題が解決しない場合、または発生した印刷品質の問題がチャート図に示されていない場合は、最寄りの正規 HP サービス会社またはサポート会社にお問い合わせください。詳細については、「MFP に関する情報 (326 ページ)」を参照してください。

印刷品質の問題のチャート図では、レター サイズまたは A4 サイズの用紙が長辺から MFP に給紙される場合が想定されています。詳細については、「継続して発生する印刷品質のトラブルシューティング (294 ページ)」を参照してください。

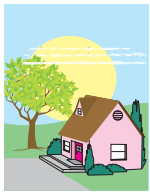
印刷品質の問題のチャート図

印刷品質の問題のチャート図に記載されている例を使用して、発生した印刷品質の問題を特定し、その問題に関するページで問題のトラブルシューティングに役立つ情報を参照します。



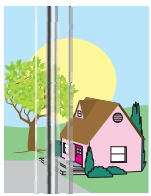
水平の線または縞

- プリンタの動作要件および設置要件が満たされていることを確認します。
- 印刷品質に関するトラブルシューティング ページ (「印刷品質トラブルシューティング ページ (301 ページ)」を参照) を印刷し、最初のページに記載されている診断手順に従って問題の切り分けを行い、原因のあるコンポーネントを特定します。



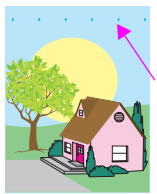
水平の破線

- フューザ インプット領域をクリーニングします。



垂直な線

- 以下のサプライ品が正しく設置されていることを確認します。
 - イメージ転写ベルト
 - 転写クリーナ
 - 転写ローラー
- 印刷品質に関するトラブルシューティング ページ (「印刷品質トラブルシューティング ページ (301 ページ)」を参照) を印刷し、最初のページに記載されている診断手順に従って問題の切り分けを行い、原因のあるコンポーネントを特定します。



繰り返し発生する問題

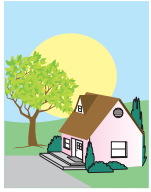
- プリンタの動作要件および設置要件が満たされていることを確認します。
- 印刷品質に関するトラブルシューティング ページ (「印刷品質トラブルシューティング ページ (301 ページ)」を参照) を印刷し、最初のページに記載されている診断手順に従って問題の切り分けを行い、原因のあるコンポーネントを特定します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp



全体的な色の薄れ

- プリンタの動作要件および設置要件が満たされていることを確認します。
- ポスト チャージャをクリーニングします。
- プリンタの校正を行います。
- 以下のサプライ品が正しく設置されていることを確認します。
 - イメージ転写ベルト
 - 転写ローラー



1 つの色の薄れ

- プリンタの動作要件および設置要件が満たされていることを確認します。
- プリンタの校正を行います。
- 印刷品質に関するトラブルシューティング ページ (「印刷品質トラブルシューティング ページ (301 ページ)」を参照) を印刷し、最初のページに記載されている診断手順に従って問題の切り分けを行い、原因のあるコンポーネントを特定します。



指紋および用紙のへこみ

- サポートされている用紙を使用してください。
- 使用している用紙にしわやへこみが生じていないこと、指紋やその他の異質物で用紙が汚れていないことを確認します。
- プリンタの校正を行います。
- 印刷品質に関するトラブルシューティング ページ (「印刷品質トラブルシューティング ページ (301 ページ)」を参照) を印刷し、最初のページに記載されている診断手順に従って問題の切り分けを行い、原因のあるコンポーネントを特定します。



こぼれたトナー

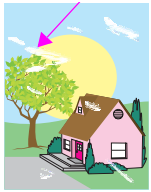
- プリンタの動作要件および設置要件が満たされていることを確認します。
- サポートされている用紙を使用してください。
- 使用している用紙について、コントロール パネルでトレイの用紙のタイプとサイズが正しく設定されていることを確認します。
- 用紙が正しくセットされ、ガイドが用紙の束の端に触れていることと、カスタム メディア レバーが適切に設定されていることを確認します。
- 使用している用紙にしわやへこみが生じていないこと、指紋やその他の異質物で用紙が汚れていないことを確認します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp



トナーのにじみ

- サポートされている用紙を使用してください。
- 以下のサプライ品が正しく設置されていることを確認します。
 - イメージ ドラム
 - イメージ転写ベルト
 - 転写クリーナ
- イメージ転写ベルトをクリーニングします。



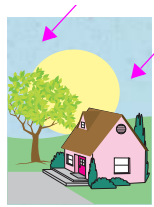
ページの白い部分 (白抜け)

- プリンタの動作要件および設置要件が満たされていることを確認します。
- サポートされている用紙を使用してください。
- 使用している用紙にしわやへこみが生じていないこと、指紋やその他の異質物で用紙が汚れていないことを確認します。
- 使用している用紙について、コントロール パネルでトレイの用紙のタイプとサイズが正しく設定されていることを確認します。
- ポスト チャージャをクリーニングします。
- プリンタの校正を行います。
- 印刷品質に関するトラブルシューティング ページ (「印刷品質トラブルシューティング ページ (301 ページ)」を参照) を印刷し、最初のページに記載されている診断手順に従って問題の切り分けを行い、原因のあるコンポーネントを特定します。



用紙の損傷 (しわ、カール、折れ目、裂け目)

- プリンタの動作要件および設置要件が満たされていることを確認します。
- サポートされている用紙を使用してください。
- 用紙が正しくセットされていることを確認します。
- 使用している用紙について、コントロール パネルでトレイの用紙のタイプとサイズが正しく設定されていることを確認します。
- 使用している用紙にしわやへこみが生じていないこと、指紋やその他の異質物で用紙が汚れていないことを確認します。
- 厚手の用紙は、トレイ 1 から印刷して左の排紙ビンに排紙します。
- 以下のサプライ品が正しく設置されていることを確認します。
 - フューザ
 - イメージ転写ローラー
- 紙詰まりの発生箇所を調べ、詰まっている用紙または用紙の切れ端を取り除きます。



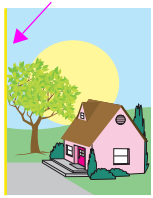
斑点または散らばったトナー

- プリンタの動作要件および設置要件が満たされていることを確認します。
- サポートされている用紙を使用してください。
- 使用している用紙について、コントロール パネルでトレイの用紙のタイプとサイズが正しく設定されていることを確認します。
- プリンタの校正を行います。
- 転写ローラーが正しく設置されていることを確認します。
- 印刷品質に関するトラブルシューティング ページ (「印刷品質トラブルシューティング ページ (301 ページ)」を参照) を印刷し、最初のページに記載されている診断手順に従って問題の切り分けを行い、原因のあるコンポーネントを特定します。



ページのゆがみ、引き伸ばし、または中心のずれ

- プリンタの動作要件および設置要件が満たされていることを確認します。
- サポートされている用紙を使用してください。
- 用紙が正しくセットされていることを確認します。
- ページのゆがみに関する問題については、メディアの束を裏返し、180 度回転します。
- 以下のサプライ品が正しく設置されていることを確認します。
 - フューザ
 - イメージ転写ベルト
- 紙詰まりの発生箇所を調べ、詰まっている用紙または用紙の切れ端を取り除きます。

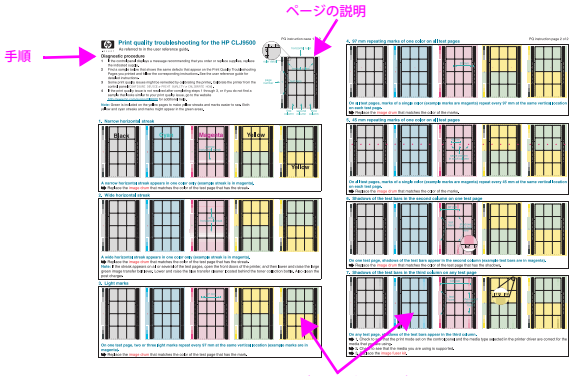


不適切な色の位置

- プリンタの校正を行います。

印刷品質トラブルシューティング ページ

印刷品質トラブルシューティング ページを使用すると、異常のある部品または損傷した部品が関わって発生している印刷品質の問題の多くを診断することができます。最初のページの診断手順に従ってください。このページに記載される情報の詳細については、「イメージ ドラムの交換 (209 ページ)」および「イメージ フューザ キットの交換 (232 ページ)」を参照してください。



http://www.hp.com/go/clj9500mfp

印刷品質トラブルシューティング ページを印刷するには

1. [メニュー] ボタンを押します。
2. 上向き矢印と下向き矢印を使ってスクロールし、[DIAGNOSTICS (診断)] を押します。
3. 上向き矢印と下向き矢印を使ってスクロールし、[PQ TROUBLESHOOTING (印刷品質のトラブルシューティング)] を押します。

MFP のトラブルシューティング

MFP のハードウェアの問題

状況	解決方法
MFP のドアが閉じない。	• 青色と緑色のすべてのレバーとハンドルが正しい位置にあることを確認します。 • MFP のドアをしっかりと閉じます。
コントロール パネルのディスプレイに何も表示されない。また、内蔵ファンが動作していない。	• MFP の電源が入っていることを確認します。 • MFP が、通電されている交流 (AC) 電源コンセントに接続されていることを確認します。 • すべてのボタンを 1 つずつ押して、ボタンが固着していないかどうかを確認します。ボタンが固着していない場合は、正規 HP サービス会社に問い合わせてください。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

状況	解決方法
MFP の電源は入っているが、内蔵ファンが動作していない。	• 電源の電圧が、MFP の電源設定に適合していることを確認します (電源の要件については、MFP の背面にある電源端子の隣のプレートを参照してください)。 • 延長コードを使用していて、そのコードの電圧が MFP の仕様範囲ではない場合は、MFP を電源コンセントに直接接続します。
フロント ドア内部の緑色のレバーが上がらない。	• イメージ ドラムが MFP に完全に差し込まれており、イメージ ドラムのドアがしっかりと閉じられていることを確認します。 • 転写クリーナが MFP に完全に差し込まれており、ラッチで固定されていることを確認します。 • 転写ローラーが MFP に完全に差し込まれていることを確認します。 • イメージ転写ベルトが MFP に完全に差し込まれていることを確認します。
トレイ 2、トレイ 3、または 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) から印刷できない。	• 用紙トレイのガイドが、使用している用紙サイズに合わせて正しく調整されていることを確認します (詳細については、「用紙のサイズとタイプの設定 (171 ページ)」を参照してください)。 • プリンタ ドライバで正しいトレイを選択します。 • プリンタ ドライバの **[デバイスの設定]** タブまたは **[設定]** タブでトレイが正しく設定されていることを確認します。

状況	解決方法
2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) が機能しない。	• 電源コードが、MFP と電源コンセントの両方にしっかりと接続されていることを確認します。電源コードを一度抜いてから、差し込み直してください。 • 問題が解決しない場合は、トレイを MFP に接続しているケーブルを交換しなければならないことがあります。 • 詳細については、「トレイ 2、トレイ 3、または 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) から印刷できない。」を参照してください。
MFP が起動しない。	MFP の電源コードが、適切な電圧が供給されているコンセントに接続されていることを確認します。110V の MFP が 220V のコンセントに接続されている場合は、電源モジュールを交換しなければならないことがあります。正規 HP サービス会社またはサポート会社にお問い合わせください。「MFP に関する情報 (326 ページ)」または HP Web サイト (www.hp.com/clj9500mfp) を参照してください。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

用紙の取り扱いに関する問題

状況	解決方法
両面印刷ユニットで紙詰まりが何度も発生する。	• サポートされる重量およびサイズの用紙を使用していることを確認します。 • 両面印刷ユニットを取り外し、MFP の内部に用紙が残っていないことを確認します。
ステイプラで針詰まりが何度も発生する。	• ステイプル留めされるジョブの厚さが 5 mm (0.2 インチ) 未満であることを確認します。 • ステイプラの針を出す部分に、針がつかえている可能性があります。余分な針や用紙の切れ端をステイプラ内部から取り除きます (詳細については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』の第 10 章を参照してください)。

状況	解決方法
ジョブがステイプル留めされない。	ステイプラまたはマルチファンクション フィニッシャに送られるジョブは、以下の理由によりステイプル留めされないことがあります。 • 1 枚構成のジョブはステイプル留めされません。 • ステイプラの針がなくなっており、[AUTO CONTINUE (自動継続)] が [ON (オン)] に設定されています。 • ジョブに使用された用紙のサイズまたはタイプが正しくありません。 • 50 枚を超えるページがステイプラに送られました。ステイプル留めできる範囲を超えています。 • ステイプラ先端部に、折れた針または破損した針があります。 • 最近、ステイプルの針詰まりを取り除きました (除去後、最大 2 つのジョブがステイプル留めされないことがあります)。 • ジョブに使用された用紙のサイズまたはタイプが正しくなかったため、ステイプラ ビン以外のビンにジョブが送信されました。 • ステイプラ ユニットへのインタフェース ケーブルに問題があるか、正しく接続されていません。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

状況	解決方法
最後のページが印刷されないが、データ ランプは点灯している。	• 適切なプリンタ ドライバを使用していることを確認します。 • プリントジョブが複雑なため、まだ処理中である可能性があります。 • ジョブでファイル終端コマンドが送信されないため、待機状態になっている可能性があります。[開始] を押すと、送信されます。 • MFP が一時停止していないことを確認します。[PROCESSING JOB (ジョブを処理しています)] というメッセージがコントロール パネルに表示されていることを確認します。 • MFP のコントロール パネルに [LOAD PAPER (用紙をセットしてください)] というメッセージが表示されていないかどうかを確認します (詳細については、「給紙トレイへの用紙のセット (10 ページ)」を参照してください)。
ネットワークまたは共有されている MFP で問題が発生する。	コンピュータを MFP に直接接続し、正常に動作しているプログラムから印刷して、ネットワークまたは共有されている MFP の問題であることを確認します。ネットワークの問題と考えられる場合は、ネットワーク管理者に確認するか、プリンタのネットワーク カードに付属するネットワーク関連のマニュアルを参照してください。

状況	解決方法
用紙がトレイ 1 にセットされているが、用紙のセットまたは手差しでの給紙を求めるメッセージがコントロール パネルに表示される。	適切な用紙をトレイにセットします (詳細については、「給紙トレイへの用紙のセット (10 ページ)」を参照してください)。適切な用紙がすでにセットされている場合は、[開始] を押します。
用紙が適切な排紙ビンに排紙されない。	• プリンタ ドライバで適切な排紙ビンが選択されていることを確認します。プリンタ ドライバの設定を変更する方法の詳細については、プリンタ ドライバのオンライン ヘルプを参照してください。 • 用紙が排紙ビンの仕様に適合していません (詳細については、「用紙の指定と使用 (169 ページ)」を参照してください)。 • コントロール パネルで設定した内容よりも、ソフトウェアのコマンドが優先されます (プログラムによってコントロール パネルの設定がどのように扱われるかについては、「コントロール パネル (4 ページ)」を参照してください)。

状況	解決方法
紙詰まりと用紙送りの問題が発生する。	• 「紙詰まりの除去 (251 ページ)」を参照してください。 • 用紙の仕様が推奨範囲内であることを確認します (詳細については、「用紙の指定と使用 (169 ページ)」を参照してください)。 • 用紙トレイのガイドが、使用している用紙サイズに合わせて正しく調整されていることを確認します (詳細については、「用紙のサイズとタイプの設定 (171 ページ)」を参照してください)。 • 環境条件が許容範囲内であることを確認します (詳細については、「動作環境と保管環境 (335 ページ)」を参照してください)。 **注記** トレイ 1 から給紙するときに問題が発生する場合は、使用している用紙について、サポートされている用紙の仕様に適合していること、状態が良好であること、トレイに正しくセットされていることを確認します。問題が解決しない場合は、トレイ 2 またはトレイ 3 から給紙します。

状況	解決方法
別のトレイの用紙が印刷に使用される。	• 使用しているプログラムで正しいサイズまたはタイプの用紙が選択されていることを確認します。 • 使用しているプログラムのドライバが、正しくインストールおよび設定されていること、目的のサイズとタイプの用紙を指定できることを確認します。 • 指定したサイズの用紙が、選択したトレイにセットされていません。正しいサイズの用紙がセットされている次のデフォルト トレイの用紙が使用されます。正しい用紙をトレイにセットし、トレイが正しく調整されていることを確認します。印刷ジョブを完了するのに十分な量の用紙をトレイにセットします (詳細については、「用紙のサイズとタイプの設定 (171 ページ)」を参照してください)。 • 各トレイの用紙のタイプが、MFP のコントロール パネルで正しく設定されていることを確認します (詳細については、「用紙のサイズとタイプの設定 (171 ページ)」を参照してください)。
セットされている用紙のサイズがジョブに適合していないと表示される。	• コントロール パネルで定義されているカスタム用紙サイズと、プリンタ ドライバまたはプログラムで定義されているカスタム用紙サイズが同じであることを確認します (カスタム用紙用のトレイを設定する手順については、「用紙のサイズとタイプの設定 (171 ページ)」を参照してください)。 • 用紙ガイドが、用紙の束の端に触れていることを確認します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

MFP での印刷時の問題

状況	解決方法
ページがマージンなしで印刷される。	ページがマージンなしで印刷される場合は、低い解像度でページを印刷するか、メモリを増設する必要があります (詳細については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』の第 9 章を参照してください)。トレイの位置合わせを確認し、前後の位置が正しいことを確認します。プログラムをチェックして、印刷できないページ領域にデータがないことを確認します。
指定したディスクのフォントとは異なるフォントが使用される。	PCL を使用している場合は、PCL フォント ページを印刷し、フォントがディスクにあることを確認します。PS を使用している場合は、PS フォント ページを印刷し、フォントがディスクにあることを確認します。フォントがディスクにない場合は、HP Web Jetadmin または Macintosh ベースの HP LaserJet ユーティリティを使用してフォントをダウンロードします (詳細については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』の第 10 章を参照)。

状況	解決方法
データが失われたが、MFP にメッセージが表示されない。	• 使用しているプログラムをチェックして、印刷するファイルにエラーがないことを確認します。 • ケーブルをチェックして、MFP とコンピュータが確実に接続されていることを確認します。 • パラレル ケーブルに問題がある可能性があります。高品質のケーブルを使用してください。 • ネットワーク接続を確認します。
最初のページを印刷するのが、その後のページよりも極めて遅い。	• [READY (印字可)] というメッセージがコントロール パネルに表示されていることを確認します。 • **[PowerSave (パワーセーブ)]** 機能の設定時間を長くします。ページの書式が複雑であるために印刷に時間がかかっている場合は、**[PowerSave (パワーセーブ)]** 設定を変更しても印刷速度が向上しないことがあります。単純なページにすると、印刷速度が向上することがあります。 • 自動 OHT モードが設定されていないことを確認します。または、2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) にセットした用紙が最大収納量の 5% 未満であることを確認します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

状況	解決方法
印刷したページでの文字化けや印刷部数の超過が発生したり、ページの一部しか印刷されなかったりする。	• プログラムが、適切なプリンタ ドライバを使用するように設定されていることを確認します。 • MFP のインタフェース (I/O) ケーブルまたはパラレル ケーブルに問題がある可能性があります。各ケーブルを、正常に機能する高品質のケーブルに交換して、ケーブルに問題があるかどうかを調べます。 • [Configuration (設定)] メニューの [PERSONALITY (パーソナリティ)] を [AUTO (自動)] に設定します (詳細については、「[System setup (システム セットアップ)] サブメニュー (158 ページ)」を参照してください)。PS ジョブが MFP に送信されたときに、MFP が PCL に設定されていたか、その逆の状況であった可能性があります。 • MFP に送信されたデータが破損していた可能性があります。別のファイルを印刷して、正常に印刷されるかどうかを確認します。 • MFP の電源を切り、もう一度電源を入れます。
ジョブで印刷されるフォントが正しくない。	• .EPS ファイルを印刷している場合は、.EPS ファイルに含まれているフォントをダウンロードしてから印刷を行います。HP LaserJet ユーティリティを使用してください (詳細については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』を参照)。 • New York、Geneva、または Monaco フォントで文書を印刷していない場合は、**[Page Setup (ページ設定)]** ダイアログ ボックスを開き、**[Options (オプション)]** を選択して代替フォントの選択を解除します。

状況	解決方法
ジョブが適切な MFP に送信されない。	• **Macintosh システムの場合：**同名または類似した名前の別の MFP が印刷ジョブを受信した可能性があります。MFP の名前が、**[Chooser (セレクタ)]** で選択した名前と一致することを確認します。 • PC の場合：プログラムの [Print (印刷)] ダイアログ ボックスで、適切な MFP を選択したことを確認します。
指定したフォントではなく、Courier (MFP のデフォルト フォント) でジョブが印刷される。	• 指定した書体が、MFP で使用できないか、ディスクに存在しません。フォント ダウンロード ユーティリティを使用して、必要なフォントをダウンロードします。 • MFP の電源を切ると、メモリにダウンロードしたフォントが失われます。また、[Resource Saving (リソース保存)] を使用しない場合や、パーソナリティの切り換えを行って PCL ジョブを印刷した場合も、同様です。ディスクのフォントは、PCL ジョブを印刷したり、MFP の電源をオフにしたりしても失われません。 • PS フォント ページを診察して、フォントを使用できることを確認します。ディスクのフォントが失われたと思われる場合は、その理由として、ソフトウェア ユーティリティを使用してフォントを削除したか、ディスクを初期化し直したか、ディスク ドライブが正しく取り付けられていないことが考えられます。設定ページを印刷して、ディスク ドライブが取り付けられていること、正しく機能していることを確認します。 • ディスク ディレクトリ ページを印刷すると、使用可能なフォントを確認することができます。

状況	解決方法
用紙の反対の面に印刷される。	• 用紙が正しくセットされていることを確認します。 • 片面印刷の場合は、用紙の印刷面を上向きにしてトレイ 1 にセットします。トレイ 2、トレイ 3、および 2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) に用紙をセットするときは、印刷面を下向きにします。
ページまたは文書の一部しか印刷されない。	• 送信中に接続が切断されました。送信中に携帯式のデバイスを移動すると、接続が切断することがあります。IRDA 準拠のデバイスは、一時的な接続の中断から復帰できるように設計されています。接続を再度確立するには、最大 40 秒かかります (使用している携帯式デバイスによって異なります)。 • MFP にメモリを増設しなければならない場合があります。
印刷されるフォントまたは書式が正しくない。	• そのフォントが MFP に存在しないため、プログラムでフォントをダウンロードするか、適切なフォント DIMM を取り付ける必要があります。使用しているプログラムをチェックして、適切なプリンタ ドライバがインストールおよび設定されていることを確認します。必要なフォントが使用できるかどうかを確認するには、PS フォント リストまたは PCL フォント リストを印刷します (「[Information (情報)] メニュー (130 ページ)」を参照してください)。 • 使用しているプログラムで、MFP で使用できないフォントの代替フォントが選択されています (フォントの選択の詳細については、プログラムのマニュアルを参照してください)。

状況	解決方法
ジョブの途中で印刷が停止する。	• コントロール パネルのディスプレイにエラー メッセージが表示されていないかを確認します。 • ネットワーク経由で MFP を使用している場合は、コンピュータが正しく設定されており、ネットワークで問題が発生していないことを確認します (ネットワーク管理者に問い合わせます)。 • 電源の電圧をチェックし、電圧が安定していること、MFP の仕様の範囲内であることを確認します。MFP の電源を切り、もう一度電源を入れます。 • ネットワーク プログラムのタイムアウトの設定を確認します。場合によっては、タイムアウト時間を増やす必要があります。 • MS-DOS プロンプトでファイルを MFP に出力する場合は、コピー コマンド COPY [ファイル名] LPTn /B を LPT 1 などの MFP のポートに使用します (n はポート番号です)。 **注記** ページを排紙ビンに送るため、フォーム フィード コマンドをコンピュータから送信しなければならないことがあります。
用紙の両面ではなく、片面にしか印刷されない。	用紙の両面に印刷 (両面印刷) を行うオプションが、プリンタ ドライバで設定されていることを確認します。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

両面印刷の問題

状況	解決方法
印刷ジョブが両面に印刷されない。	• 用紙の両面に印刷するオプションが、プリンタ ドライバで選択されていることを確認します (詳細については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』の第 5 章を参照してください)。 • 設定ページを印刷して、両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認します (詳細については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』の第 10 章を参照してください)。 • 両面印刷ユニットが、プリンタ ドライバで設定されていることを確認します (詳細については、「MFP デバイスのデフォルト値の設定 (9 ページ)」を参照してください)。 • プリンタ ドライバの設定がプログラムで無効化されていないことを確認します。

状況	解決方法
「両面印刷」という選択肢が使用できない。	• 両面印刷が可能なタイプの用紙を選択していることを確認します (「用紙の指定と使用 (169 ページ)」を参照してください)。両面に印刷できない用紙を選択している場合は、両面印刷が可能なタイプの用紙に変更してください。 • 設定ページを印刷して、両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認します (詳細については、CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』の第 10 章を参照してください)。 • 両面印刷ユニットが、プリンタ ドライバで設定されていることを確認します (詳細については、「MFP デバイスのデフォルト値の設定 (9 ページ)」を参照してください)。



http://www.hp.com/go/clj9500mfp

サービスとサポート

10

保証に関する情報

保障期間中および保証期間後のサービス

- 保障期間中の MFP ハードウェアの故障については、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください。
- 保証期間後に生じた MFP ハードウェアの故障については、HP の保守契約を締結している場合や HP SupportPack (HP サポートパック) に加入している場合は、その内容に基づいてサービスを要求してください。
- HP の保守契約の締結や HP SupportPack への加入を行っていない場合は、正規 HP サービス会社 / サポート会社までご連絡ください。

保証延長サービス

HP SupportPack では、HP ハードウェア製品およびすべての HP 提供の内部コンポーネントを対象としています。ハードウェア保守は、HP 製品をお買い求めいただいた日から 3 年間有効です。HP SupportPack へのご加入をご希望の場合は、製品購入日から 90 日以内にお申し込みください。詳細については、HP カスタマ ケア サービスや HP カスタマ サポート グループにお問い合わせください。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

交換部品とサプライ品の提供期間

MFP の交換部品とサプライ品は、製品の製造停止後、最低 5 年間はご提供いたします。

カラー プリント カートリッジ / イメージ ドラムの保証規定

本製品は、製造上の不良について保証の対象となります。

ただし、製品が以下の状態である場合は保証の対象外となります °(a) 何らかの方法で補充、修復、再生、改造されている。(b) 誤用、不適切な保管、またはプリンタ製品の環境仕様に反した使用に起因する問題が発生している。(c) 通常の使用による損耗が生じている。

保証サービスを受ける場合は、製品をお買い上げの販売店にご返送いただくか (不良の内容を記載した書面と印刷サンプルを添付してください)、HP カスタマ サポートまでご連絡ください °HP は、自らの判断により、不良品と認めた製品の交換と購入代金の払い戻しのいずれかで対応します。

現地の法律によって認められる範囲において、上記の保証は排他的なものであり、書面によると口頭によるとを問わず、これ以外のいかなる保証または条件も表明または暗示するものではなく、HP は、商品性、満足できる品質、および特定目的への適合性について、いかなる暗黙的な保証または条件も明確に拒否します。

現地の法律によって認められる範囲において、HP またはその供給業者は、契約、不法行為、または他の法理論に基づくかを問わず、いかなる場合も、直接的損害、特別損害、間接的損害、派生的損害 (収益またはデータの損失を含む)、またはその他の損害について、一切責任を負わないものとします。

本保証規定は、法的に認められる場合を除き、本製品のお客様への販売に適用される強制的な制定法上の権利を排除、制限、変更するものではなく、かかる権利に付加されるものです。

HP ソフトウェア ライセンス契約

ご注意：本ソフトウェアの使用には、以下の HP ソフトウェア ライセンス契約の規定が適用されます。本ソフトウェアを使用することによって、お客様は本ライセンス契約に同意したものと見なされます。本ライセンス契約に同意いただけない場合、本ソフトウェアをご返品くだされば、購入代金を全額払い戻しいたします。本ソフトウェアが他の製品に付属している場合は、その製品全体を未使用の状態で返品くだされば、購入代金を全額お返しいたします。

以下のライセンス契約は、お客様が HP との間で別途契約を結んでいない場合に、本ソフトウェアの使用に適用されるものです。

ライセンスの許諾

お客様は、本ソフトウェアのコピーを 1 つのみ使用できます。「使用」とは、本ソフトウェアを保存、ロード、インストール、実行、または表示することを意味します。本ソフトウェアを改変したり、本ソフトウェアのライセンス機能または制御機能を無効にしたりすることは禁止されています。「複数同時使用」契約を結んだ場合、本ソフトウェアを同時に使用する認可ユーザーの数は定められた最大数を超えてはなりません。

所有権

本ソフトウェアの所有権および著作権は、HP またはその供給業者に帰属します。お客様のライセンスは、本ソフトウェアの所有権を付与するものではなく、本ソフトウェアの権利を譲渡するものでもありません。本ライセンス契約に違反した場合、HP の供給業者は権利を保護するための措置を講ずることができます。

コピーおよび改変

本ソフトウェアは、アーカイブを目的とする場合、または本ソフトウェアの正当な使用において必要である場合に限り、コピーまたは改変することができます。本ソフトウェアのコピーまたは改変版には、オリジナルに含まれるすべての著作権表示を転載するものとします。本ソフトウェアを公共のネットワーク上にコピーすることは禁じられています。



http://www.hp.com/go/clj9500mfp

逆アセンブルおよび解読の禁止

HP の書面による事前の承諾がない限り、本ソフトウェアを逆アセンブルまたは逆コンパイルすることはできません。ただし、管轄区域によっては、限定的な逆アセンブルまたは逆コンパイルを HP の承諾なしに行うことが認められる場合もあります。HP は、お客様に対し、逆アセンブルまたは逆コンパイルに関する妥当な詳細情報の呈示を求める場合があります。また、本ソフトウェアを実行する上で必要な場合を除き、本ソフトウェアを解読することは禁じられています。

譲渡

本ソフトウェアを譲渡した場合、その時点でお客様のライセンスは自動的に終了します。譲渡の際には、本ソフトウェアに加え、そのコピーおよび関連文書も譲受人に引き渡す必要があります。譲受人は、譲渡の条件として本ライセンス契約に同意するものとします。

ライセンスの終了

HP は、本ライセンス契約のいずれかの条項に対する違反があった場合、事前に通知した上で、お客様のライセンスを終了することができます。ライセンスが終了した場合、お客様は、すべてのコピー、改変版、および何らかの形式でマージした部分とともに、本ソフトウェアを直ちに廃棄するものとします。

輸出条件

該当する法律または規制に反して、本ソフトウェアあるいはそのコピーまたは改変版を輸出または再輸出してはなりません。

米国政府によって制限される権利

本ソフトウェアおよび付属文書は、全面的に民間企業の費用によって開発されたものです。これらは、DFARS 252.227-7013 (1988 年 10 月)、DFARS 252.211-7015 (1991 年 5 月)、または DFARS 252.227-7014 (1995 年 6 月) に定義された「商用コンピュータ ソフトウェア」、FAR 2.101 (a) に定義された「商用品目」、FAR 52.227-19 (1987 年 6 月) (またはこれに相当する関連官庁の規定または契約条項) に定義された「制限付きコンピュータ ソフトウェア」のうち、

いずれか該当するものとして販売およびライセンス供与されます。お客様は、本ソフトウェアおよび付属文書について、FAR または DFARS の該当条項または当該製品に関する HP の標準ソフトウェア契約に基づいて付与される権利のみを有するものとします。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

カスタマ サポート オプション (世界各国向け)

MFP に関する情報

MFP サポート用 Web サイトの確認やカスタマ サポートへのお問い合わせをいただく前に、以下の情報および診断ページへのご記入をお願いします (必要に応じて印刷してください)。2 つめの列には、ご購入いただいた製品に関する情報をご記入ください。

情報	ご購入いただいた製品に関する情報	確認方法
MFP モデル		MFP のフロント ドアの右上隅にあります。
MFP シリアル番号		フロント ドア内部の右下隅にあります。
コンピュータのブランドおよびモデル		コンピュータに付属のドキュメントを参照してください。
コンピュータのオペレーティング システム		コンピュータに付属のドキュメントを参照してください。
MFP ドライバのバージョン		**[Print (印刷)]**、**[Properties (プロパティ)]** の順にクリックし、**[Basics (基本)]** タブの **[About (バージョン情報)]** をクリックします。
設定ページとイベント ログ		CD-ROM に収録されている『ユーザーズ リファレンス ガイド』の第 10 章を参照してください。

情報	ご購入いただいた製品に関する情報	確認方法
印刷品質トラブルシューティング ページ		詳細については、「印刷品質トラブルシューティング ページ (301 ページ)」を参照してください。

カスタマ サポートと MFP 修理サポート

World Wide Web

ほとんどの MFP 問題の解決策は、http://www.hp.com/go/clj9500mfp でご確認いただけます。この Web サイトには、FAQ (よくある質問と回答)、トラブルシューティング ヘルプ、MFP 保守と使用に関する情報、マニュアル、コミュニティ フォーラム、MFP ドライバや MFP ソフトウェアのアップデートが公開されています。

電子メール

なるべく早く情報を得たい場合は、http://www.hp.com/go/clj9500mfp をご覧ください。電子メール サポートは、英語でのみ対応しています。



http://www.hp.com/go/clj9500mfp

仕様および規制に関する情報

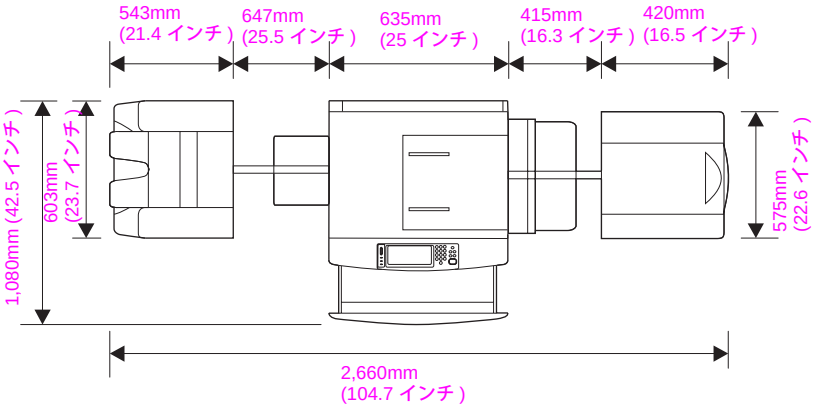
11

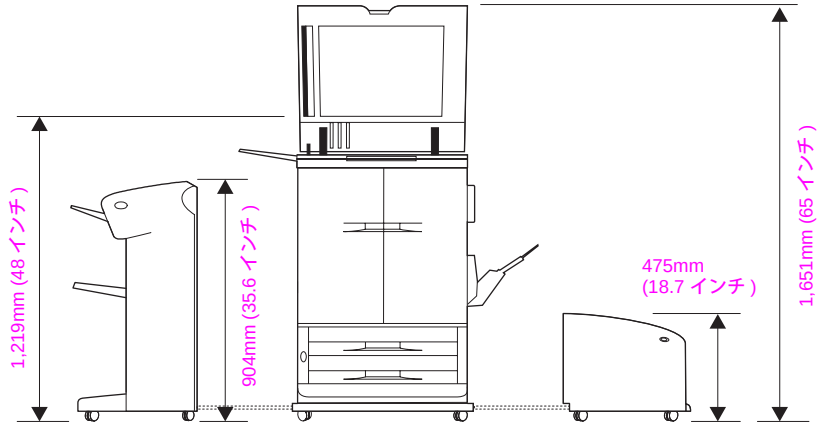
物理的仕様

	HP Color LaserJet 9500mfp
高さ	1,219mm (48 インチ)
幅	2,660mm (104.7 インチ)
奥行き (本体)	603mm (23.7 インチ)
重量 (プリント カートリッジと イメージ ドラムは除く)	194.18kg (427.1 ポンド)

MFP は、以下の物理的要件と環境要件を満たす場所に設置してください。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp




1,219mm (48 インチ)
904mm (35.6 インチ)
475mm
(18.7 インチ)
1,651mm (65 インチ)

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

所要電力および回線容量

	110 V モデル	230 V モデル
所要電力	100 ～ 127 V (+/- 10 %) 50 ～ 60 Hz (+/- 2 Hz)	220 ～ 240 V (+/- 10 %) 50 ～ 60 Hz (+/- 2 Hz)
瞬間定格電流	12 A	7 A

値は変更されることがあります。最新情報については、HP Web サイト (www.hp.com/go/clj9500mfp) をご覧ください。

警告 所要電力は、MFP が販売された国 / 地域に基づきます。動作電圧の変換は行わないようにしてください。MFP に損傷を与える可能性があります。この場合、製品保証の対象にはなりません。

消費電力

注意 所要電力は、MFP が販売された国 / 地域に基づきます。動作電圧の変換は行わないようにしてください。MFP に損傷を与える可能性があります。この場合、製品保証の対象にはなりません。

次に、MFP の平均消費電力 (単位：ワット [1]) の一覧表を示します。

製品モデル	印刷時 (24 ppm)[2]	コピー時 (24 ppm)[2]	Ready (印刷可能)	低電力時 (スリープ 1)	節電時 (スリープ 2)	Off (オフ)
HP Color LaserJet 9500mfp	820 ワット	910 ワット	275 ワット	125 ワット	55 ワット	1.4 ワット

1. 2004 年 7 月 10 日現在の値です。値は変更されることがあります。
最新情報については、HP Web サイト (www.hp.com/go/clj9500mfp) をご覧ください。
2. 報告されている電力は、カラーおよびモノクロの印刷 / コピーを実行しているときに、標準の電圧を適用して測定された最高値です。

- Ready (印字可能) モードからスリープ 1 までのデフォルトの時間は 15 分、スリープ 2 までの時間は 45 分です。
- スリープ 1 から印刷開始までの復帰時間は 30 秒、スリープ 2 から印刷開始までの復帰時間は 140 秒です。
- READY〈印字可能〉 モードの熱損失は、939BTU/ 時です。

MFP の電源を切断したときは、コンセントから電源コードを抜くと、電力消費を避けることができます。ただし、フューザの減圧が完了するまでは、電源コードは抜かないようにしてください。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

騒音の仕様 [1]

音響パワー レベル	ISO 9296 に準拠
印刷時 / コピー時 (24 ppm)	L_{WAd} = 7.3 Bels (A) [73 db (A)]
印刷可能状態	L_{WAd} = 5.6 Bels (A) [56 db (A)]
音圧レベル (至近位置)	**ISO 9296 に準拠**
印刷時 / コピー時 (24 ppm)	L_{pAm} = 55 db (A)
印刷可能状態	L_{pAm} = 37 db (A)

1. 2004 年 3 月 24 日現在の値です。値は変更されることがあります。
最新情報については、HP Web サイト (www.hp.com/go/clj9500mfp) をご覧ください。

- テスト済みの構成：コピー / 印刷 (片面)、2,000 枚収納給紙トレイ (トレイ 4) から 3,000 枚収納スタッカに出力、用紙 : A4 サイズ、速度 : 24 ppm、ファイル : モノクロ ファイル

動作環境と保管環境

	許容条件	推奨される条件
動作温度	15 ～ 30°C (59 ～ 86°F)	20 ～ 26°C (68 ～ 79°F)
相対湿度	10 ～ 80 %	20 ～ 50%
保管温度	0 ～ 35°C (32 ～ 95°F)	0 ～ 35°C (32 ～ 95°F)
保管湿度	10 ～ 95%	10 ～ 95%

印刷品質と給紙パフォーマンスを最適化するには、「推奨される条件」に記載した条件下で MFP を利用 / 保管するようにしてください。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

環境製品管理プログラム

環境保護

Hewlett-Packard Company は、環境に配慮した方法で高品質な製品を提供することに取り組んでいます。本製品は、環境への影響を最小限に留めるいくつかの特性を組み込んで設計されています。

オゾンの生成	屋内の大気環境を保護するため、MFP にはオゾン フィルタが備えられています。交換する間隔については、「イメージ転写キット (214 ページ)」を参照してください。
消費電力	スリープ モードの間は、電力の使用量が大きく低下します。このモードでは、天然資源やコストを節約できますが、製品の性能を低下させることはありません。この製品は、エネルギー効率のよいオフィス製品の開発を促進する自主的プログラムである ENERGY STAR® (バージョン 1.0) の認可を受けています。
用紙の使用量	本製品の自動両面印刷機能と N アップ印刷機能 (複数のページが 1 ページに印刷されます) を使用すると、用紙の使用量が少なくなり、天然資源の需要が減少します。
プラスチック	製品の寿命の終了時にリサイクルするため、プラスチックを簡単に識別できるようにする国際的な規格に従って、25g を超えるプラスチック部品にマークが付けられています。

HP LaserJet 印刷サプライ品

多くの国 / 地域では、HP Printing Supplies Returns and Recycling Program (HP 印刷用サプライ品の回収およびリサイクル プログラム) を通じて、本製品の印刷サプライ品 (プリント カートリッジ、イメージ ドラムなど) を HP に返却することができます。簡単に利用できる無料の回収プログラムは、30 を超える国 / 地域に用意されています。新しい HP LaserJet のプリント カートリッジとサプライ品のパッケージには、多言語で記述された、プログラムに関する情報と手順を記載した資料が付属しています。

HP LaserJet Printing Supplies Returns and Recycling Program (HP LaserJet 印刷用サプライ品の回収およびリサイクル プログラム) に関する情報

1992 年以来、HP LaserJet のサプライ品が販売されている世界の市場の 86% で、HP LaserJet のサプライ品の回収およびリサイクルを無料で行ってきました。ほとんどの HP LaserJet プリント カートリッジの取扱説明書には、切手が貼られ、住所が印刷されたラベルが付属します。ラベルと梱包箱は、HP Web サイト (www.hp.com/recycle) から入手することもできます。

2002 年には、HP Planet Partners のサプライ品リサイクル プログラムを通じて、1 千万個を超える HP LaserJet プリント カートリッジが世界中でリサイクルされました。この記録的な数字は、11 万 8 千トンのプリント カートリッジを材料として回収したことを表しています。HP は、主にプラスチックと金属で構成されているプリント カートリッジの平均 80% (重量に換算した場合) を世界中でリサイクルしています。このプラスチックや金属は、HP 製品などの新しい製品、プラスチック製のトレイ、スプールの製造に使用されます。残りの材料は、環境に配慮した方法で廃棄されます。

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

米国での回収

環境に配慮した方法で回収するため、複数の使用済みカートリッジやサプライ品をまとめて返却していただくようご協力をお願いします。2 つ以上のカートリッジを束ねて、パッケージに付属している、あらかじめ住所が印刷された支払済みの宅急便用紙を使用してください。詳細については、HP LaserJet のサプライ品に関する Web サイト (www.hp.com/recycle) をご覧ください。

米国以外での回収

米国以外のお客様は、最寄りの Hewlett-Packard 販売 / サービス事業所に問い合わせるか、HP Web サイト (www.hp.com/recycle) にアクセスして、HP Supplies Returns and Recycling Program (HP サプライ品の回収およびリサイクル プログラム) の利用についての詳細をご覧ください。

再生紙

MFP は再生紙の使用に適しています。ただし、使用する再生紙は『*Print Media Guide*』で説明されているガイドラインに適合している必要があります。注文に関する情報については、Web サイト (★ www.hp.com/go/clj9500mfp ★) をご覧ください。MFP は、EN12281 (2002 年) に準拠した再生紙の使用に適しています。

化学物質に関する制限

HP MFP には、フォーマッタ ボードにリチウム バッテリが搭載されています。リチウム バッテリは廃棄時に特別な処理が必要です。
HP MFP では、液晶コントロール パネル ディスプレイの蛍光灯に水銀を使用しています。耐用年数を経た場合は特別な処理が必要です。
リサイクルに関する情報については、HP Web サイト (www.hp.com/recycle) をご覧になるか、最寄りの関係機関または米国電子工業会 (www.eiae.org) にお問い合わせください。

化学物質等安全性データ シート

化学物質等安全性データシート (MSDS) を入手するには、HP Web サイト (www.hp.com/go/msds) をご覧ください。

その他の情報

HP の環境に関するプログラムの詳細については、Web サイト (www.hp.com/go/environment または www.hp.com/hpinfo/community/environment/) をご覧ください。これらの Web サイトには、次の情報が掲載されています。
この製品と、関連する多くの HP 製品の環境プロファイル シート
HP の環境への取り組み
HP の環境管理システム
HP の製品回収およびリサイクル プログラム
化学物質等安全性データシート (MSDS)



http://www.hp.com/go/clj9500mfp

FCC ステートメント

本装置はテストにより、FCC 規則の Part 15 に従う Class **A** デジタル装置の規定に準拠することが確認されています。これらの規定は、本装置を商業地域で運用する際に、有害な干渉からの適度な保護を提供するように作成されたものです。本装置は、無線周波数エネルギーを発生および使用し、放射することもあります。マニュアルの指示に従い適切にインストールし、使用していない場合、無線通信にとって有害な干渉を起こす可能性があります。本装置を居住地区で運用する場合は、干渉を起こす可能性があります。この場合、使用者は何らかの手段によりこの電波干渉を修復することを求められる場合があります。本製品の最終使用者は、HP の承認なしに本装置への変更または改造を行った場合は本製品が Class A デジタル装置の規定に準拠しない結果となること、かかる場合に FCC は本装置を運用する使用者の権利を無効とする場合があることを認識する必要があります。

規制ステートメント

適合宣言

ISO/IEC Guide 22 および EN 45014 に準拠

製造業者名：	Hewlett-Packard Company
製造業者住所：	11311 Chinden Boulevard Boise, Idaho 83714-1021, USA
本製品に関する宣言事項	
製品名：	HP Color LaserJet 9500MFP
製品番号：	C8549A
規制適合モデル番号 Š	BOISB-0205-02 (Q1891A を含む)
製品オプション：	すべて
準拠する製品仕様：	

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

安全性：	IEC 60950:1999 / EN 60950: 2000
	IEC 60825-1:1993 + A1:1996 +A2:2001 / EN 60825-1:1994 + A11:1996 + A2:2001 (Class 1 Laser/LED 製品) GB4943-2001
EMC :	CISPR 22:1997 / EN 55022:1998 – Class A[1]
	EN 61000-3-2:2000
	EN 61000-3-3:1995 / A1
	EN 55024:1998
	FCC Title 47 CFR, Part 15 Class A[2] / ICES-003, Issue 3
	GB9254-1998
TELECOM	TBR-21:1998; EG 201 121:1998

補足情報：

本製品は、EMC Directive 89/336/EEC、Low Voltage Directive 73/23/EEC、R&TTE Directive 1999/5/EC (Annex II) の要件に準拠し、CE マーキングを取得しています。

1) 本製品は、一般的な Hewlett-Packard パーソナル コンピュータ システム構成でのテストが行われています。製品の準拠性テストも基準を満たしています (現時点で発効されていない Clause 9.5 を除く)。

2) 本装置は、FCC 規則の Part 15 に準拠します。その動作は、次の 2 つの条件に従います。
(1) 本装置は、有害な干渉を引き起こすことはありません。(2) 本装置は、その動作に支障が生じる干渉を被ることがあります。
3) 規制に適合していることの証明と識別の目的で、本製品には規制適合モデル番号が割り当てられています。この番号と、商品名 (HP Color LaserJet 9500MFP) や製品番号 (C8549A) を混同しないようにしてください。

規制適合に関するお問い合わせ先：

オーストラリア：Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Australia Ltd., 31-41 Joseph Street, Blackburn, Victoria 3130, Australia.

欧州：最寄りの Hewlett-Packard 販売 / サービス事業所、Hewlett-Packard Gmbh, Department HQ-TRE / Standards Europe, Herrenberger Straße 140, D-71034 Böblingen (FAX: +49-7031-14-3143)

合衆国：Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, PO Box 15, Mail Stop 160, Boise, Idaho 83707-0015 (Phone: 208-396-6000)

EU ステートメント (電気通信)

本製品は、EEA (European Economic Area : 欧州経済領域) の国 / 地域におけるアナログ PSTN (Public Switched Telecommunication Networks : 公衆交換電話網) への接続を意図しています。本製品は、EU R&TTE Directive 1999/5/EC (Annex II) の要件に準拠し、適切な CE マーキングを取得しています。詳細については、製造業者発行情報の「適合宣言 (341 ページ)」を参照してください。

各国の PSTN の相違を理由として、本製品は、すべての PSTM 終端における無条件による正常動作は保証されません。ネットワークの互換性は、PSTN への接続に備えてお客様が行った設定内容に依存します。ユーザーズ ガイドに記載されている指示に従ってください。ネットワークの互換性に関する問題が生じた場合は、お住まいの国 / 地域の製造業者または HP ヘルプ デスクにお問い合わせください。

PSTM 終端への接続には、現地 PSTN 技師による設定が必要になる場合があります。

Canadian DOC Regulations (カナダの DOC 規格)

Complies with Canadian EMC Class A requirements.

Conforme à la classe A des normes canadiennes de compatibilité électromagnétique (CEM).

VCCI ステートメント (日本)

VCCI クラス **A** 製品

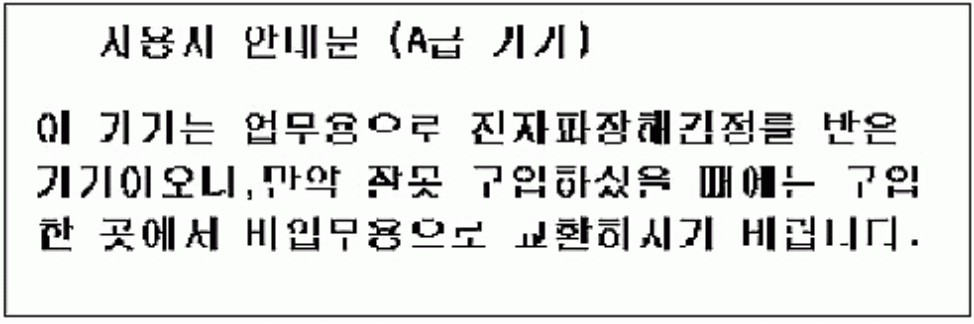
この装置は，情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

英訳

This equipment is in the Class **A** category information technology equipment based on the rules of Voluntary Control Council For Interference by Information Technology Equipment (VCCI).When used in a residential area, radio interference may be caused.In this case, user may be required to take appropriate corrective actions.

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

Korean EMI Statement (韓国の EMI ステートメント)



Laser Statement for Finland (フィンランドのレーザーに関するステートメント)

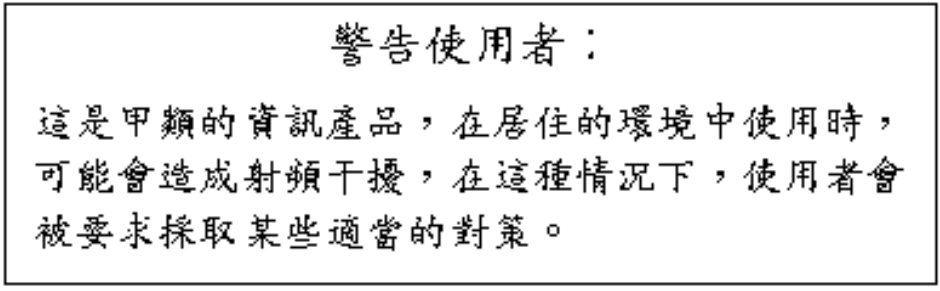
Luokan 1 laserlaite
Klass 1 Laser Apparat
HP LaserJet 9500MFP
laserkirjoitin on käyttäjän kannalta turvallinen luokan 1 laserlaite.
Normaalissa käytössä kirjoittimen suojakotelointi estää lasersäteen pääsyn laitteen ulkopuolelle. Laitteen turvallisuusluokka on määritetty standardin EN 60825-1 (1994) mukaisesti.
Varoitus!
Laitteen käyttäminen muulla kuin käyttöohjeessa mainitulla tavalla saattaa altistaa käyttäjän turvallisuusluokan 1 ylittävälle näkymättömälle lasersäteilylle.
Varning!
Om apparaten används på annat sätt än i bruksanvisning specificerats, kan användaren utsättas för osynlig laserstrålning, som överskrider gränsen för laserklass 1.
HUOLTO
HP LaserJet 9500MFP
-kirjoittimen sisällä ei ole käyttäjän huollettavissa olevia kohteita. Laitteen saa avata ja huoltaa ainoastaan sen huoltamiseen koulutettu henkilö. Tällaiseksi huoltotoimenpiteeksi ei katsota väriainekasetin vaihtamista, paperiradan puhdistusta tai muita käyttäjän käsikirjassa lueteltuja, käyttäjän tehtäväksi tarkoitettuja ylläpitotoimia, jotka voidaan suorittaa ilman erikoistyökaluja.
Varo!
Mikäli kirjoittimen suojakotelo avataan, olet alttiina näkymättömälle lasersäteilylle laitteen ollessa toiminnassa. Älä katso säteeseen.

http://www.hp.com/go/clj9500mfp

Varning!
Om laserprinterns skyddshölje öppnas då apparaten är i funktion, utsättas användaren för osynlig laserstrålning. Betrakta ej strålen. Tiedot laitteessa käytettävän laserdiodin säteilyominaisuuksista:

Aallonpituus 775-795 nm
Teho 5 mW
Luokan 3B laser

Taiwan Class A Statement (台湾のクラス A ステートメント)



Taiwan Battery Statement (台湾の電池に関するステートメント)



廃電池請回收

製品情報シート

トナー製品の情報シートをご希望の場合は、米国 HP FIRST (ファックスによる情報入手サポート テクノロジ) (1-800-333-1917) までお問い合わせください。米国以外にお住まいの場合は、本ガイドの最初に記載されている各国 / 地域の電話番号をご覧ください。



http://www.hp.com/go/clj9500mfp



© 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.



http://www.hp.com

C8549-90951